

令和元年度
第2回 葛飾区区民モニター
アンケート調査

報 告 書

- 「新基本構想・新基本計画について」 —
- 「葛飾区都市計画マスタープランについて」 —
- 「葛飾区自転車活用推進計画策定業務について」 —
- 「生涯学習について」 —

令和2年3月



目 次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査のテーマ	1
3. 調査の設計	1
4. 調査機関	1
5. 報告書の表記について	1
II 回答者の属性	2
III 調査結果の詳細	7
1. 新基本構想・新基本計画について	7
(1) 区民との協働について	7
①現在感じている地域とのつながり	7
②今後希望する地域とのつながり	9
③参加したいと思う地域活動	11
④区内に広がることを期待する活動	13
⑤地域活動を活性化するために必要だと思うこと	15
(2) 持続的な発展について	17
①魅力あるまちを創造するために、区が重点的に進めるべき取組	17
②「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」に必要な施設・設備	19
③「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」に必要な区民サービス	21
④あらゆる世代が活躍できるまちの実現ために、区が重点的に進めるべき取組	23
(3) これからの葛飾区のまちづくりについての意見や提案（自由記述）	25
2. 葛飾区都市計画マスタープランについて	34
(1) 葛飾区都市計画マスタープランの認知	34
(2) 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度	36
(3) 「①安全まちづくりの方針」で最も重要なこと	48
(4) 「②人にやさしいまちづくりの方針」で最も重要なこと	50
(5) 「③コミュニケーションを高めるまちづくりの方針」で最も重要なこと	52
(6) 「④環境と共生したまちづくりの方針」で最も重要なこと	54
(7) 「⑤景観まちづくりの方針」で最も重要なこと	56
(8) 「⑥産業活動を支えるまちづくりの方針」で最も重要なこと	58
(9) 「⑦土地利用の方針」で最も重要なこと	60
(10) 「⑧交通体系整備の方針」で最も重要なこと	62
(11) 「⑨緑・オープンスペースの形成と魅力ある川への整備方針」で最も重要なこと	64

(12) 「⑩住宅・住環境整備の方針」で最も重要なこと	66
(13) 「⑪震災復興まちづくりの方針」で最も重要なこと	68
(14) 「エリアマネジメント」活動への参加意向	70
(15) 葛飾区都市計画マスタープランについての要望や提案（自由記述）	71
3. 葛飾区自転車活用推進計画策定業務について	76
(1) 区内の移動手段	76
(2) 自転車の保有台数・保有車種	78
(3) 区内の「自転車の走りやすさ」の満足度	79
(4) 区内の「自転車の走りやすさ」についての不満点	80
(5) 区内の「駐輪環境」の満足度	81
(6) 区内の「駐輪環境」についての不満点	82
(7) シェアサイクルの利用経験	83
(8) 自転車利用時に守っている交通ルール・マナー	84
(9) 自転車事故に関する保険の加入状況	86
(10) 自転車の交通安全教育の講習の受講時期	88
(11) 葛飾区での自転車利用を促進するために必要な取組	89
4. 生涯学習について	91
(1) 区民の生涯学習について	91
①「生涯学習」のイメージ	91
②生涯学習の場への参加経験	93
③参加した学習活動の内容	94
④行っている生涯学習の場所や形態	95
⑤生涯学習活動に参加したことがない理由	96
⑥生涯学習活動未経験者の学んでみたい分野	97
⑦生涯学習に参加する場合の希望日・時間帯	98
⑧「かつしか区民大学」への参加経験	100
⑨「かつしか区民大学」で学んでみたい内容の有無	101
⑩生涯学習で学んだ知識や技能の活用状況・活用意向	103
(2) 郷土と天文の博物館について	105
①「郷土と天文の博物館」の講座や催しの参加経験	105
②「郷土と天文の博物館」の講座や体験事業で参加したいテーマ	106
③柴又地域が重要文化的景観に選定されたことの認知	108
④柴又地域の重要文化的景観選定の認知経路	109
⑤「文化的景観」の認知	110
⑥柴又の魅力のPR事業で参加したいと思うもの	111

I 調査概要

1. 調査の目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、公募で募った「区民モニター」から、適時かつ具体的なご意見を収集することにより、区政への活用を図るもの。

2. 調査のテーマ

- (1) 新基本構想・新基本計画について
- (2) 葛飾区都市計画マスタープランについて
- (3) 葛飾区自転車活用推進計画策定業務について
- (4) 生涯学習について

3. 調査の設計

- (1) 調査対象 区民モニター200名
- (2) 調査方法 郵送での調査の配付・回収（インターネット回答併用）
- (3) 調査期間 令和2年1月20日（月）～2月7日（金）
- (4) 有効回収数 172名（郵送回収：113名、インターネット回答：59人）

4. 調査機関

株式会社マーケティング・リサーチ・サービス

5. 報告書の表記について

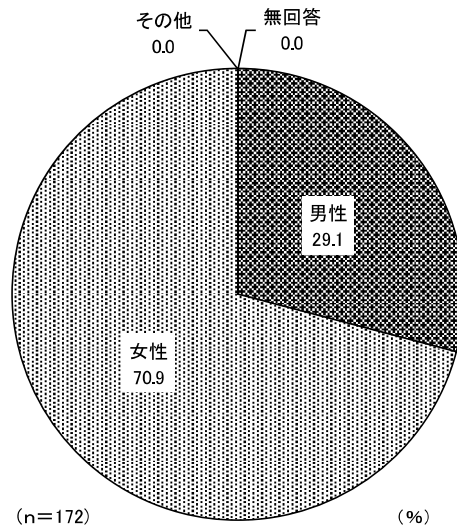
- (1) 比率は全て百分率で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、四捨五入によって生じる誤差により、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) “n”は各設問の回答数を示している。比率はnを母数とし、算出している。
- (3) 複数回答の設問では、1人の回答数が複数の回答を選択可能なため、各選択肢における回答数の合計が100%を超過している。
- (4) 年齢層・年代別の20代には、18歳・19歳を含んでいる。

※この報告書は、区公式ホームページ（<http://www.city.katsushika.lg.jp/>）に掲載している。

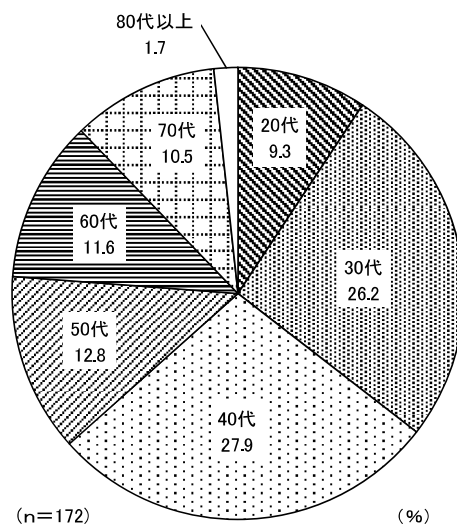
（トップページ>区政情報>統計・調査>調査）

II 回答者の属性

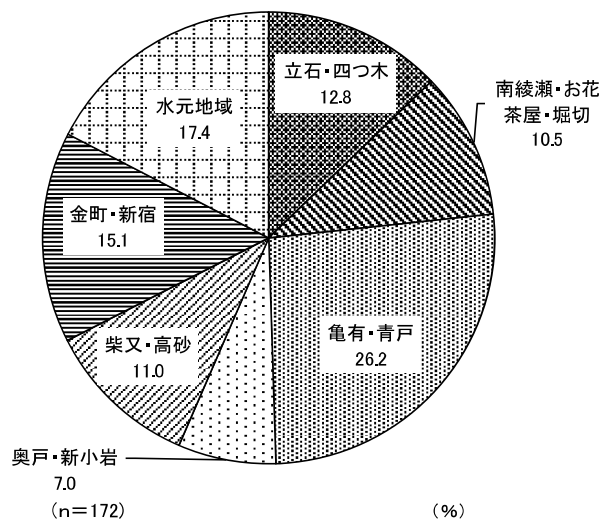
(1) 性別



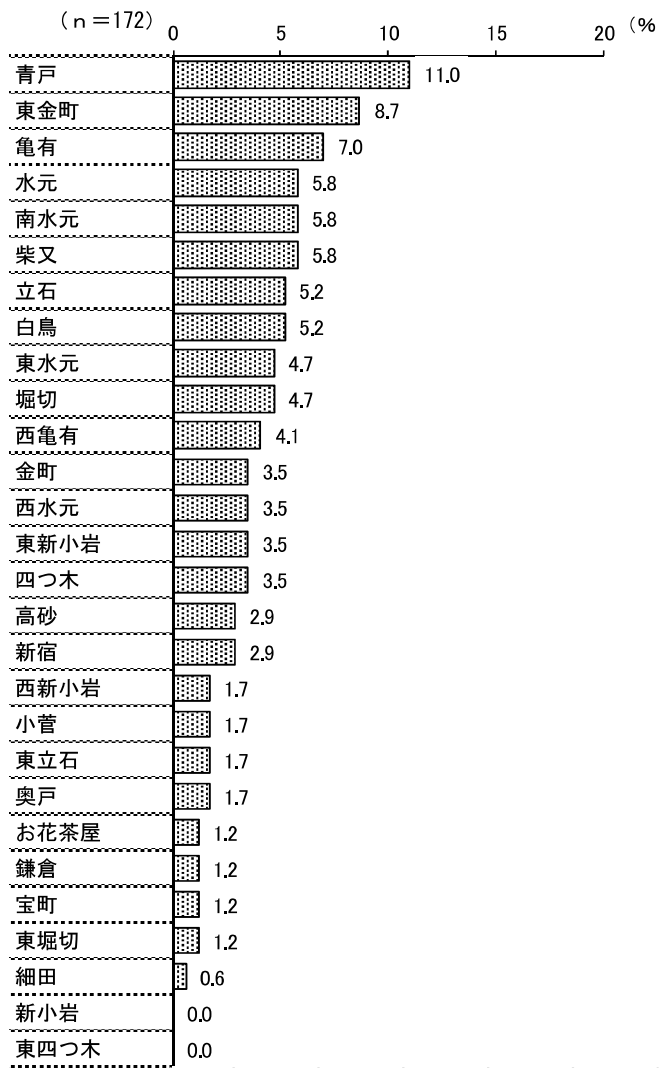
(2) 年齢層



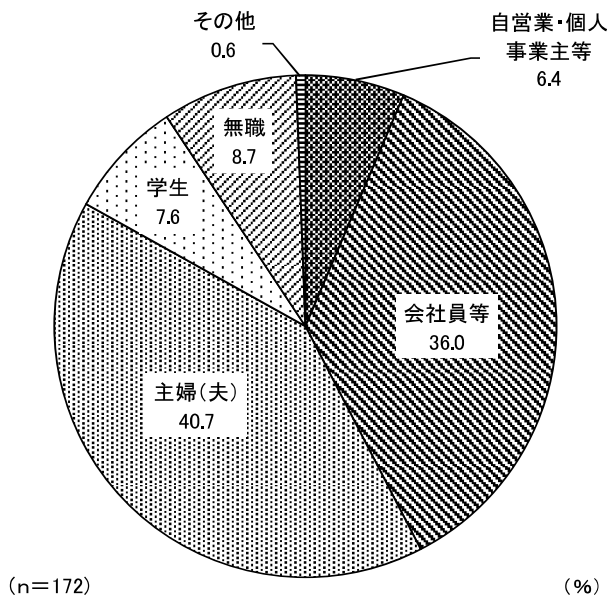
(3) 居住地域 (7区分)



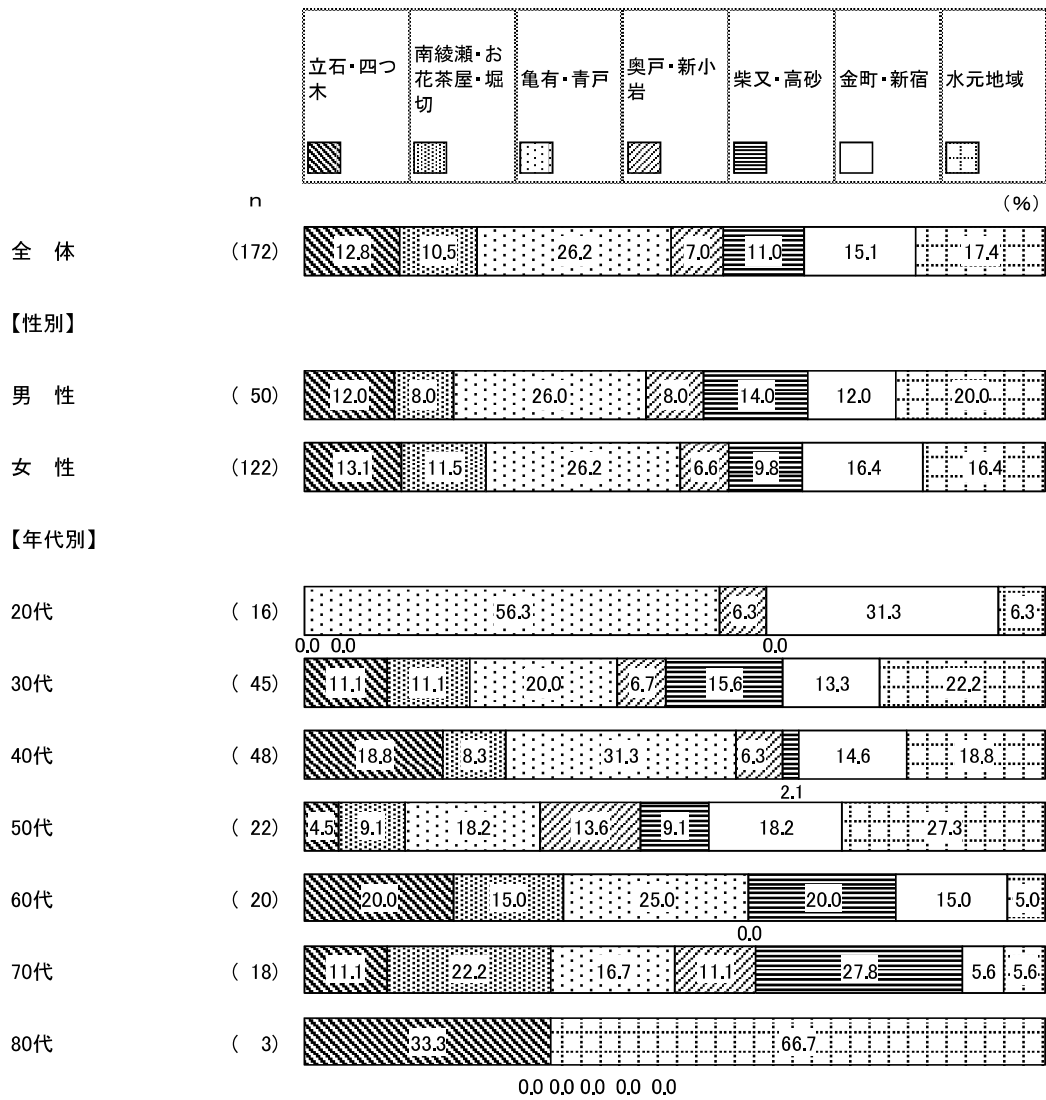
(4) 居住地域 (28区分)



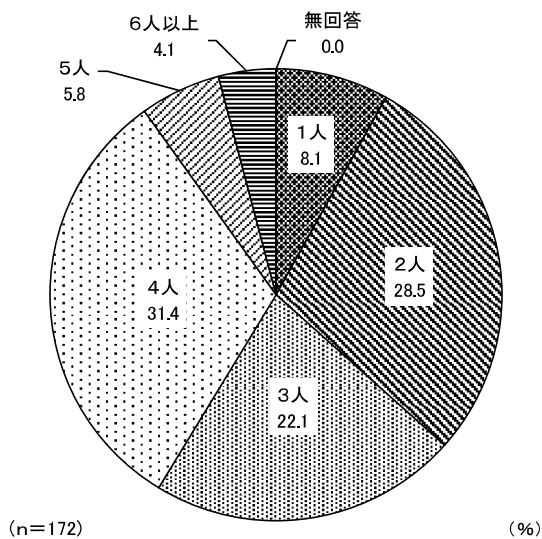
(5) 職業



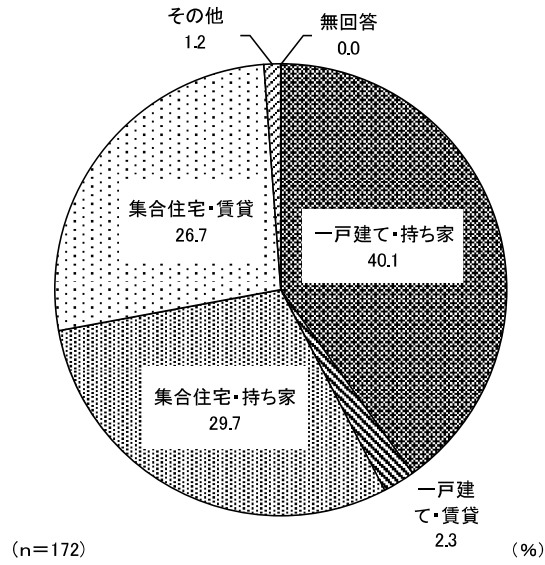
(6) 居住地域別 (7区分) × 性別・年代別



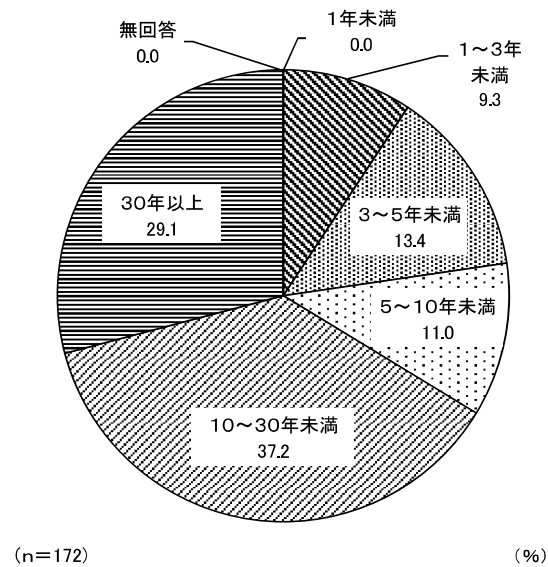
(7) 家族構成



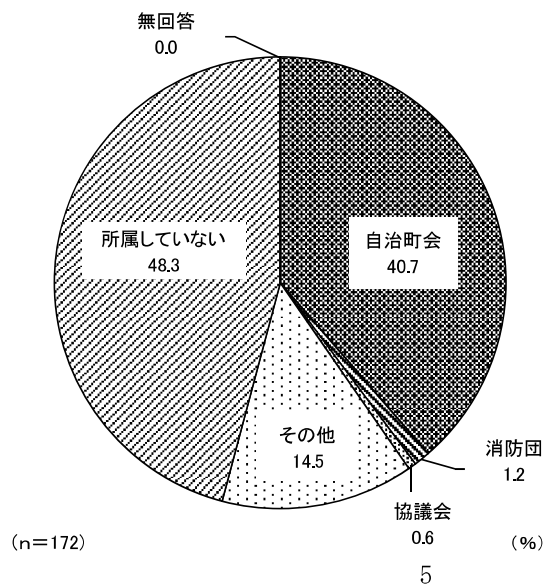
(8) 住まいの形式・所有形態



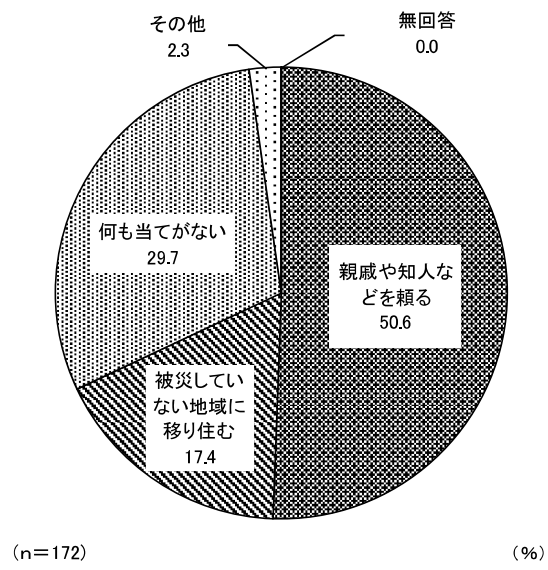
(9) 区内在住期間



(10) 区内団体への所属



(11) 災害により自宅が被災した場合の仮住まい確保の見通し



Ⅲ 調査結果の詳細

1. 新基本構想・新基本計画について

(1) 区民との協働について

①現在感じている地域とのつながり

I 区民との協働について

葛飾区では、地域住民や団体が主体となり、葛飾区をより良いまちとしていく地域の活動（協働の取組）を推進しています。

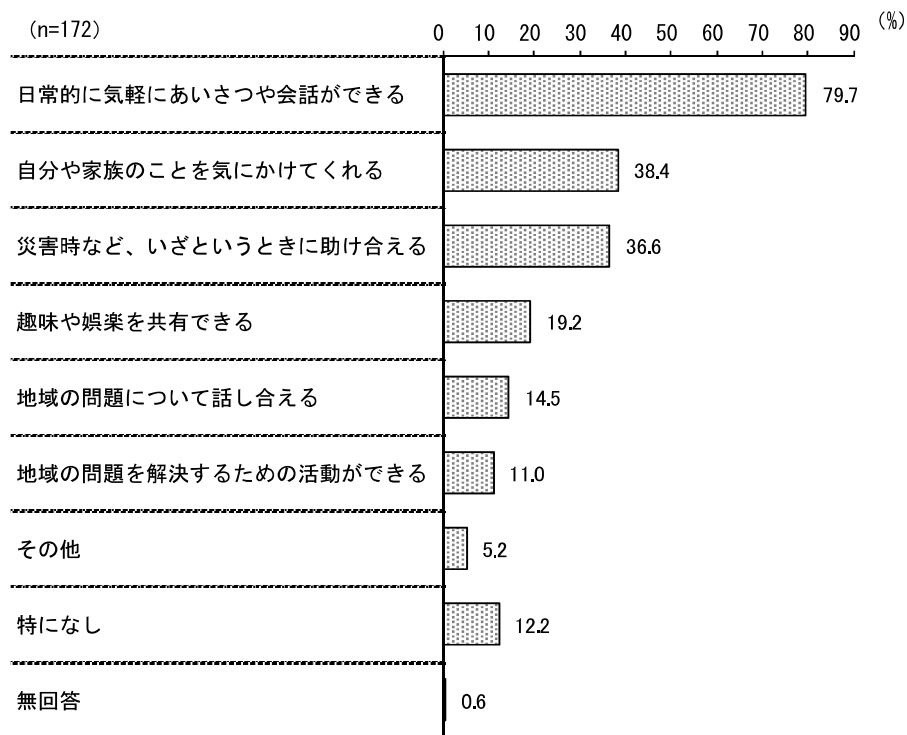
今後さらに協働を進めていくにあたり、地域とのつながりや地域の活動についてお聞きします。

問1 (1)～(2)の質問について、以下の<選択肢>からそれぞれ選んでください。

(1) あなたは身近な地域で現在どのようなつながりを感じていますか（いくつでも）。

現在感じている地域とのつながりとしては、「日常的に気軽にあいさつや会話ができる」が79.7%で最も高く、次いで「自分や家族のことを気にかけてくれる」が38.4%、「災害時など、いざというときに助け合える」が36.6%となっている。

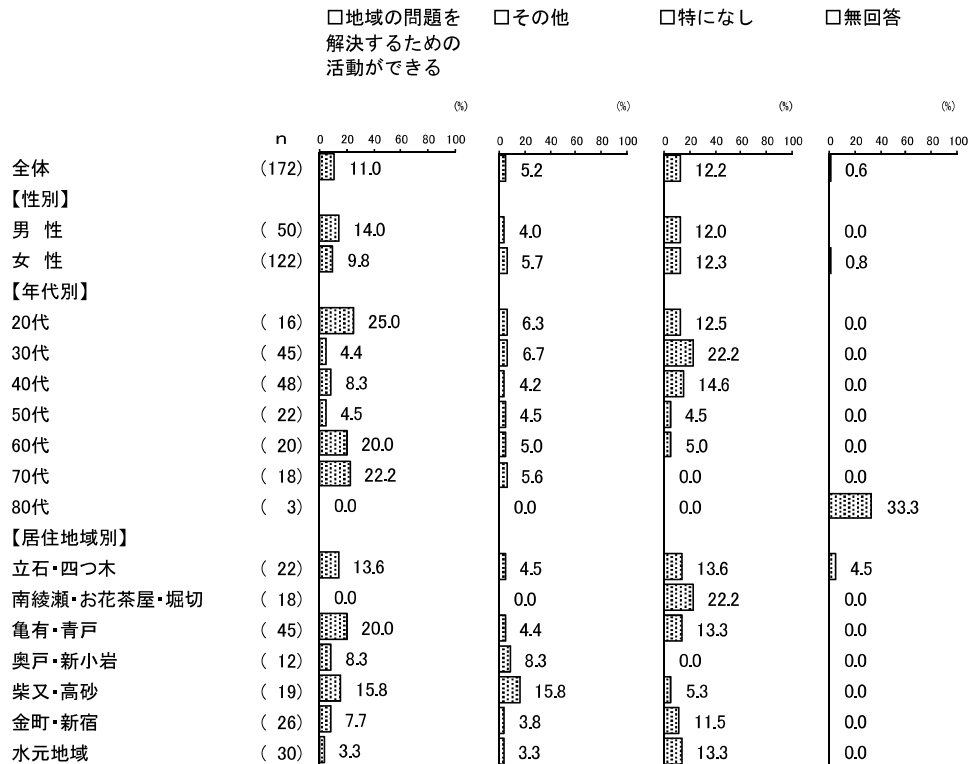
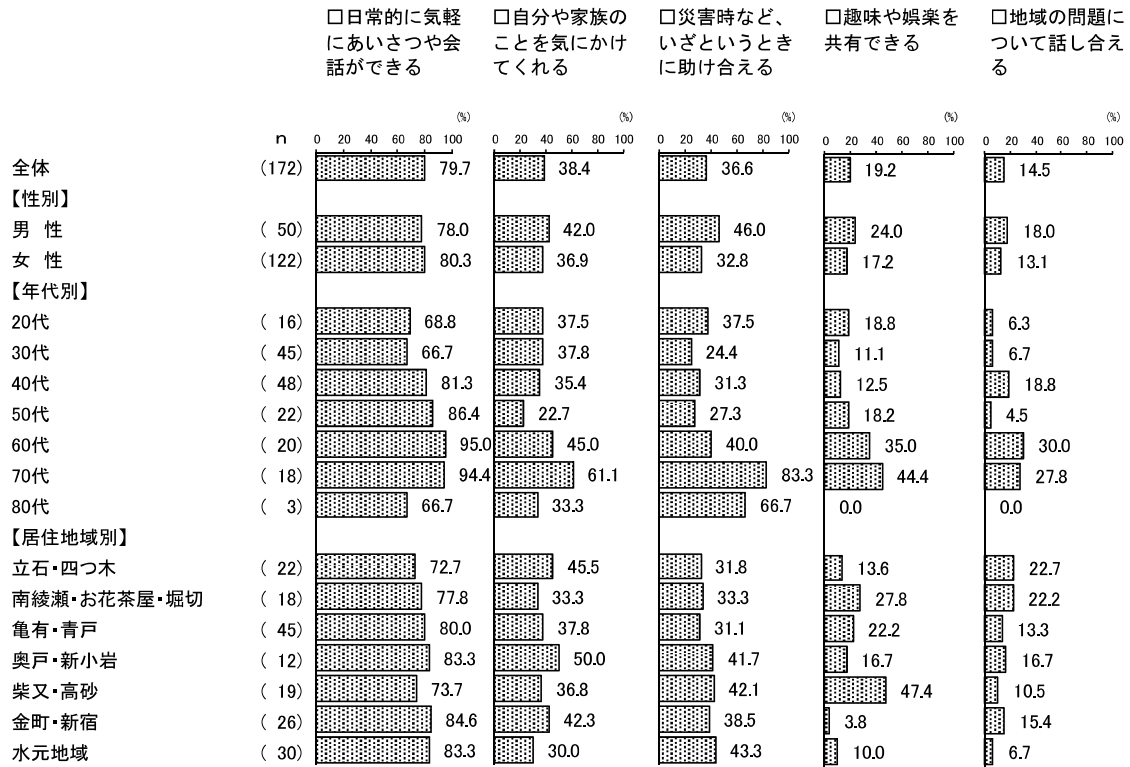
図表-1 現在感じている地域とのつながり（全体）



属性別でみると、「日常的に気軽にあいさつや会話ができる」は、年代別では60代で95.0%、70代で94.4%と高くなっている。

図表-2 現在感じている地域とのつながり

(性別・年代別・居住地域別)

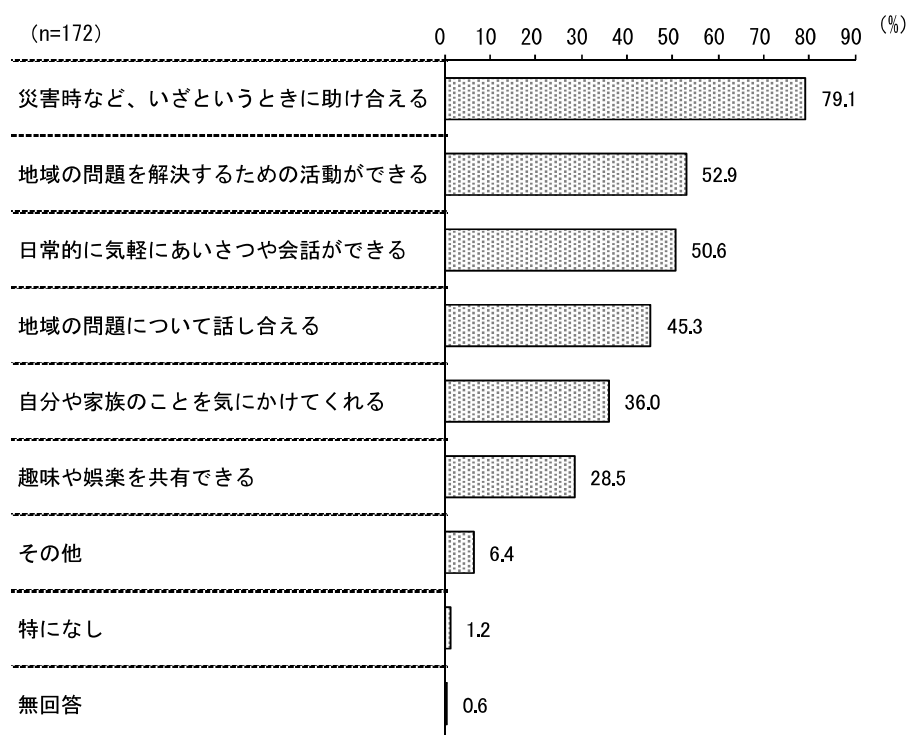


②今後希望する地域とのつながり

問1 (1)～(2)の質問について、＜選択肢＞からそれぞれ選んでください。
(2) あなたは今後どのようなつながりがあるといいと思いますか（いくつでも）。

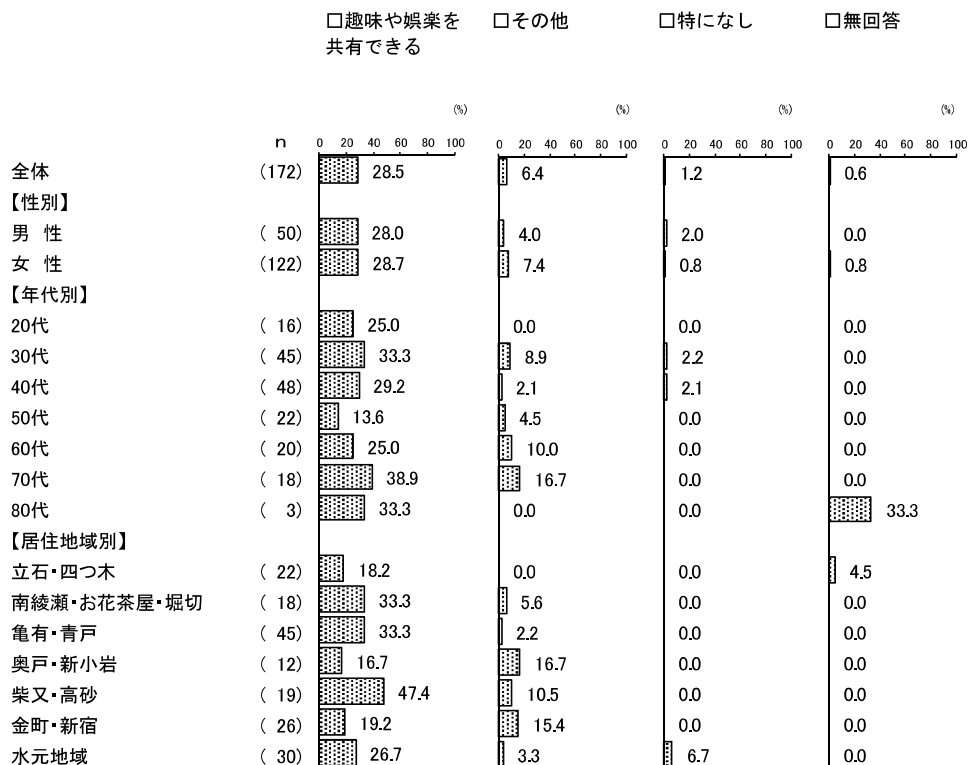
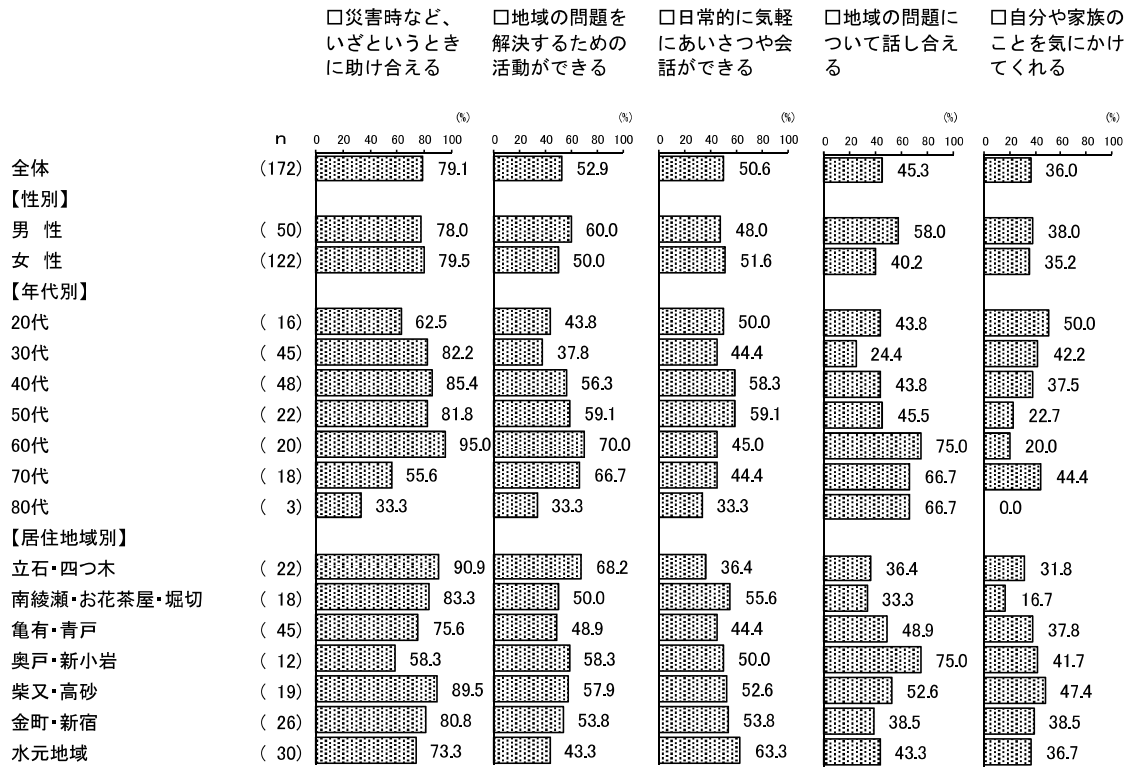
今後希望する地域とのつながりとしては、「災害時など、いざというときに助け合える」が79.1%で最も高く、次いで「地域の問題を解決するための活動ができる」が52.9%、「日常的に気軽にあいさつや会話ができる」が50.6%となっている。

図表-3 今後希望する地域とのつながり（全体）



属性別でみると、「災害時など、いざというときに助け合える」は、年代別では60代で95.0%と最も高くなっており、居住地域別では立石・四つ木で90.9%、柴又・高砂で89.5%と高くなっている。

図表-4 今後希望する地域とのつながり
(性別・年代別・居住地域別)

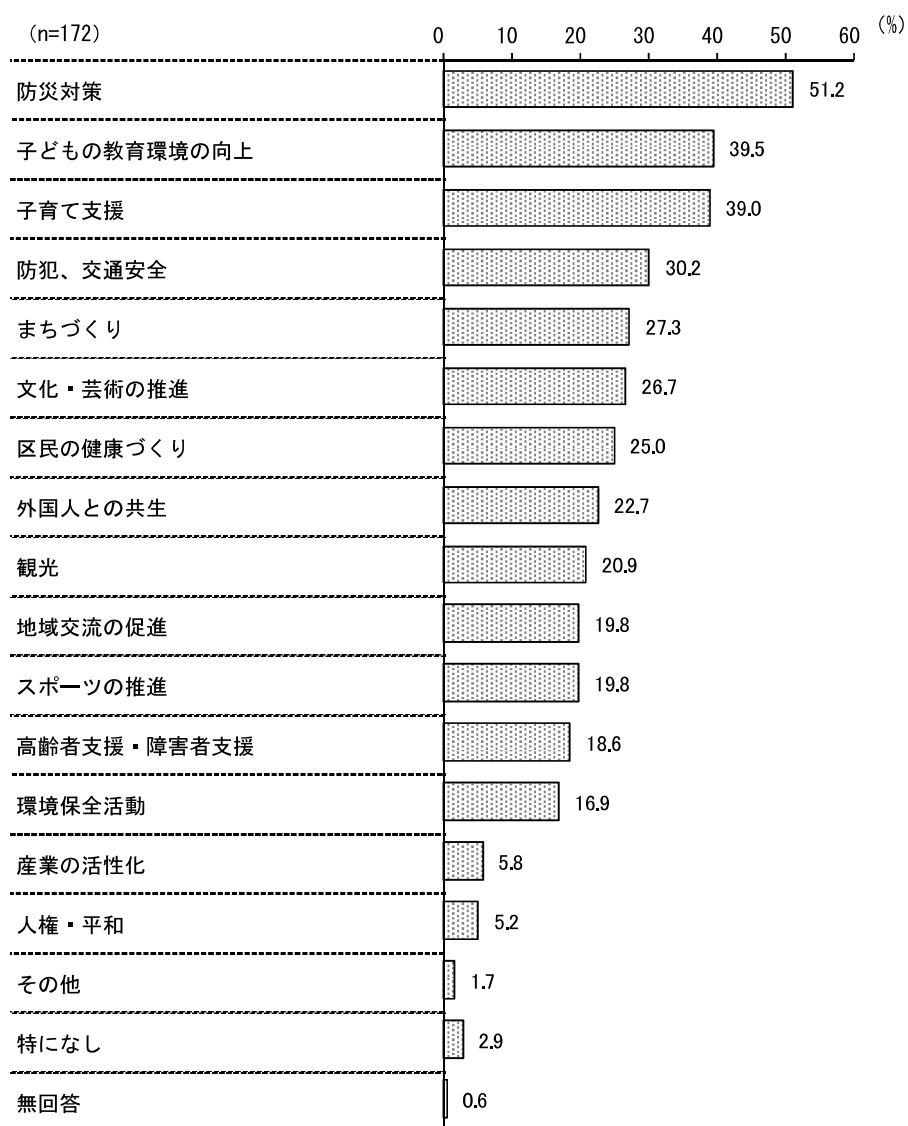


③参加したいと思う地域活動

問2 (1)～(2)の質問について、以下の<選択肢>からそれぞれ選んでください。
 (1) あなたはどのような活動であれば参加したいと思いますか(5つまで)。

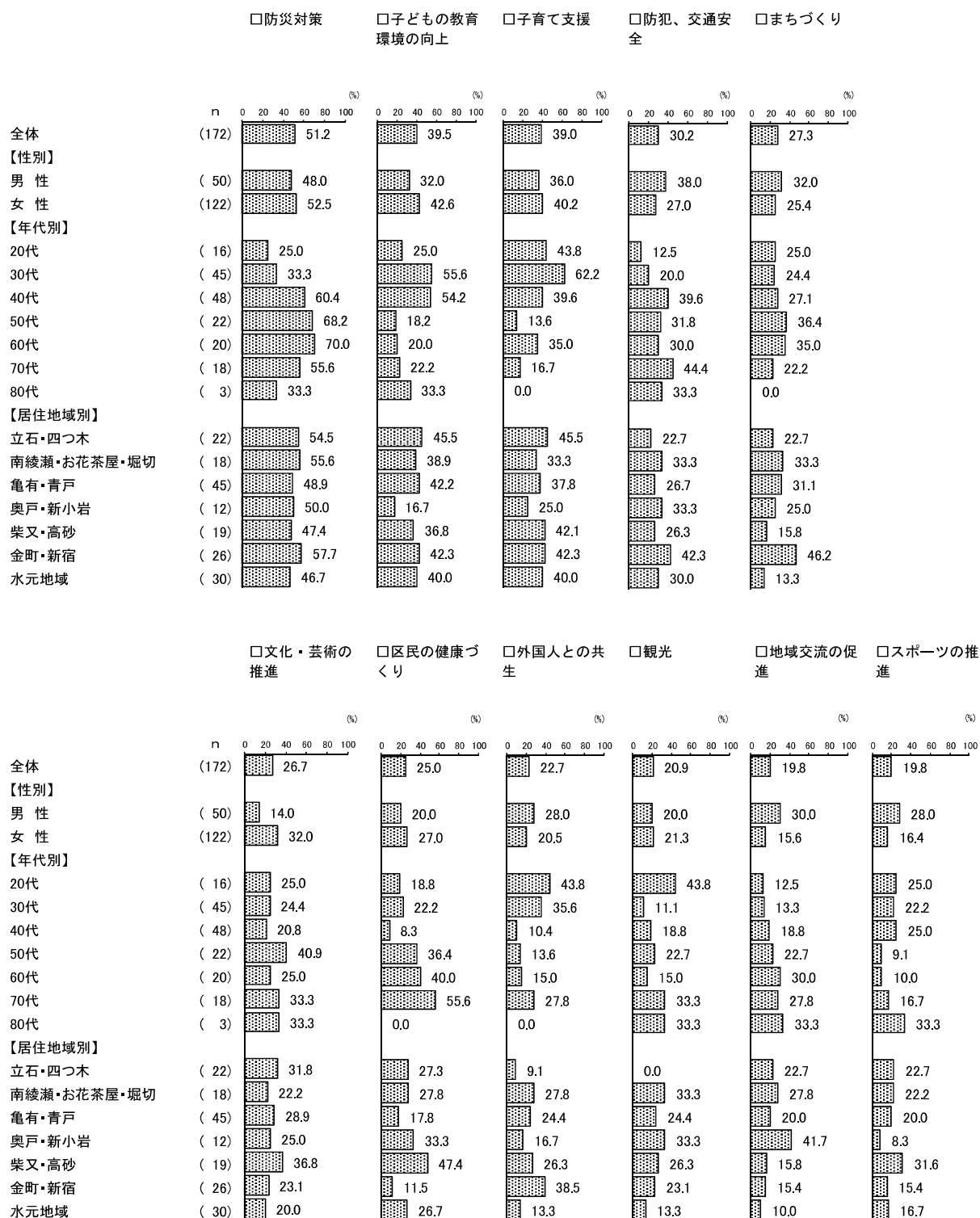
参加したいと思う地域活動としては、「防災対策」が51.2%で最も高く、次いで「子どもの教育環境の向上」が39.5%、「子育て支援」が39.0%となっている。

図表-5 参加したいと思う地域活動(全体)



属性別でみると、「防災対策」は、年代別では50代で68.2%、60代で70.0%と高くなっており、「子どもの教育環境の向上」は、年代別では30代で55.6%、40代で54.2%と高くなっている。

図表-6 参加したいと思う地域活動
(性別・年代別・居住地域別—上位11項目)

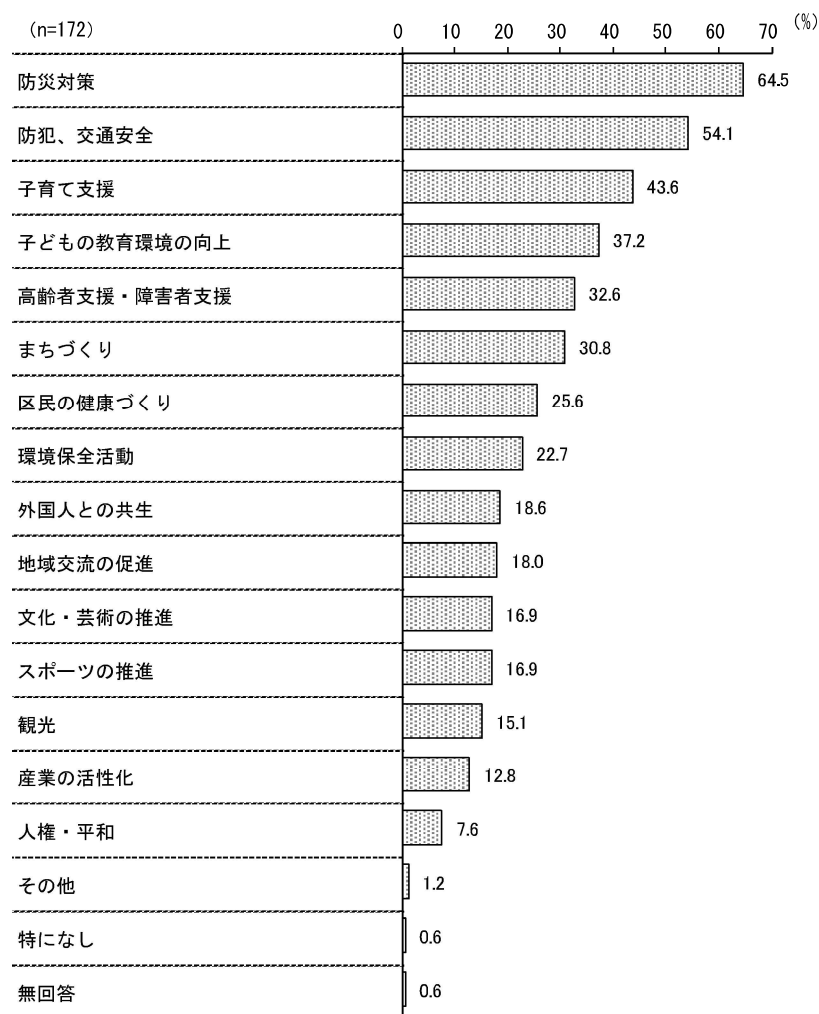


④区内に広がることを期待する活動

問2 (1)～(2)の質問について、以下の<選択肢>からそれぞれ選んでください。
 (2) あなたはどのような活動が葛飾区内で広がることを期待していますか(5つまで)。

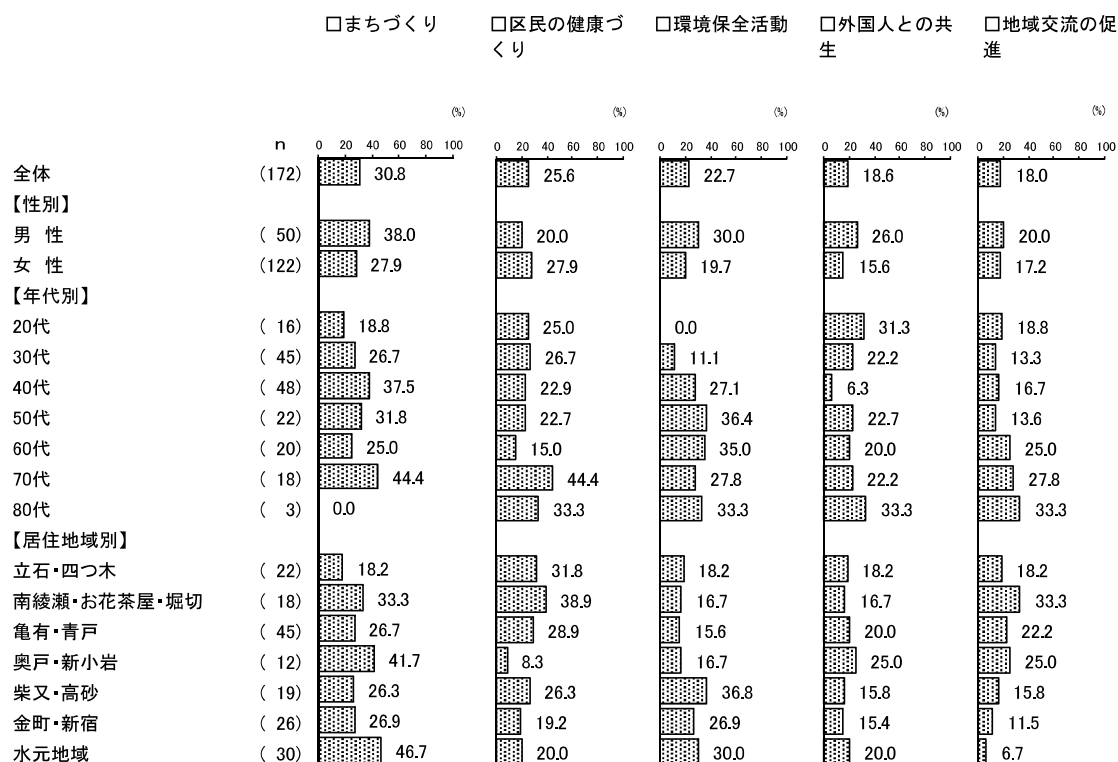
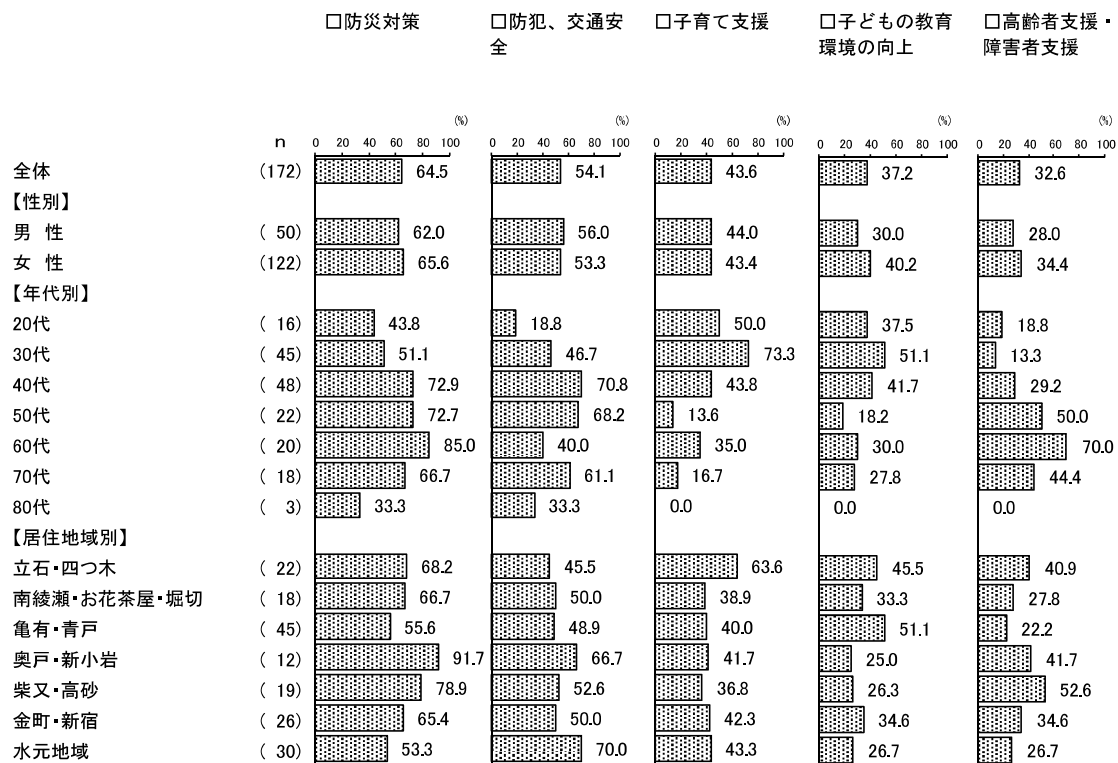
区内に広がることを期待する活動としては、「防災対策」が64.5%で最も高く、次いで「防犯、交通安全」が54.1%、「子育て支援」が43.6%となっている。

図表-7 区内に広がることを期待する活動(全体)



属性別でみると、「防災対策」は、年代別では60代で85.0%と最も高くなっている。

図表一8 区内に広がることを期待する活動
(性別・年代別・居住地域別—上位10項目)

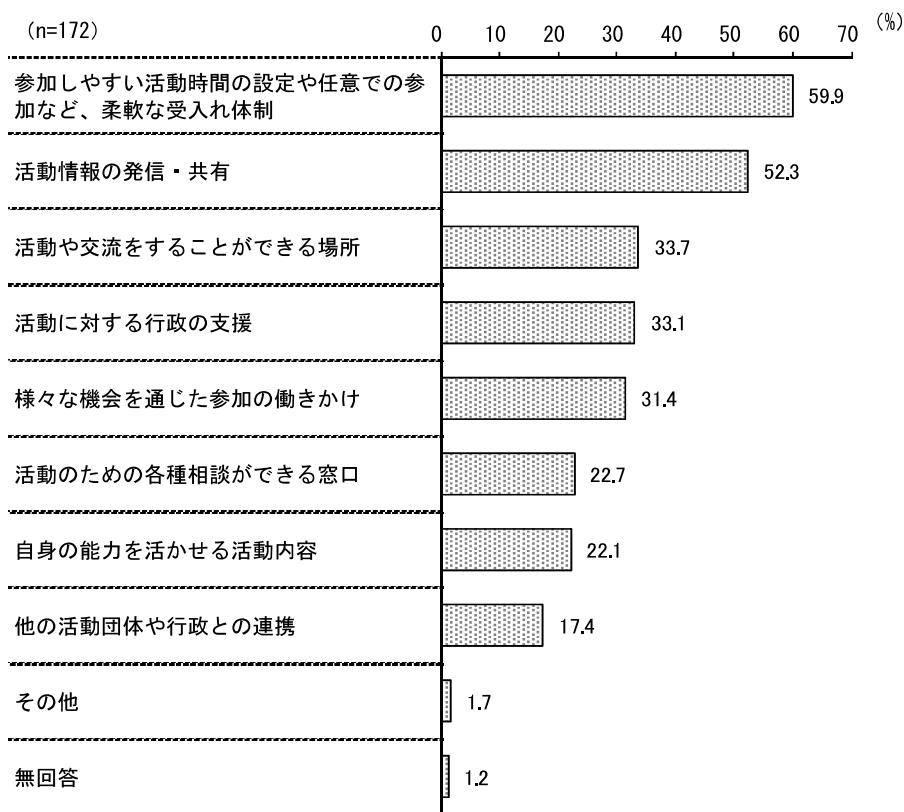


⑤地域活動を活性化するために必要だと思うこと

問3 多くの人が地域の活動に参加し、活動をさらに活性化していくために必要だと思うことは何ですか（〇は3つまで）。

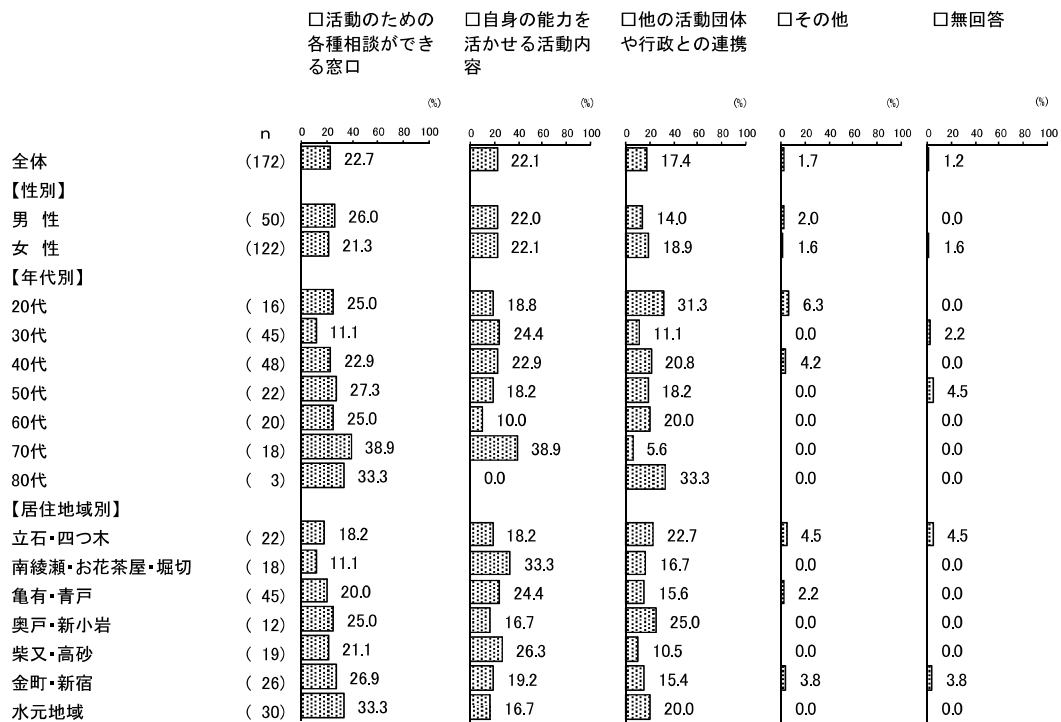
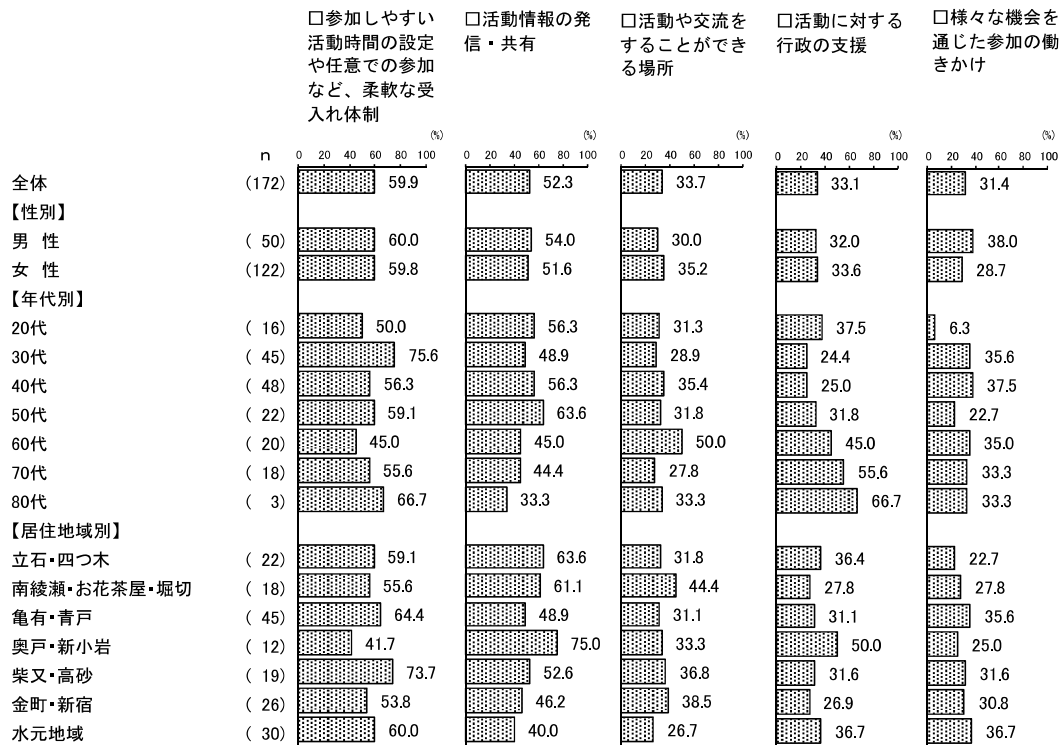
地域活動を活性化するために必要だと思うこととしては、「参加しやすい活動時間の設定や任意での参加など、柔軟な受入れ体制」が59.9%で最も高く、次いで「活動情報の発信・共有」が52.3%、「活動や交流をすることができる場所」が33.7%、「活動に対する行政の支援」が33.1%となっている。

図表—9 地域活動を活性化するために必要だと思うこと（全体）



属性別でみると、「参加しやすい活動時間の設定や任意での参加など、柔軟な受入れ体制」は、年代別では30代で75.6%と最も高く、居住地域別では柴又・高砂で73.7%と最も高くなっている。

図表-10 地域活動を活性化するために必要だと思うこと
(性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



(2) 持続的な発展について

①魅力あるまちを創造するために、区が重点的に進めるべき取組

II 持続的な発展について

本区が将来にわたって繁栄していくためには、成長と成熟とが調和した持続的な発展を目指すことが重要です。

そのためには、人口総数の増加・維持を図りつつ、あらゆる世代に住んでみたい・住み続けたいと思われる魅力あるまちづくりを進めるとともに、そこに暮らす人々が様々な場面でいきいきと活躍できるまちづくりを進めていく必要があります。

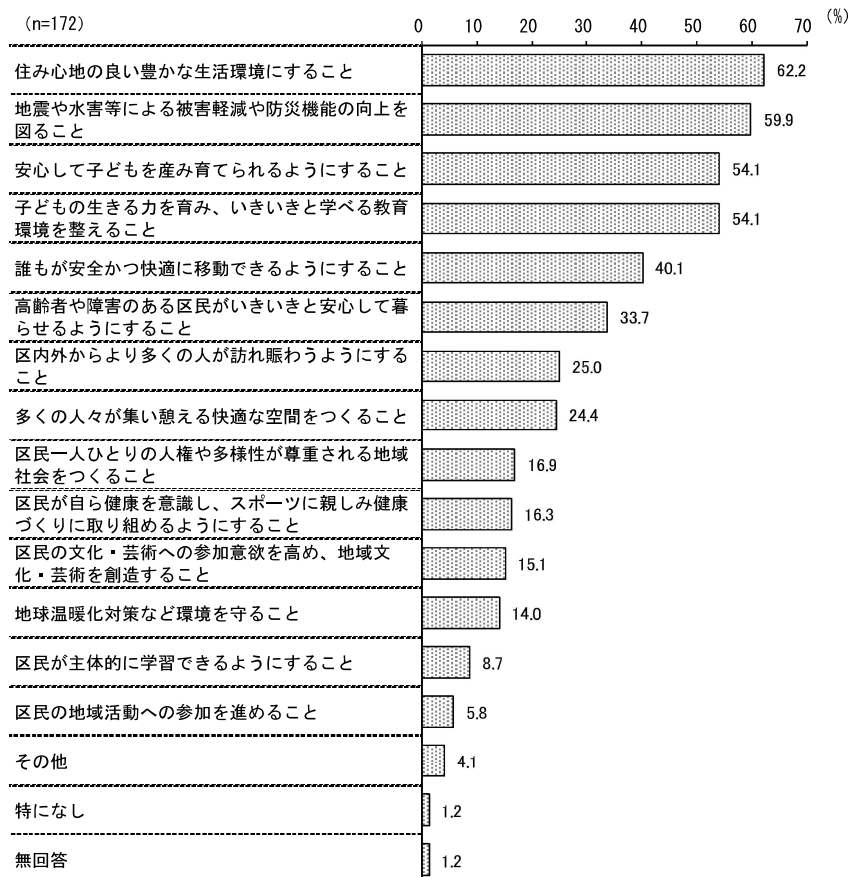
そこで、魅力あるまちと、活躍できるまちの2点についてお聞きします。

問4 (1)～(3)の質問についてお答えください。

(1) 住んでみたい・住み続けたいと思われる魅力あるまちを創造するため、区が重点的に進めるべき取組を<重点的な取組>の中から5つまで選んでください。

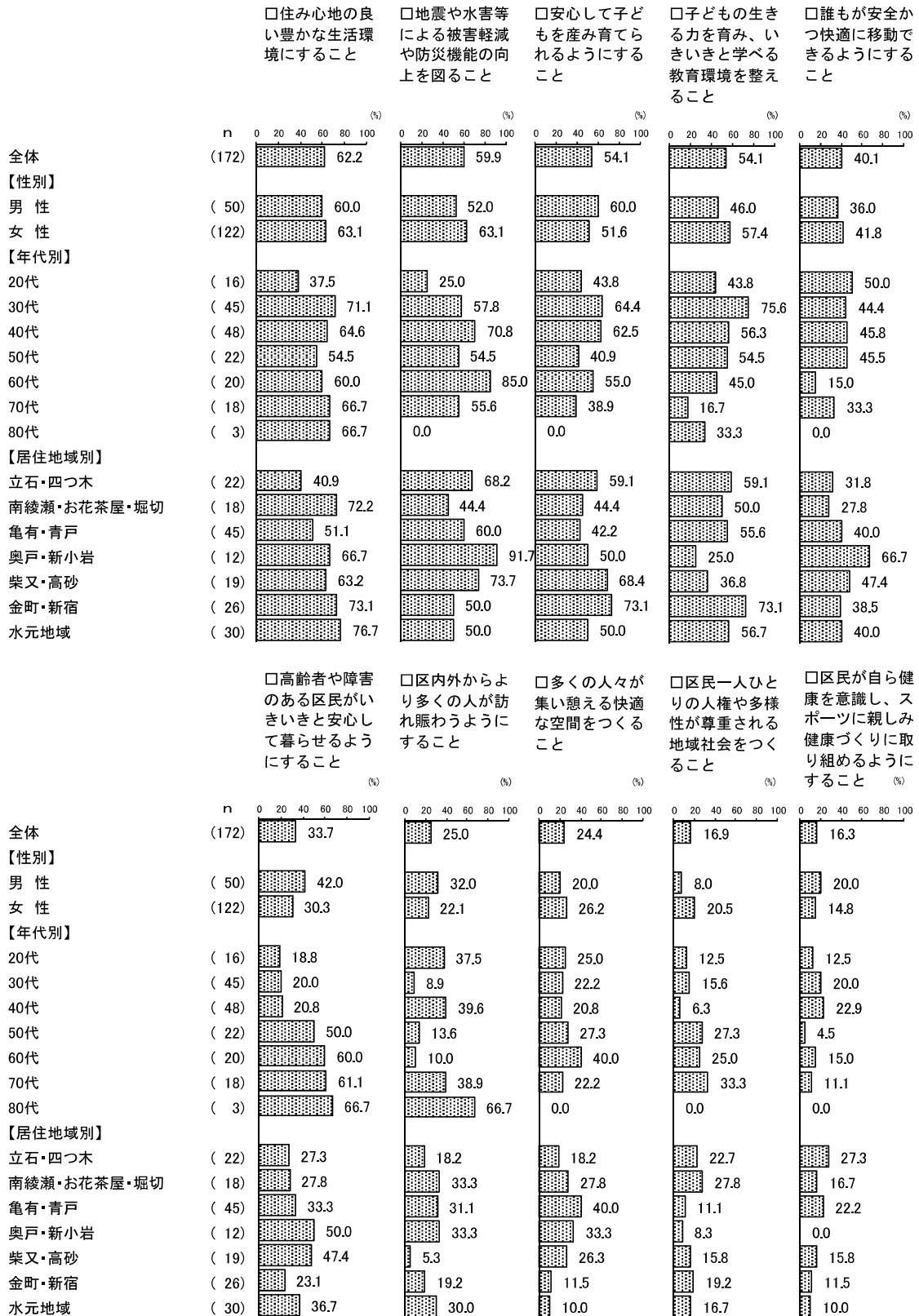
魅力あるまちを創造するために、区が重点的に進めるべき取組としては、「住み心地の良い豊かな生活環境にすること」が62.2%で最も高く、次いで「地震や水害等による被害軽減や防災機能の向上を図ること」が59.9%、「安心して子どもを産み育てられるようにすること」と「子どもの生きる力を育み、いきいきと学べる教育環境を整えること」がともに54.1%となっている。

図表-11 魅力あるまちを創造するために、区が重点的に進めるべき取組（全体）



属性別でみると、「住み心地の良い豊かな生活環境にすること」は、年代別では30代で71.1%と最も高くなっている。

図表-12 魅力あるまちを創造するために、区が重点的に進めるべき取組
(性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



②「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」に必要な施設・設備

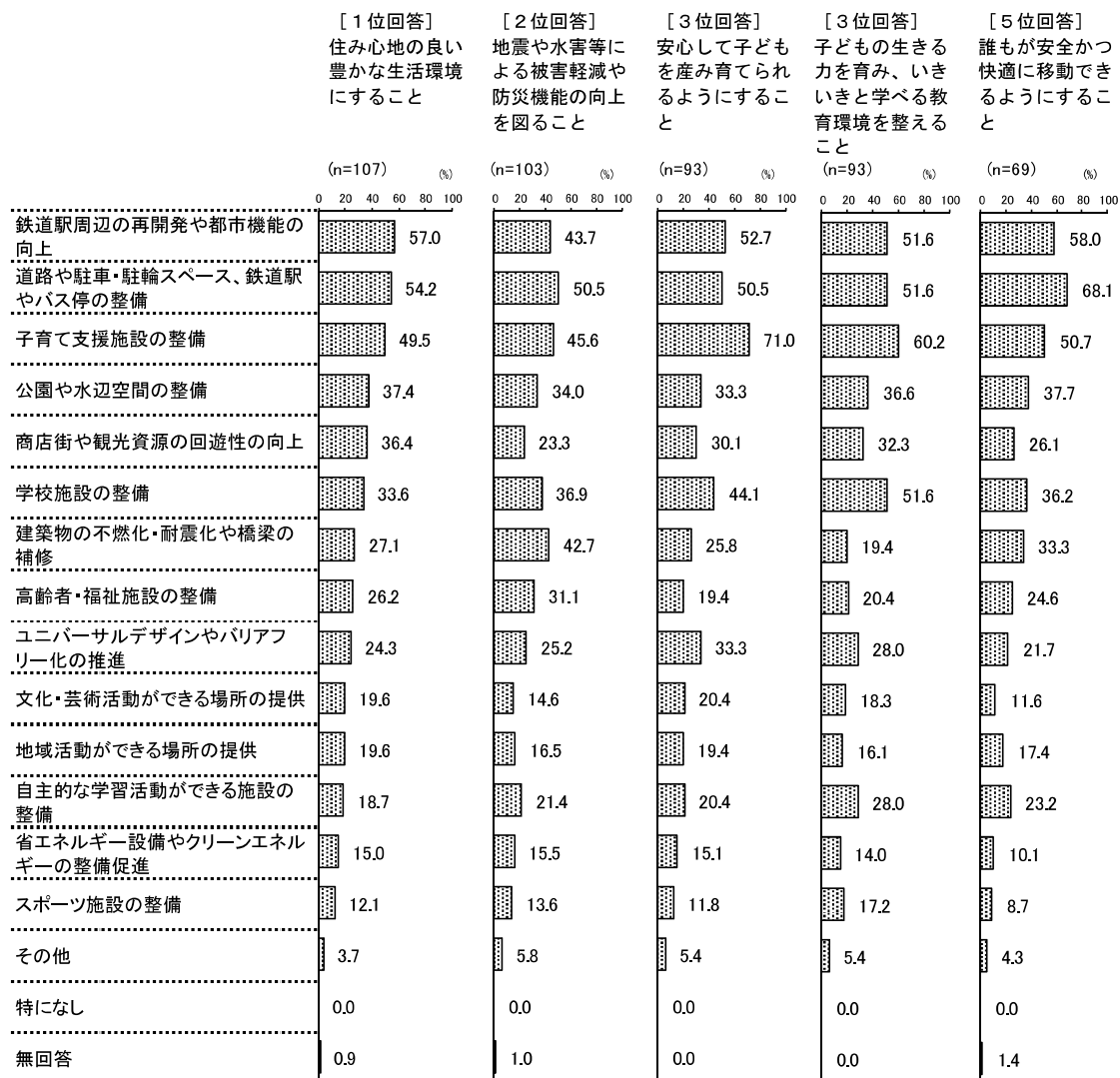
問4 (1)～(3)の質問についてお答えください。

(2) (1)で選んだ＜重点的な取組＞のために、あなたが必要だと考える施設・設備を＜施設・設備＞の中から5つまで選んでください。

問4(1)の「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」で回答割合が1位の「住み心地の良い豊かな生活環境にすること」に必要な施設・設備としては、「鉄道駅周辺の再開発や都市機能の向上」が57.0%で最も高い。

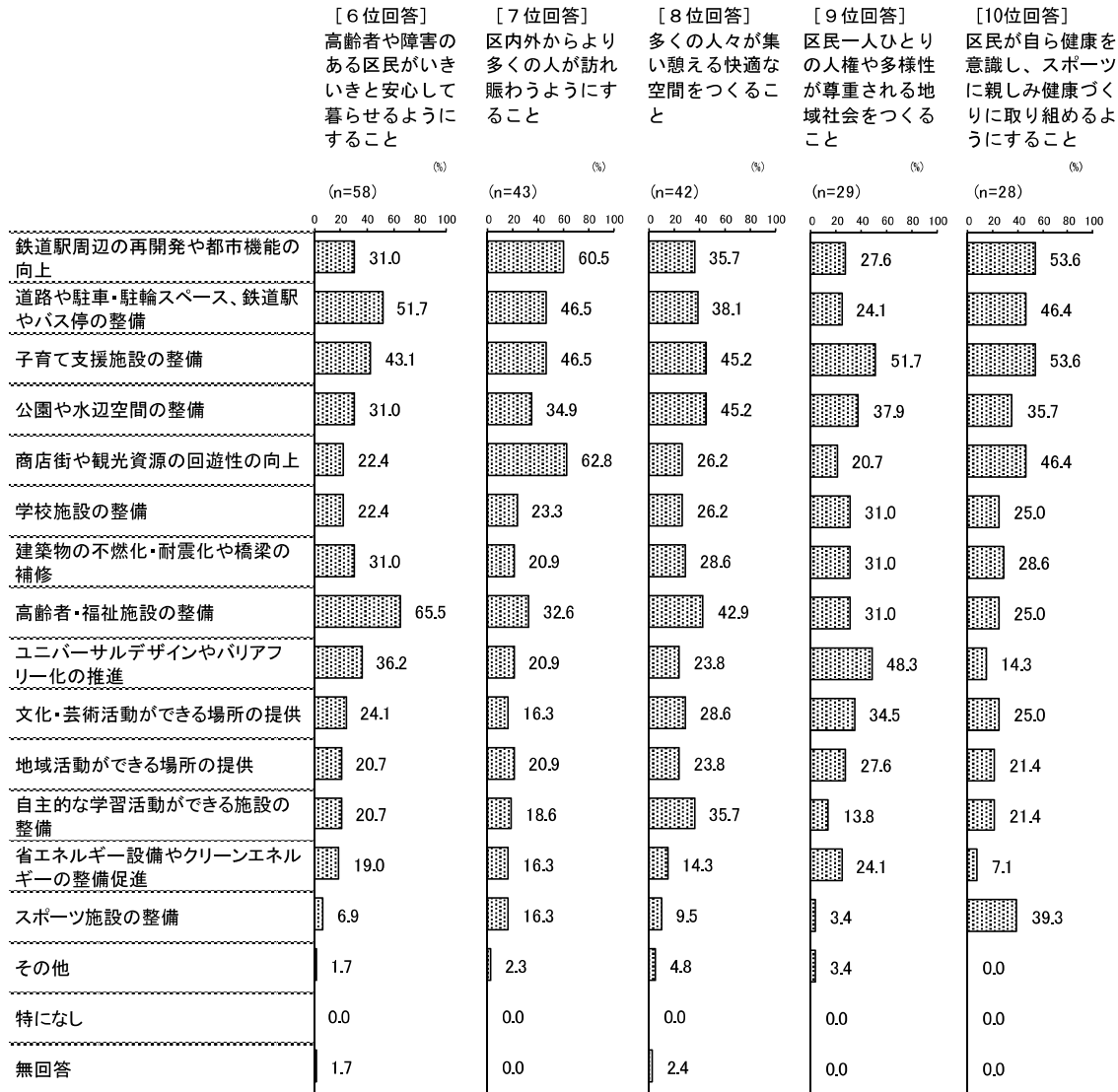
また、回答割合2位の「地震や水害等による被害軽減や防災機能の向上を図ること」に必要な施設・設備としては、「道路や駐車・駐輪スペース、鉄道駅やバス停の整備」が50.5%で最も高く、回答割合3位の「安心して子どもを産み育てられるようにすること」に必要な施設・設備としては、「子育て支援施設の整備」が71.0%で最も高く、同じく回答割合3位の「子どもの生きる力を育み、いきいきと学べる教育環境を整えること」に必要な施設・設備でも、「子育て支援施設の整備」が60.2%で最も高くなっている。

図表-13 「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」に必要な施設・設備
(「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」1位～5位回答別)



問4（1）の「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」で回答割合が6位～10位の取組に必要な施設・設備については以下のとおりとなっている。

図表-14 「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」に必要な施設・設備
 （「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」6位～10位回答別）



③「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」に必要な区民サービス

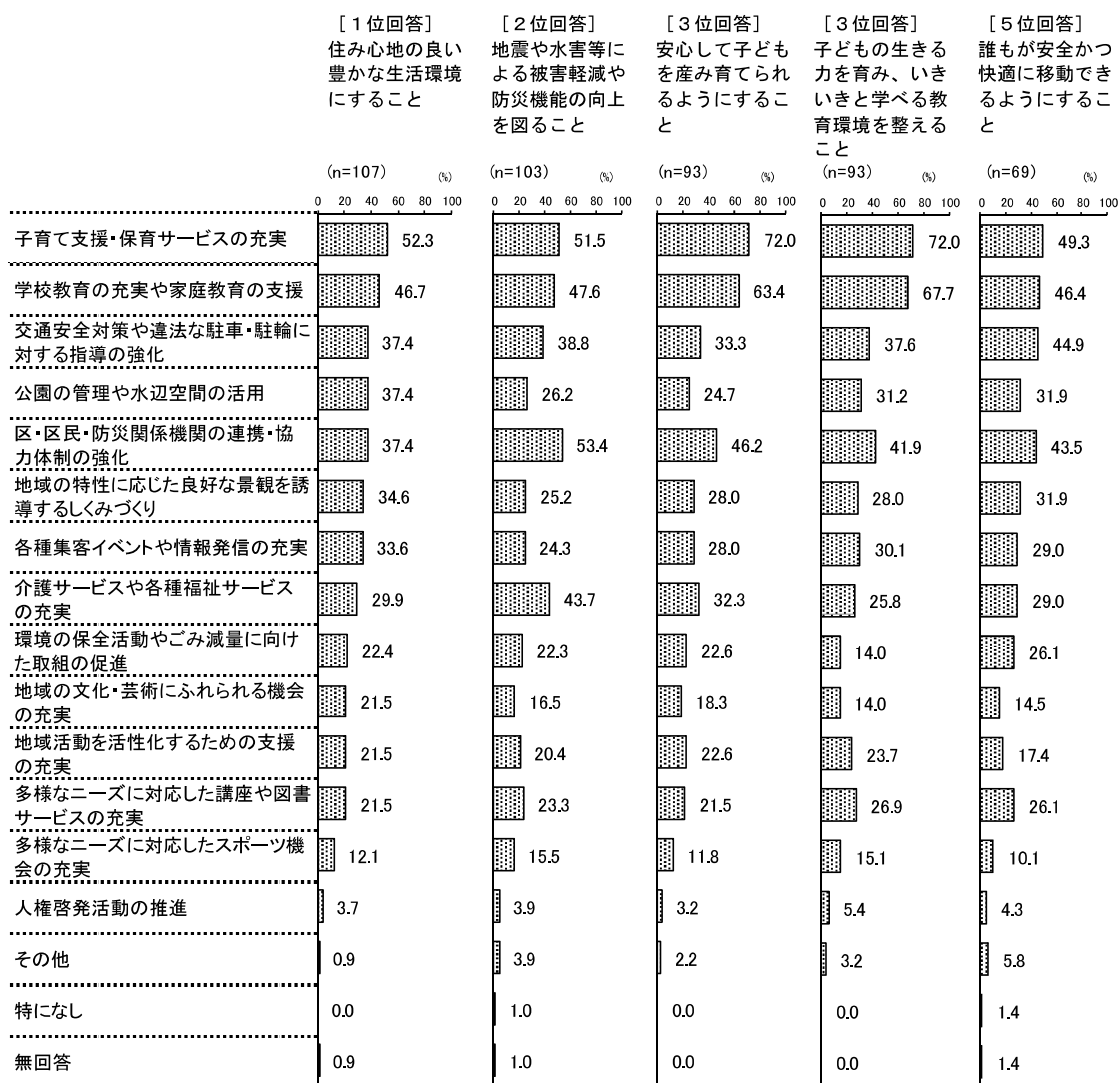
問4 (1)～(3)の質問についてお答えください。

(3) (1)で選んだ＜重点的な取組＞のために、あなたが必要だと考える区民サービスを＜区民サービス＞の中から5つまで選んでください。

問4(1)の「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」で回答割合が1位の「住み心地の良い豊かな生活環境にすること」に必要な区民サービスとしては、「子育て支援・保育サービスの充実」が52.3%で最も高い。

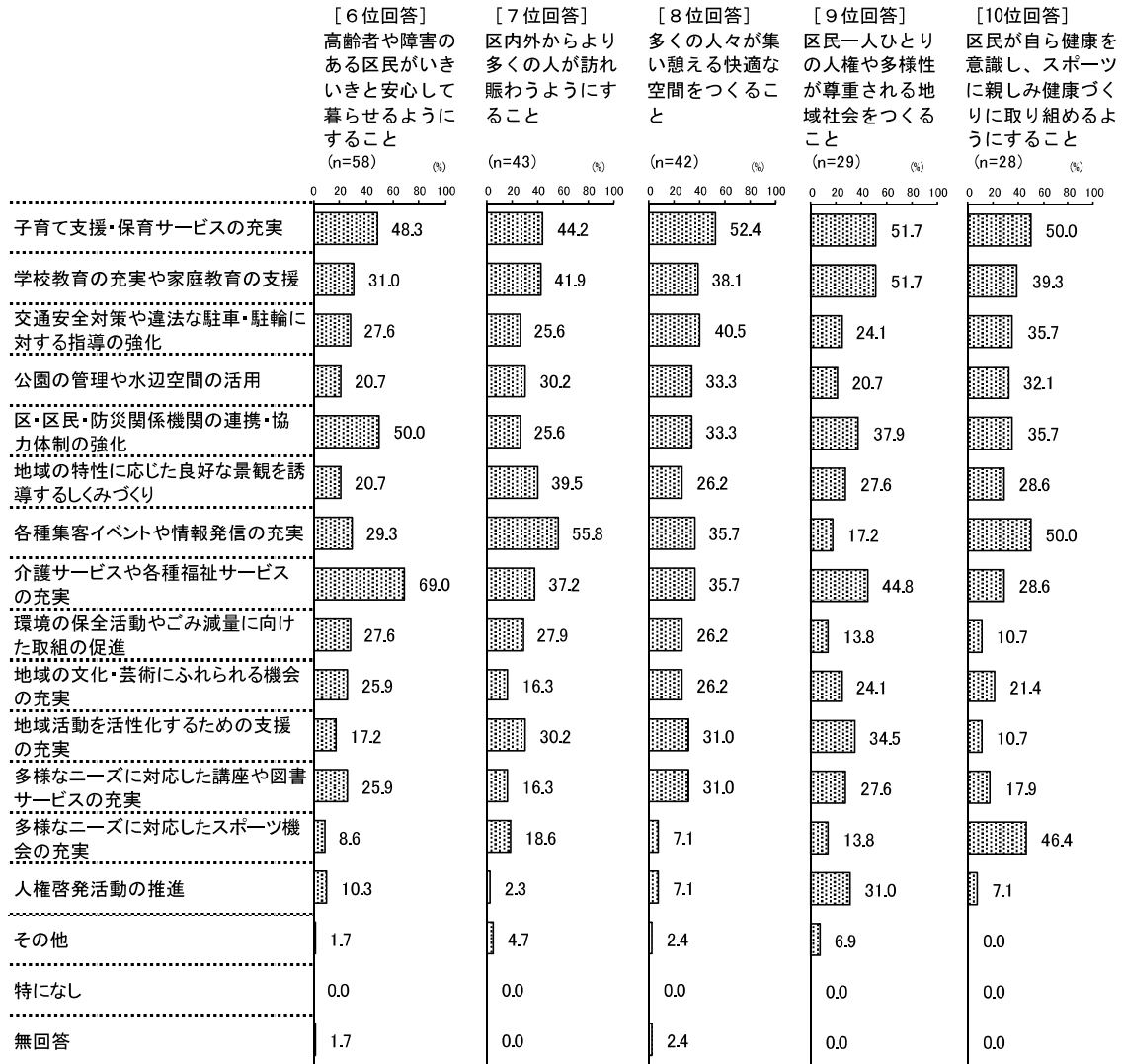
また、回答割合2位の「地震や水害等による被害軽減や防災機能の向上を図ること」に必要な区民サービスとしては、「区・区民・防災関係機関の連携・協力体制の強化」が53.4%で最も高く、回答割合3位の「安心して子どもを産み育てられるようにすること」に必要な区民サービスとしては、「子育て支援・保育サービスの充実」が72.0%で最も高く、同じく回答割合3位の「子どもの生きる力を育み、いきいきと学べる教育環境を整えること」に必要な区民サービスでも、「子育て支援・保育サービスの充実」が72.0%で最も高くなっている。

図表-15 「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」のために必要な区民サービス
(「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」1位～5位回答別)



問4(1)の「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」で回答割合が6位～10位の取組に必要な区民サービスについては以下のとおりとなっている。

図表-16 「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」のために必要な区民サービス
 (「魅力あるまちを創造するための重点的な取組」6位～10位回答別)

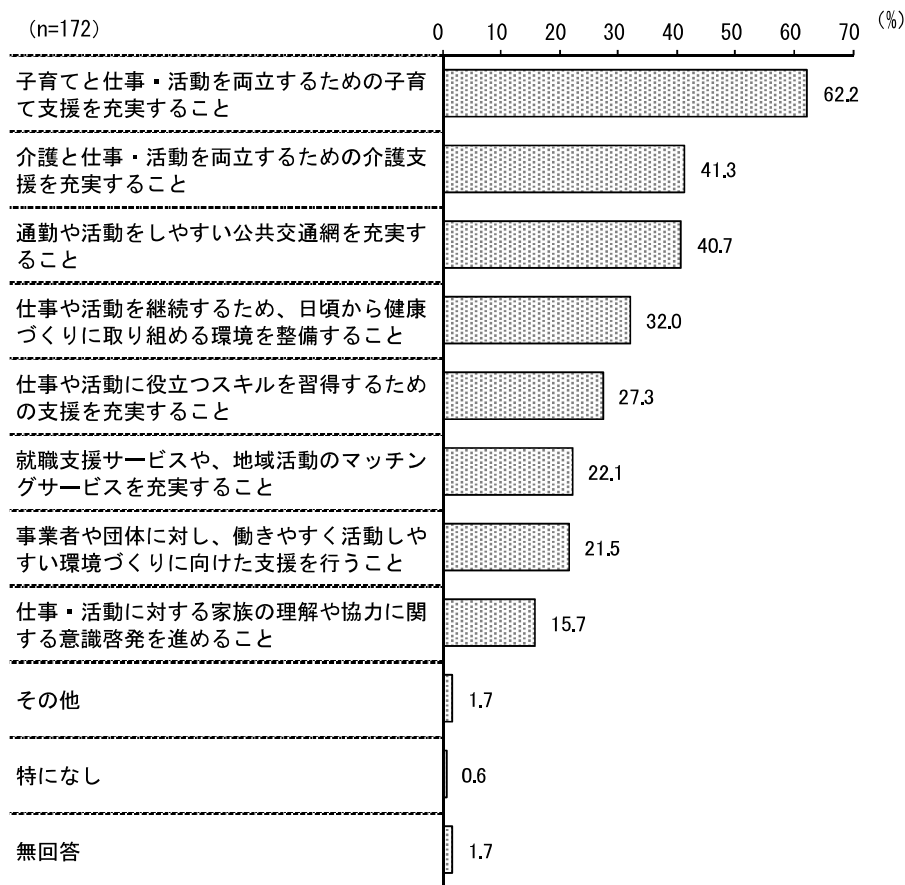


④あらゆる世代が活躍できるまちの実現ために、区が重点的に進めるべき取組

問5 あらゆる世代が様々な場面でいきいきと活躍できるまちの実現のため、区が重点的に取り組むべきことは何だと思えますか（〇は3つまで）。

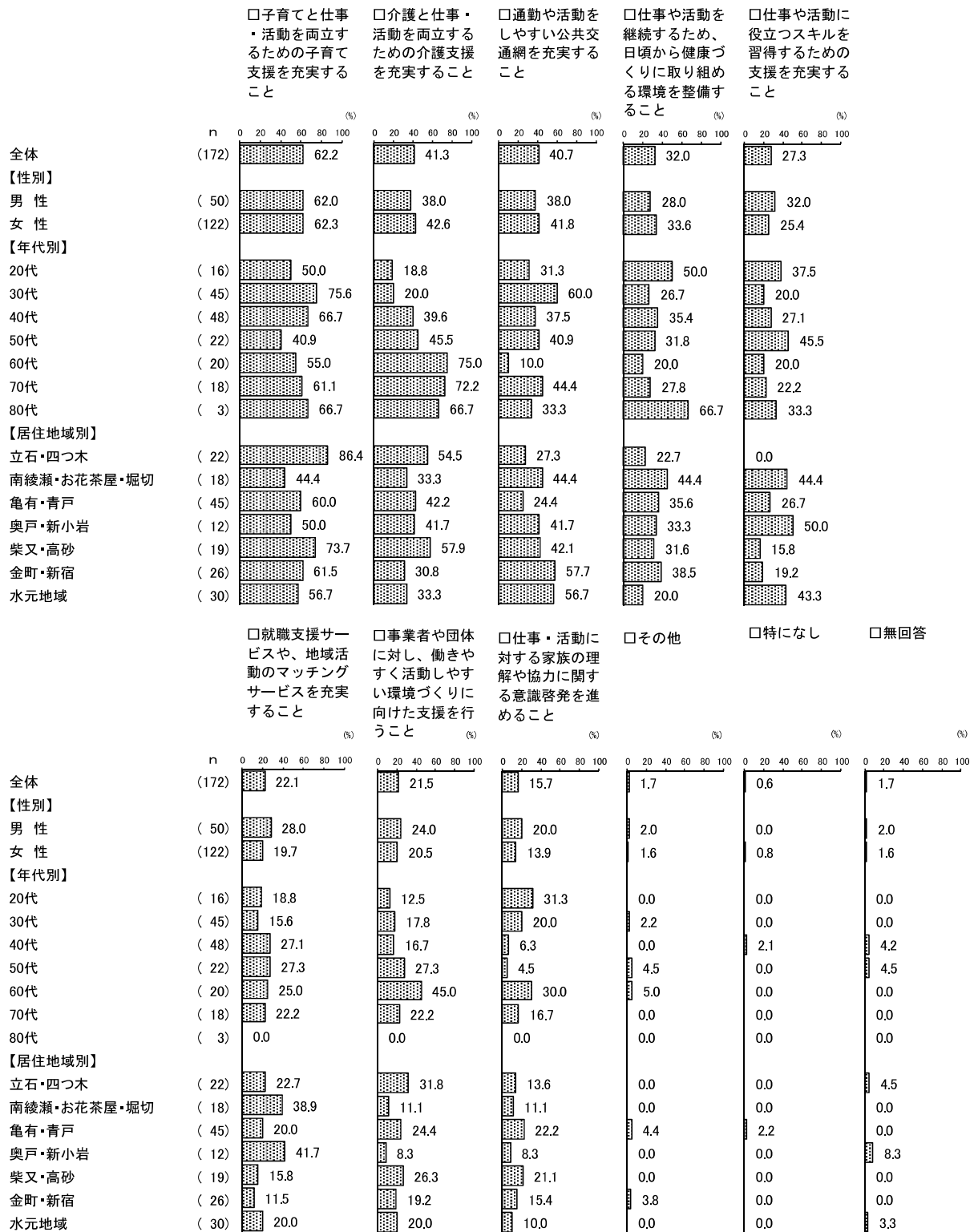
あらゆる世代が活躍できるまちの実現ために、区が重点的に進めるべき取組としては、「子育てと仕事・活動を両立するための子育て支援を充実すること」が62.2%で最も高く、次いで「介護と仕事・活動を両立するための介護支援を充実すること」が41.3%、「通勤や活動をしやすい公共交通網を充実すること」が40.7%となっている。

図表-17 あらゆる世代が活躍できるまちの実現ために、区が重点的に進めるべき取組（全体）



属性別でみると、「子育てと仕事・活動を両立するための子育て支援を充実すること」は、年代別では30代で75.6%と最も高くなっており、居住地域別では立石・四つ木で86.4%と最も高くなっている。「介護と仕事・活動を両立するための介護支援を充実すること」は、年代別では60代で75.0%、70代で72.2%と高くなっている。

図表-18 あらゆる世代が活躍できるまちの実現ために、区が重点的に進めるべき取組
(性別・年代別・居住地域別)



(3) これからの葛飾区のまちづくりについての意見や提案（自由記述）

問6 これからの葛飾区のまちづくりについて、葛飾区をより良いまちにするために、区として取り組む必要があることや解決すべき課題について、ご意見やご提案などがございましたらご自由にご記入ください。

(具体的な記述内容)

- 公立の学校のレベルを上げること。(亀有・青戸/30代/女性)
- 区役所庁舎の建替えが本当に必要か否か、再度検証が必要だと思われる(透明性)。各選挙への投票者に際し、税率を安くする等の処置を施す。(金町・新宿/50代/男性)
- 葛飾区は海拔ゼロメートル地帯かつ地盤が脆弱で、災害に弱いのが一番の問題だと思う。ぜひ、治水事業や避難施設の充実化に取り組んでいただきたい。(亀有・青戸/40代/女性)
- 子どもが多い自治体だと感じるので、もう少し子育て世代に対して手厚くあってほしい。(柴又・高砂/30代/女性)
- ベビーカーを押していて危ない道路がたくさんある。小学校も近いのでぜひ改善してほしい。ガードレールをつけるなど対策をしてほしい。自転車も多い。環状七号線から奥戸スポーツセンターの所などは交通量も多く、車との距離も近いので危ない。(柴又・高砂/30代/女性)
- 金町駅の拡張。駅前(北口)の整備。路上駐車を取り締まり強化。(金町・新宿/20代/女性)
- 30~40代の中で非正規として働き、ワーキングプアーになっている方々が多くいると思う。正規の社員を希望しても就職活動をしなくてもなれず、傷つきあきらめて働いている人たちが多い。そんな経験から引きこもっている人もいると思う。行政としてもそういった人たちが老後生活保護になったり、非正規の人々ばかりでは将来のコストが確実に上昇しマイナスである。そういった所に目を向けていかないと、他のことにまで目が向く余裕もなく、休日も働いている人が多い。以前、区役所で国民年金について話をし、無職の時に払えないと言うと、義務だと怒り口調で言われた経験もあり、行政の目が向いてないと感じている。(立石・四つ木/40代/男性)
- 高齢者ばかりにスポットをあてているので、子どもをメインにした予算の使い方をしてほしい。区の広報誌も、高齢者サービスばかりが目立つ。このままでは若い人達が住みたいと思わない。(立石・四つ木/40代/女性)
- 子育て支援が充実し人口が増えているが、子どもたちが社会に出た後(20歳を超えた後)、人口が減らない(子どもたちも区内にとどまれる)環境づくり。中学校、高校、大学受験で区内を離れるが、その後に戻ってこれる「何か」が必要と思う。(金町・新宿/40代/男性)
- 葛飾区はルールを守れない、マナーの悪い高齢者が多く感じるので、その方々への指導を徹底してほしい。(金町・新宿/30代/女性)
- 水元地区に移住して4年、年寄りに情緒一杯の葛飾区だし、若者にはスポーツセンター公園の充実で、老若男女が住むには絶好地と感じている。更には近くにある葛美中学校の校訓が「美しい心」を目指して勉強、運動に行動しているのは素晴らしいと思ってい

る。より良い街にするためには全ての区民が「美しい心」を持つべきであろうが、「美しい心」は目には見えない。目に見える美しい物として葛飾区の建物、道路、公共施設を見た時、道路にタバコのポイ捨て、吸い殻、チリ紙、マスク、犬の糞、ペットボトル、空カン等が捨てられているのは残念。信号機の点滅無視等、社会常識の自覚不足、みな「美しい心」を持つ教育が大切、必要ではなかろうか。葛美中の「美しい心」について、一度みんなで話し合ってみたらどうか！？（水元地域／80代以上／男性）

- 高齢者を中心としたボランティア活動を支援、子育て支援にマッチさせてはどうか。（柴又・高砂／70代／男性）
- 良い点を生かす。気さくで温かく人情ある明るい区民が多いので、区と区民あるいは区民同士の交流や協力を密にして、楽しいイベントは楽しく（祭り、フェア、行事）、苦しい時には助け合う（災害、介護、医療、教育）体制を確立できたら良い。悪い点を改善する。他の区に比べてどうしても古いイメージ（道路、建物…区の顔の「区役所」も分かりづらく古い構造でびっくり）があり、水元公園以外の街並みは緑が少ない。昭和の温かみを残すことと並行し、これからは清潔感や、快適な空間も求められると思う。（柴又・高砂／50代／女性）
- 外国人の常識、生活習慣にとまどうことがある。今後は、外国人が増えると思う。和合出来るような理解力が備わるような、何か良い企画をしていただけると良いかと思う。（立石・四つ木／50代／女性）
- 交通（できれば引き込線の活用ができればと思います）。区役所へ行くのが不便。駅前に移動するかバスで行くと時間がかかるので、考えてほしい。クイズで23区の中で1つだけ地下のないところ、答え葛飾区とバカにされている。地下街をつくる。（奥戸・新小岩／70代／女性）
- 広いエリアの中なので、行きやすい場所や駅近の街がまちづくりの代表になっているように思う。花のある街とか、もう少しこまかな葛飾区の街を発信していただきたい。（亀有・青戸／70代／女性）
- 去年の台風の時にメディアで葛飾区・江戸川区の水害についてイメージダウンな話をしていた。そのイメージを払拭するようアピールしてほしい。（奥戸・新小岩／30代／女性）
- まちづくりも重要かと思うが、下町の住宅情報等考えると、特に防災面での充実に力を入れてほしいと思う。（立石・四つ木／60代／女性）
- 金町駅の整備（ホームの拡充、常磐快速線の停車）。公立学校のレベルアップ（学力向上、施設の整備）。自転車レーンの設備（現状の自転車レーンは道路内で車とぶつかりそうでもとても危険）。（金町・新宿／30代／女性）
- 「住みやすい」とは区民が安全・安心であることだと思う。とても住みやすく感じているので、この安心感が壊されることのない区政であってほしい。特に外国人を多く見るようになった（社会全体として）。多くの区民（外国人を含む）が安心できるまちづくりとして、特に外国人に対して自国、出身国の文化や慣習を理解しながら、日本の文化や慣習を理解してもらう努力や対策が必要であると思う。（亀有・青戸／20代／女性）
- 教育環境の充実。例えば国立、私立の小学校、中学校、高校を誘致するなど。（亀有・青戸／40代／女性）
- 地域の子ども向けのスポーツを推進してほしい。また、小・中学生へのスポーツや芸術

などの外部指導者の呼びかけや、金銭の援助、活動の場を提供してほしい。サッカー、野球等は目につくが、室内スポーツにももっと配慮がほしい。災害時の取組みは広報活動もあり、充実してきていると思う。自分自身でも身を守る為の備えをしているつもりだが、危機感が薄れると油断が出てくるので、度々の注意喚起をお願いしたい。(亀有・青戸/60代/女性)

- 限られた税金のもと、バランスのとれた施策が求められるが、同時に区の発展を志向していくには、他と横並びでない、区特有の施策が必要だと考える(例えば、ベンチャー企業誘致のための予算化等)。(柴又・高砂/70代/男性)
- 子育て世代に対して、もっと手厚い保障をしてほしい。若い世代が増えれば街は元気になる。(亀有・青戸/30代/男性)
- 通勤通学に便が良くなるように鉄道バスルートの充実。他区には区のバス(すみりん台東バス)などがあるが葛飾区にはない。バスをもっと身近に使えるようにしてほしい。また子育ての相談場所が保健所だけでなく学校、児童館で専門スタッフさんが常駐されているところを増やして欲しい。(亀有・青戸/30代/女性)
- 金町駅の再開発は待ったなしである。自転車が歩道を走るのも危険。タワーマンションが近々2棟もできる。それとも、もう計画はあるのでしょうか。私は何も知りません。(金町・新宿/50代/女性)
- 地域住民にとって深刻な問題のひとつは、ごみの収集である。収集場所には決められた地域住民が捨てるだけではなく、通勤途中の人たちが自転車などに乗ったままポイ捨てる人も多い。地域の住民が交替で清掃などをしていても、何の役にもたたない状況である。できることならば個別収集をしていただければ、それが最も良い解決方法ではないかと思う。柴又や水元公園など、観光地域では特にごみの収集日に収集場所にごみが散乱しては見苦しいものがあり、観光地としては相応しくないと思う。人手や経済的負担などを考えると難しいとは思いますが、ある程度の有料化なども視野に入れてでも検討していただきたい課題ではないか。(金町・新宿/70代/女性)
- 金町北口バス通りの駐停車を禁止すべき。バスが通れず問題。理科大学、タワーマンションが増え、歩行者が道にあふれ大変危険。金町駅に新たな改札口を早急に作ることを願う。(金町・新宿/40代/女性)
- 子どもは未来の宝。葛飾区発展の為の人材という考えのもと、子ども達の教育や才能を伸ばせる為に力を入れていく。お年寄りが増えていくこれからの為に、高齢者が安心して暮らせる葛飾。健康で明るいお年寄りが多く住みやすい葛飾に取り組んでほしい。(南綾瀬・お花茶屋・堀切/70代/女性)
- お花茶屋商店街が閉店ばかりで、あるのはタピオカ店が3つ。駅ビルもないし、駅を降りてそんな景色では人が集まらないと思う。せっかく公園もすぐ近くにあるから、何か活用・改善できないか。(南綾瀬・お花茶屋・堀切/40代/女性)
- 観光地化。魅力ある観光都市・まちづくりをして集客力を高める。(南綾瀬・お花茶屋・堀切/50代/男性)
- 自転車の数が多すぎて、狭い道など危ない。子どもを乗せた自転車で車道は怖いので、道が広くなればいいなと思う(ベビーカーで歩くのも歩きにくい場所があります)。30代くらいからの大人が楽しめる場所が少ない(商業、飲食等。アリオは子ども向け)。公園など水辺空間はきれいだと思う。エレベーターがない駅があるので困る。柴又に自転

- 車で遊びに行きたいが、駐輪場がわからない。駐車場も高い。(亀有・青戸／40代／女性)
- 安心して歩ける歩道づくり。道が狭くて、学生達は広がって歩くので怖い。向かいから車が来ても、安全に避けることができない。特に高砂中学校の前の道。(柴又・高砂／30代／女性)
 - 子どもをたくさん産んでも助け合いながら育てる環境づくりをして欲しい。(柴又・高砂／40代／女性)
 - 区から育ったタレント、アスリート等に来て頂き、たくさんの人が集まる中で広めて行けたらと思う。(立石・四つ木／70代／男性)
 - 自然災害への対策。(水元地域／40代／女性)
 - 駐輪場の整備。子育て支援、保育園をいっぱいつくるといふより、質のしっかりした育児施設になるように管理、チェックをしてほしい。防災対策、特に水害。今年の10月の台風の時、マンションの1、2階の人たちが階上に逃げられればよかった、という話を聞いた。各マンションの自治体などで行うべきかもしれないが、階下の人々の有難い際の受け入れを考えてもらったり、新しくつくる建物があれば、2階、3階以上に広い共有スペースを必ずつくるように働きかけるなど。(立石・四つ木／30代／女性)
 - 金町駅と駅周辺が狭く感じる。駅にホームドアをつけてほしい。改札を広くしてほしい。駅周辺、歩道を広げてほしい。(金町・新宿／30代／女性)
 - 警察官の配置をもっと増やせるのなら増やしていただいて、特に自転車の右側通行する人たちを取り締まってほしい。平気で右側をすごい勢いで自転車をこいで向かってくる人たちが多く、失望している。(亀有・青戸／50代／女性)
 - 区外の人に頼ることなく、区民でまちづくりを進めていくこと。(金町・新宿／40代／女性)
 - 高齢者が施設でなく自宅で健康でいられる様な取組を行ってほしい。皆が他人にやさしく生きられる様、不満を言うより希望を持って皆で考えること。(南綾瀬・お花茶屋・堀切／70代／女性)
 - 学校公開日に小学校を見に行ったら。夏休みの自由研究の作品が置いてあって、出来が学校によってすごく差があると思った。金町小はとても良かった。犬のフンが多くて、ヨチヨチ歩きの子どもの歩かせるのにヒヤヒヤした。交通ルールを守らないお年寄りが多い。車で赤とわかっているのに発進(誰もいないの確認してから)。(水元地域／30代／女性)
 - 町内会の会員として一員になっているが、今年の台風の時、FMかつしかを聞き避難した方が良い状況になったため、班長さんに電話し避難した方がよいか相談したところ「そんなの個人個人で決めて下さい」とむげにされてしまって、結局近くの小学校へ避難したが、地域のつながりの無さを感じ悲しくなった。(南綾瀬・お花茶屋・堀切／40代／女性)
 - 駅周辺の違法駐車を取り締まり。信号無視を多々見かけるので、子どもなど事故に合うか不安なので対策をしてほしい。(水元地域／30代／男性)
 - 区だけの問題ではないのかもしれないが、車道に書かれた自転車通行の図、自動車も自転車も双方が走行しにくい。ちなみに、自身は双方に乗ります。共存していない。(亀有・青戸／70代／女性)

- 南水元在住なので、金町、亀有駅を利用します。金町駅北口は整備が進まず、バス通りは狭く車も多いので、自転車（子どもを乗せての自転車）、ベビーカーなどで行くのに躊躇して不便さを感じる。寄りたいお店もあるのに、歩道も狭く、特に銀行など気軽には行けません。北口の発展・道路整備を期待する。（水元地域／40代／女性）
- JR駅、アーケード、平和橋通りを毎日利用する。自転車、通行人、モラルの低下でとても迷惑な人がたくさんいる。学生なども広がってダラダラ歩いたり、自転車は歩道の真ん中を走ったり…、接触が嫌なのでよけますが、こちらが常に気を使うので疲れる。（奥戸・新小岩／50代／女性）
- 駅や駅周辺をもっと快適な環境にする（景観、設備、ニーズのある店舗の誘致）。災害対策を万全に整える、及び情報を共有する。（亀有・青戸／40代／女性）
- 空き家対策、空き地の活用。車いすでも入りやすい食事処、チェーンレストランなど2階でエレベーターがないところが多い。商店街の活性化、お店を出したい人のお試し貸出し（フリースペース）。地域の特産品の販売。（立石・四つ木／40代／女性）
- 高齢者の暮らしやすい社会環境、人と人との繋がりの感じられる地域をめざしたい。（立石・四つ木／60代／女性）
- 現在、3人の子育てをしている。年々、子育てに関しての制度だったり、施設、サービスなど充実してきていると感じている。無償化に伴う給食費の免除はとても有難く、他の近隣地区にはないものでうらやましいと言われている。その一方で、子ども会の運営が成り立たず、地域の密着というのは薄い気がする。未来を担う子どもたちが、親も含めてコミュニティを作り、また近所の高齢者とともに生活できるような取組もあればいいのと感じています。（水元地域／30代／女性）
- 高齢化の進行を改善するために、ファミリー層の居住促進について詳しく知りたい。居住したい、長く住みたいと思ってもらえるように子育ての環境を充実させ、アピールすべき。私が住んでいる堀切地区では、子育て広場がないので遠方まで足を運んでいるママさんも多い。児童館や学童はあるので、小学生からの環境は整ってるようだが、それより幼い未就学児をサポートする環境が足りない。基幹児童館以外は日曜日がお休みなので、子育て広場もないし、遊ばせる場所に困っている。子育て広場の新設、各児童館の閉館時間の拡大を希望する。（南綾瀬・お花茶屋・堀切／40代／女性）
- 最近の新聞情報によると、住みやすい街の筆頭に葛飾区が挙げられております。全国から注目のまよになっているようである。しかし、一朝一夕にそのような評価がなされるわけではない。地道な行政と区民の協働の結果であることは明白である。今後は今までの進め方を再確認するとともに、将来に向けた検討を常に怠ることなく、よりよい行動を実践すべき。特に少子高齢化と外国人の増加に対する対応は大変重要と思われる。一つは子どもを産み、育てやすい環境づくりが更に必要でしょう。外国人対応は、その家族、特に子どもに対する義務教育が急務です。今の区役所のメンバーでは対応が後手に回る恐れがあるので、国（文部科学省が中心）と協議し、模範地域として進めたらよいと思う。当然、都の教育庁も巻き込む必要がある。（柴又・高砂／70代／男性）
- たばこ…分煙等しているのに高齢者の方が（男性に多い）たばこ片手に自転車を運転しているのを何度も見る。若い者というが高齢者の方がマナー悪いし、自転車の運転も危ない。車同様、年齢で区切るべき。ケガしたら医療費、かさめば税金が高い。地域といっても両2、3軒ならば何とか、地区全体となると厳しい。子ども～高齢者まで一同には

無理。若い世代の方も逆に関わりたくない方もいるし、高齢者に時間合わせると、若い方、真ん中世代も厳しい。(水元地域／50代／女性)

○在住して約50年になる。台東区～葛飾区に来てからですが、住めば都と感じている。京成電車とのアクセスで他の場所に行けますが、高齢になると足等も悪くなりますことを感じると、区内でのアクセス等はかなり良くなったと思います。バス等の街の中に入り込み、シルバーパス等を利用している高齢者を見る。まだまだ活動ができるようにしたい。(南綾瀬・お花茶屋・堀切／60代／女性)

○子育てをする中で葛飾区に住んでいて良かったと思う機会がよくある。いつもありがとうございます。今後も続けて頂きたい。(水元地域／30代／女性)

○水元公園を軸とした駅。(水元地域／30代／男性)

○ランドセル来館事業を行ってほしい。事実、パートとして短時間で働いている母親はとても多い。学童に預けるほどの利用は必要ないが、週に数日、家の人がパートから帰ってくるまでの短時間だけ預かってもらえると職場にも迷惑をかけず、働きやすい環境になるのでぜひ始めて頂きたい。(水元地域／30代／女性)

○道路、公共施設の全面禁煙。(立石・四つ木／30代／女性)

○公園、駅、スーパーなどに捨てられる家庭ごみを少なくしてほしい(特に目につくのは公園のごみ箱からあふれるごみ)。道路に捨てられるごみやタバコの吸い殻。狭い歩道を無理して通る自転車や乗る人のマナーの改善(特にお年寄りには危ないと感じる)。自転車の専用レーンの充実(シェアサイクルにより他の地域から人が来やすくなる)。踏切前の横断歩道で一時停止しない自転車のマナーの悪さ、公園でハトへのえさやり、野良猫へのえさやり、ペットの糞の不始末等々、どこの街でも見かけられる事だが、葛飾区はちょっとひどいと思う。地震、水害に強い街。緑が少ないので、もう少し多い方がよい。(亀有・青戸／50代／女性)

○住民パワーの活用が必然だと思うが、その為には活動する場(拠点)が必須。拠点があることで、活動したい人と活動団体とがつながることができる。相談窓口の一元化。区内の居住地域の側に相談窓口があれば、足を運びやすい。たらい回しではなく、そこに相談に行けば、寄り添ってもらえる場。専門家につなげる前段階の場であればいいと思う。(柴又・高砂／60代／女性)

○一人暮らしの人が多いため、町会でもっと呼びかけて、いろんな催しをやってほしい。(亀有・青戸／60代／女性)

○葛飾区役所が立石駅前の再開発ビルに移転する件だが、これから老人が多くなり、財政的に厳しくなると思われる。そういう状況で再開発という形ではなく更地に新庁舎を建設した方が安くすむのは当然と思われる。お花茶屋駅前や青戸公園、高砂駅近くの都営住宅跡地など、場所はあるのに昔ながらの立石駅前の良さを壊してしまうのはもったいないと思う。限られた財政の中で葛飾区をより良い街にするには、庁舎の投資を少なくして、地域の活性化に投資をしてほしいと願う。他区の庁舎と競争するようなことはやめてほしい。全国的に見本となるような、安くて強固で、ムダな空間スペースのない庁舎を建設してほしい。(亀有・青戸／60代／男性)

○お年寄りに優しい街にするべき。エレベーターをもっと多くつける(街や駅)。(亀有・青戸／20代／女性)

○車優先ではなく、人が安心して歩ける道づくり(ベビーカーも子どもも車いすも杖をつ

いた人もサポカーを使う人も安心して歩ける道)。公園は禁止事項が多く、子どもが使いにくい。公園は高齢者をはじめとするウォーキング拠点、ストレッチや筋トレ拠点到に轉換し、子どもたちには学校開放、校庭開放を中心に遊べるように、スポーツできるようにしてほしい。ごみ捨て場がない、ごみの管理ができていないマンションやアパートに整備・管理を徹底してほしい。(亀有・青戸/40代/女性)

- 広い公園を生かして、子どもや高齢者が外で活動したいと思える様なイベントを増やすこと。(水元地域/40代/女性)
- 平たんで歩きやすい街並み、川に囲まれて水辺の利用もできそうな土地柄。歩道を走る自転車が多いので、専用レーンをつくってほしい。駅前の自転車置き場までレーンがあったら、放置自転車も減りそう。また区民は安価に自転車をレンタルできるようなシステムがあるとありがたい。マンションの置き場が満車のため、購入することができない。(奥戸・新小岩/50代/女性)
- 2020年4月から大企業に、2021年から中小企業に導入される同一労働同一賃金制度を、経営者サイドが保身のための道具として被雇用者の生活を圧迫する事がないように、悪用しないよう監視を強化してもらいたい。また、海外出身者も能力に応じて現場職員として積極採用し、多様性社会の先駆者になっていただきたい。(南綾瀬・お花茶屋・堀切/30代/男性)
- 住みやすい、住みたい区の実現に向けた、少子化、高齢化対策を最優先課題とし、それらを改善するための施策を図り、スピード感を持って実行頂きたい。特に、人口減少への歯止めとして、子育て世帯への支援に重点を置き、予算配分を図って頂きたい。(奥戸・新小岩/40代/男性)
- 歩道や車道の幅員が狭い幹線道路で、自転車で走行していると轆かれそうで怖いので、歩道やガードレールの整備をしてもらいたい。駅周辺で、区営のバイク駐輪場(一時利用/50CC以上)を増やしてほしい(水元地域/40代/男性)
- ドローン特区を作り時代を先取る。(立石・四つ木/40代/男性)
- 地域の核となる仕組みを作って、誰もが参加しやすい環境を作る。(金町・新宿/50代/男性)
- 防災対策、高齢者や子どもたちの支援、区内の働く場を多くすること(南綾瀬・お花茶屋・堀切/50代/女性)
- SDGsの環境に配慮したまちづくりを望む。生涯学習センターを中心に、区政の情報公開を拡げて区民が協働を学ぶ場として取組んでほしい。(立石・四つ木/60代/女性)
- 公園のオムツ替えなどの設備の古いものは新しくしていただきたい。トイレをキレイにすると区外からも遊びに来る家族が増えると思う。子連れだとトイレを重要視するので。(亀有・青戸/30代/女性)
- まずは誰でもが係る地震などの防災対策を講じ、区民に示すことだと思う。これがベースにないと次の課題が前に進まないでしょう。(亀有・青戸/60代/男性)
- 迷惑駐車廃止、防犯強化(亀有・青戸/40代/女性)
- 困った人を助け合えるネットワークがあると良いと思う。(亀有・青戸/40代/男性)
- 共働き家庭へのサポートと情報公開(情報へのアクセスのしやすさも含む)が必要。自分の子どもはいま保育園通園中。小学校入学以降不安なのは、学童保育の確保、PTAの強制参加、専業主婦前提の学校行事など。通学予定の小学校に何があってどうしている

のか知りたいが、知るすべがない。できればウェブ上でほかの学校と比較できるようにしてほしい。学童保育は葛飾区内で署名活動をしているのを見たが、その後十分な環境が整ったのか知りたい。(水元地域/30代/女性)

- どんなに葛飾区の行政サービスが良くても区のイメージが改善されない限り葛飾区が良い街と思われず活性化も難しい。そのため、防災対策の充実と犯罪の少ない安心したイメージを創ることが必要。木密地区の解消、水害対策の充実、交番の増設などが必要。また、鉄道の利便性が都心に近い割には不便のため改善を望む。鉄道の利便性向上はイメージアップにつながる。漫画や映画以外でイメージアップを。(金町・新宿/60代/男性)
- 葛飾区はとても住みやすい場所で、亀有や柴又など訪れる人も多く、誇れる街だと思う。ただ気になるのは、街をきれいに保つ意識の低い方達もいて、例えば道端で平気でタンを吐いたり、歩きタバコの後にはポイ捨てをしたりと、どんな教育を受けてきたのか?と思う人達をかなり見ることである(主に中高年の男性)。啓発ポスターなどを用いて、なんとか注意喚起できないか。これからの時代、きれいなまちづくりをめざす上で、住民達の意識の向上を目指すことは欠かせないかと思う。(金町・新宿/40代/女性)
- 十分に対応していただいていると思っている。最近、Twitterで京成電鉄に踏み切りを高架にする提案も出していると思うので、今後も住み続けたい街である。(南綾瀬・お花茶屋・堀切/40代/男性)
- 都内各区で実施されている「100円」バス(タウンバス)が葛飾区だけ運行されていないのはなぜか?バスの便が非常に悪いため、歩行移動しかできない地域や、一日に3~4便しか走っていない路線が存在しているのはなぜか?自転車に乗れない高齢者がスーパーへの買い物に苦労している現状を打開してほしい。(柴又・高砂/70代/男性)
- 各それぞれの町会イベント行事に、積極的に区の職員の方々が見学して、地域になじみ、顔見知りの体制も必要だと思う。信頼関係を持ち、それぞれの課題に取り組んでいけたら良いのではないか。(南綾瀬・お花茶屋・堀切/60代/女性)
- 子育て支援の充実で、若い家族が増えると思う。(亀有・青戸/30代/男性)
- 今後の台風の発生位置から水害の危険は免れないと思う。高台避難がかなわない土地柄、緊急時に避難できる場所をもっと増やしてほしいと思う。(金町・新宿/60代/女性)
- ただ道路にペイントしただけのサイクリングレーンの様に、危険で無駄な物はこれ以上作らないで欲しい。道路の整備もせずにあの場所を自転車で走れる訳がない。サイクリングレーンの上を車が走っている実情を理解しているのだろうか。(金町・新宿/40代/女性)
- 既に実施中かと思うが洪水、火災対策は区として重要。区外から転居するとき不動産屋を回ったがあちこちで水害はどうか?と客が店員に話した。気候変動が不安定な昨今、わざわざ水害の危険度が高い葛飾区にどれくらいの方が転居するのか。むしろ転出増になってもおかしくない。香害対策は急務である。抗菌洗剤や香り付き柔軟剤などの低濃度化学物質により化学物質過敏症を発症する患者が全国で増加している。葛飾区内においてはまだ報告例がないかもしれないが今後数年で増加すると思われる。まずはとにかく児童へのアンケート、親御さんへの啓発が必要。発症してからでは手遅れ。引きこもりとなり社会から隔離されてしまう。(亀有・青戸/30代/男性)
- 自然災害・大規模火災等に強い都市整備の為に積極的に社会資本・税金を投入する。交

通事故防止の為の迅速な設備増強（例）カーブミラーの設置、横断歩道の白ペンキ塗装が消えている箇所を無くす。直ぐに塗装補修する。道路塗装は警察の管轄、と2年以上放置された事があった。（柴又・高砂／70代／女性）

- 子どもの学力向上に取り組んでもらえれば、家の購入を検討する際に葛飾区に住みたいと思う方が増え、活性するはず。（立石・四つ木／30代／女性）
- 葛飾区でしかできないことを、発信できる何かが必要ではないか。例えば、水元公園にホテルが見られるようにするとか。（水元地域／50代／男性）
- 自転車の乗り方や、交通ルールやマナーの徹底、雨の日の傘さし運転への禁止する呼びかけ、危険な道路横断などの取り締まりを強化して欲しい。（立石・四つ木／40代／女性）
- にいじゅくみらい公園そばのアンダーパスの改善を希望する。車道は雨天時水が溜まる。歩道は狭く自転車がスピードを出して走行するため危険。（水元地域／50代／女性）
- 区民がよりよい生活環境を望む場合、区民自身が公の観念を持つ必要がある。よって区側も公の観念をもって区民に対応してほしい。（金町・新宿／60代／女性）
- 男はつらいよ、こち亀、キャプテン翼、相撲部屋などのイベントを増やして、葛飾区民以外の人々に対して魅力的な部分をアピールして欲しい。（亀有・青戸／40代／女性）
- 街灯の整備、夜に暗い場所や赤い色系の街灯を青に変えるなど犯罪が起きやすい場所を作らない。地域交流に参加することが当たり前になるような仕組みづくり（金町・新宿／30代／女性）
- キーパーソンを育成する。（金町・新宿／50代／女性）
- 学力の向上に向けての取組。（亀有・青戸／40代／女性）
- 駐輪場が十分に確保されていない（青砥駅周辺）。障害児支援が知的や情緒に限られ、病気や身体的にハンデがある子どもへのサポートがない。（立石・四つ木／30代／女性）
- 若者が、なにかしら自分たちの意思でまちづくりをしたいと思える具体的な区の方向性であったり、今やっていることを区全体に普及することが必要だと思う。もし今やっているのであれば、改善すべきだと思う。（水元地域／20代／女性）
- 高齢者・病人等の弱者に対する対策、特別養護老人ホーム等に入れない老人への有料介護施設の入居金・使用料等への補助、老老介護をなくす、望んでも叶わない人たちにアイデアを出し合い補助する。（柴又・高砂／60代／男性）
- 土手の付近に在住している。土手の整備がもう少しあっても良いのではと感じている。ごみが多く散乱していることは、不法投棄につながると思う。ごみをポイ捨てしないという住人意識もあわせて必要かと思うが、奥戸新橋の下に大きなものが捨てられているのも見受けられる。もう少し手入れがされれば、小さな子どもを遊ばせたりしたい。（奥戸・新小岩／30代／女性）
- 公園の整備、街路樹の剪定、花壇を設置して地域住民に手入れしてもらおう、などすると防犯的にもよいかと思う。治安のよくないところには防犯カメラを設置するのもよいと思う。（柴又・高砂／30代／女性）
- 広報かつしかをもっと読みやすくしてほしい。区のホームページをわかりやすくしてほしい。（柴又・高砂／50代／女性）
- 活動をするには費用が掛かるため、行政でバックアップをしてほしい。（立石・四つ木／40代／男性）

2. 葛飾区都市計画マスタープランについて

(1) 葛飾区都市計画マスタープランの認知

本区の20年後の将来像を展望した「葛飾区都市計画マスタープラン(※)(平成23年7月)」を策定してから8年が経過しました。

そこで、区では社会情勢の変化やまちづくりの進捗を踏まえ、葛飾区都市計画マスタープランの中間検証を行う予定です。

検証するにあたり、現行の葛飾区都市計画マスタープランや、今後のまちづくりの方針や課題などについて区民の皆様のご意見をお聞きします。

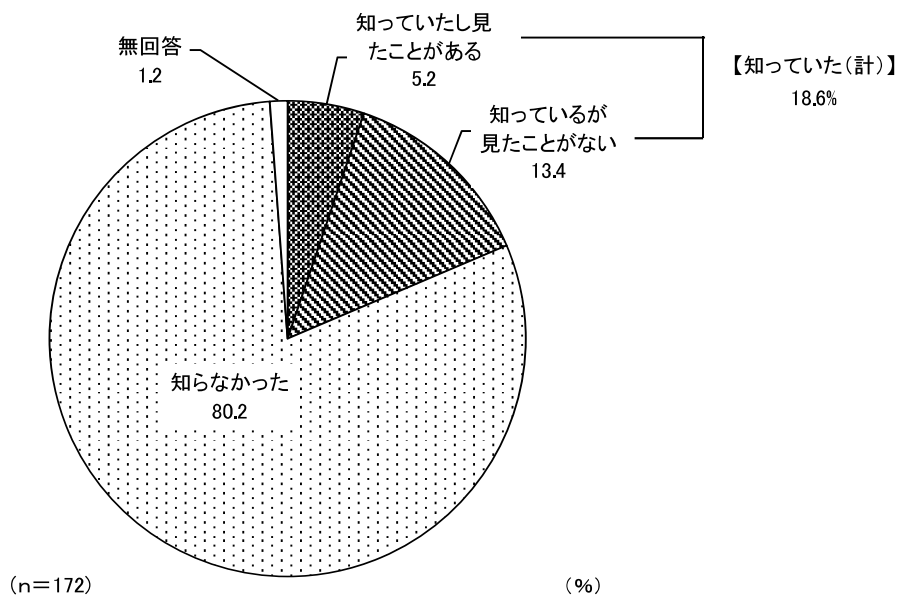
(※) 葛飾区基本構想に掲げる「水と緑ゆたかな心ふれあう住みよいまち」の実現を都市空間の整備の面から支え、まちづくりの目標・整備構想及び実現の方策を示した、まちづくりの総合的な指針

問7 葛飾区都市計画マスタープランを知っていますか(○は1つ)。

※区公式ホームページ(トップページ>区政情報>計画・報告>都市計画マスタープラン>葛飾区都市計画マスタープラン)よりリーフレット、概要版、本編などを見ることができます。

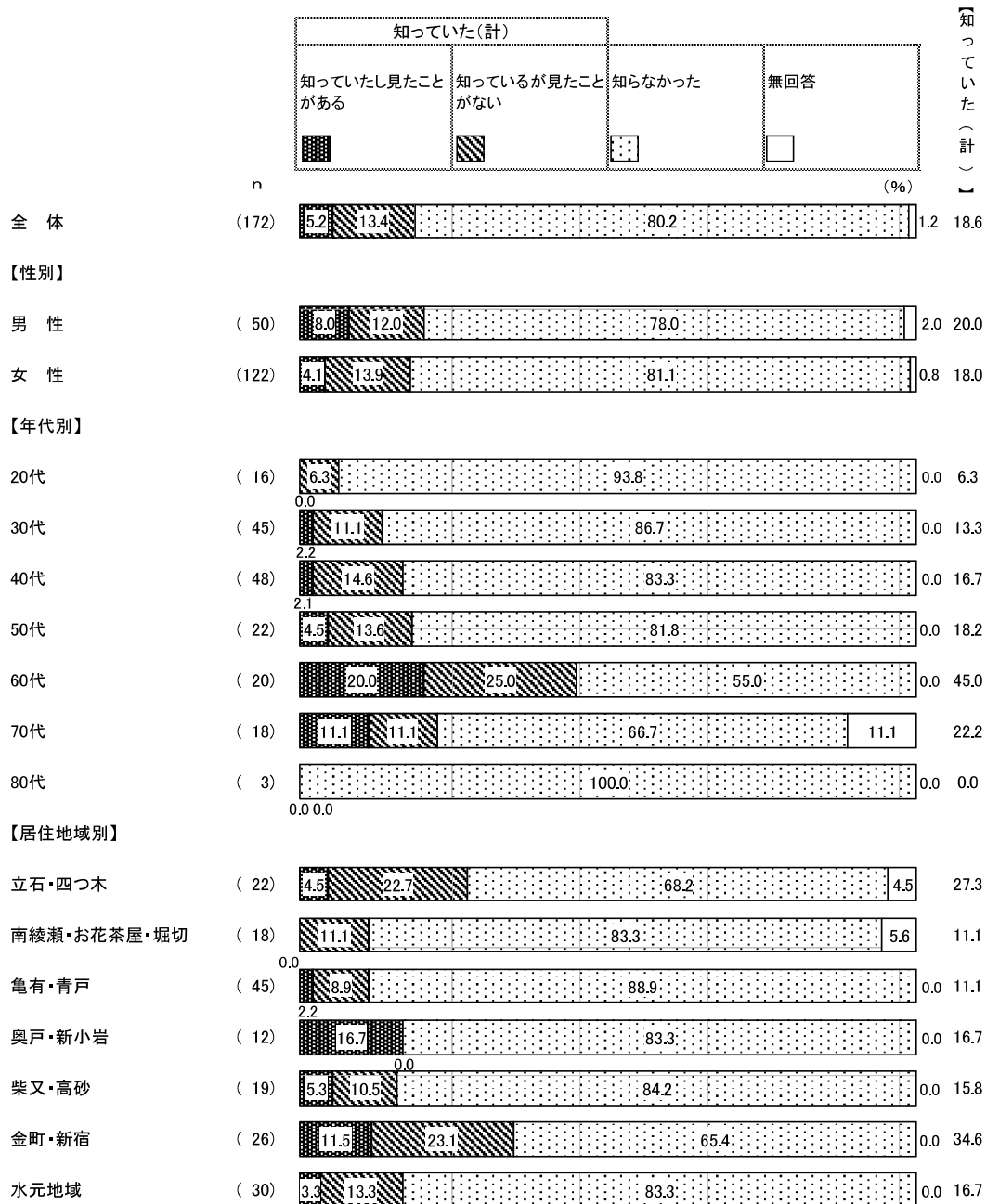
葛飾区都市計画マスタープランの認知は、「知っていたし見たことがある」(5.2%)と「知っているが見たことがない」(13.4%)の2つを合わせた【知っていた(計)】が18.6%となっている。

図表-19 葛飾区都市計画マスタープランの認知(全体)



属性別でみると、【知っていた（計）】は、年代別では60代で45.0%と最も高くなっている。

図表-20 葛飾区都市計画マスタープランの認知
(性別・年代別・居住地域別)

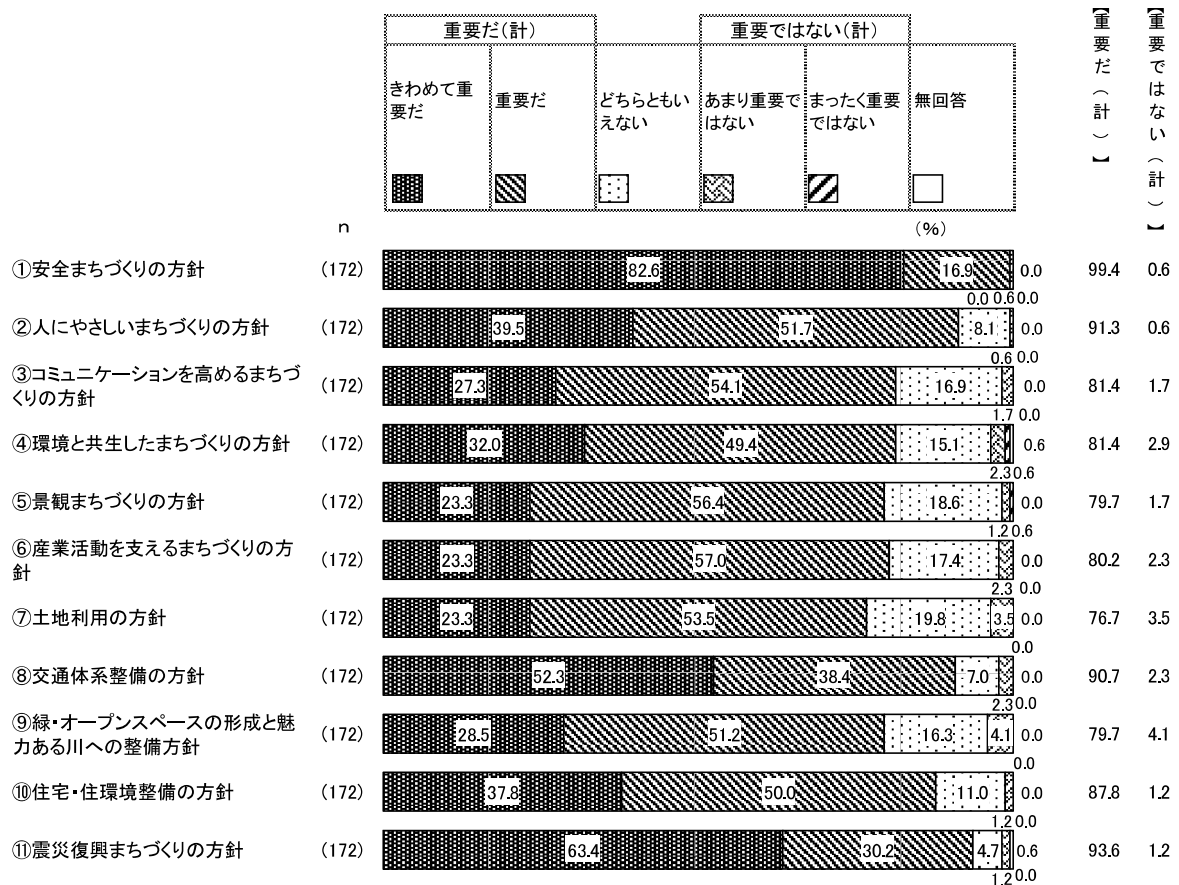


(2) 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度

問8 葛飾区都市計画マスタープランにおける下記の11のまちづくりの方針について、それぞれの程度重要だと思いますか（○は横方向にそれぞれ1つ）。

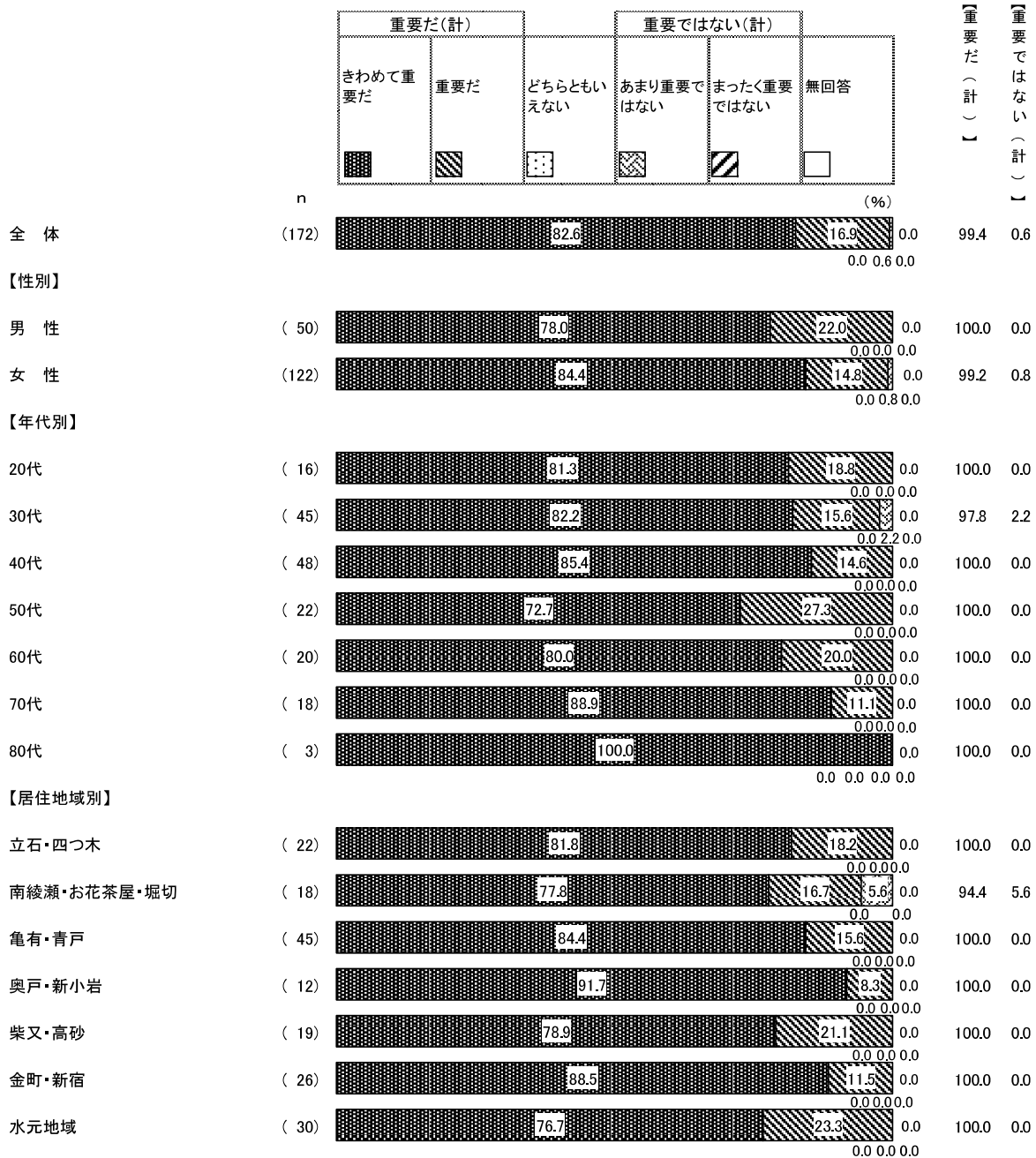
葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度において、「きわめて重要だ」と「重要だ」を合わせた【重要だ（計）】では、「①安全まちづくりの方針」が99.4%と最も高く、次いで「⑪震災復興まちづくりの方針」が93.6%、「②人にやさしいまちづくりの方針」が91.3%、「⑧交通体系整備の方針」が90.7%となっている。

図表-21 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度（全体）



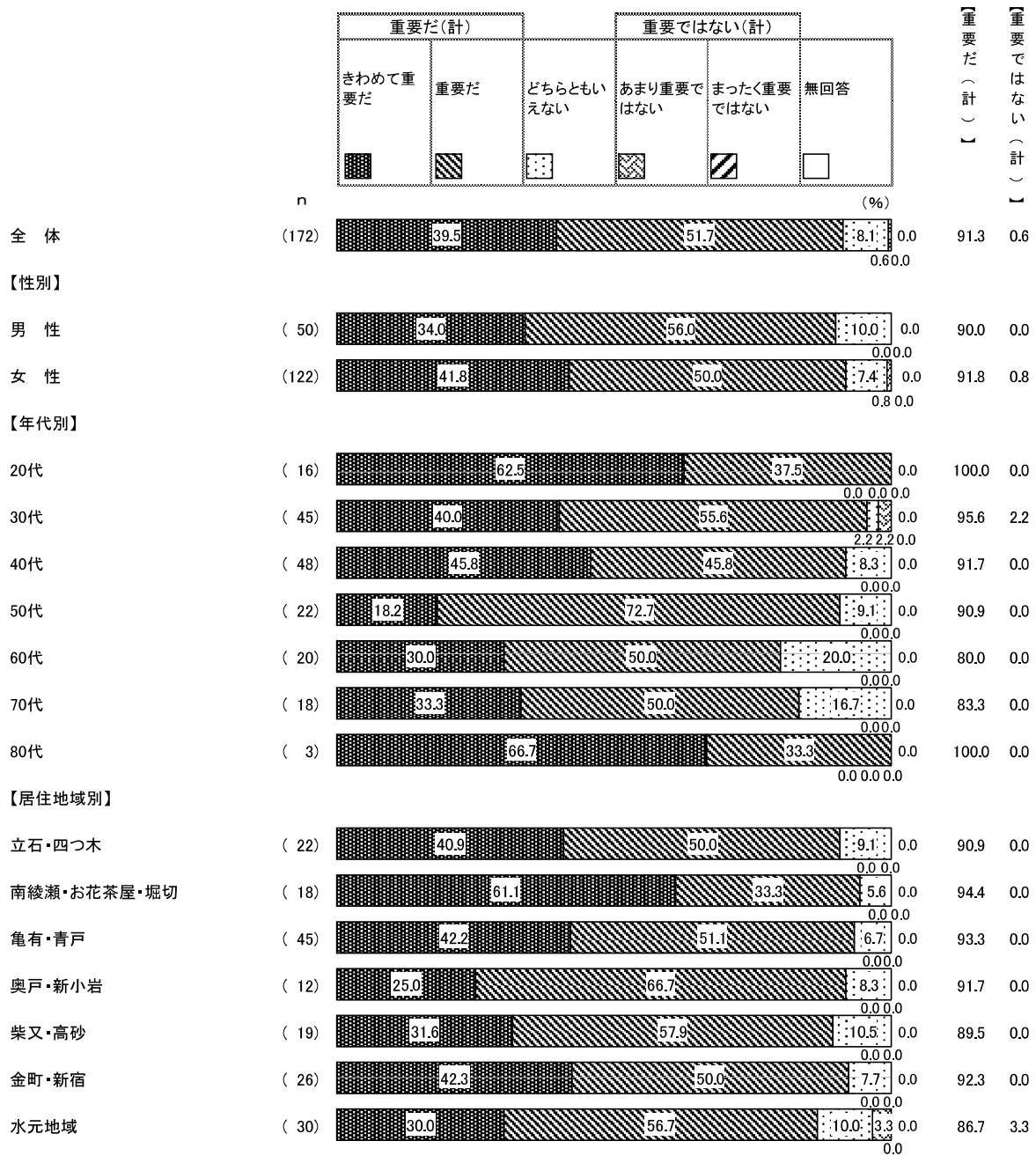
属性別で見ると、多くの属性で【重要だ（計）】が100.0%と非常に高くなっている。

図表-22 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度
 ①安全まちづくりの方針
 (性別・年代別・居住地域別)



属性別でみると、すべての属性で【重要だ（計）】が80%以上と高くなっている。

図表-23 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度
②人にやさしいまちづくりの方針
(性別・年代別・居住地域別)

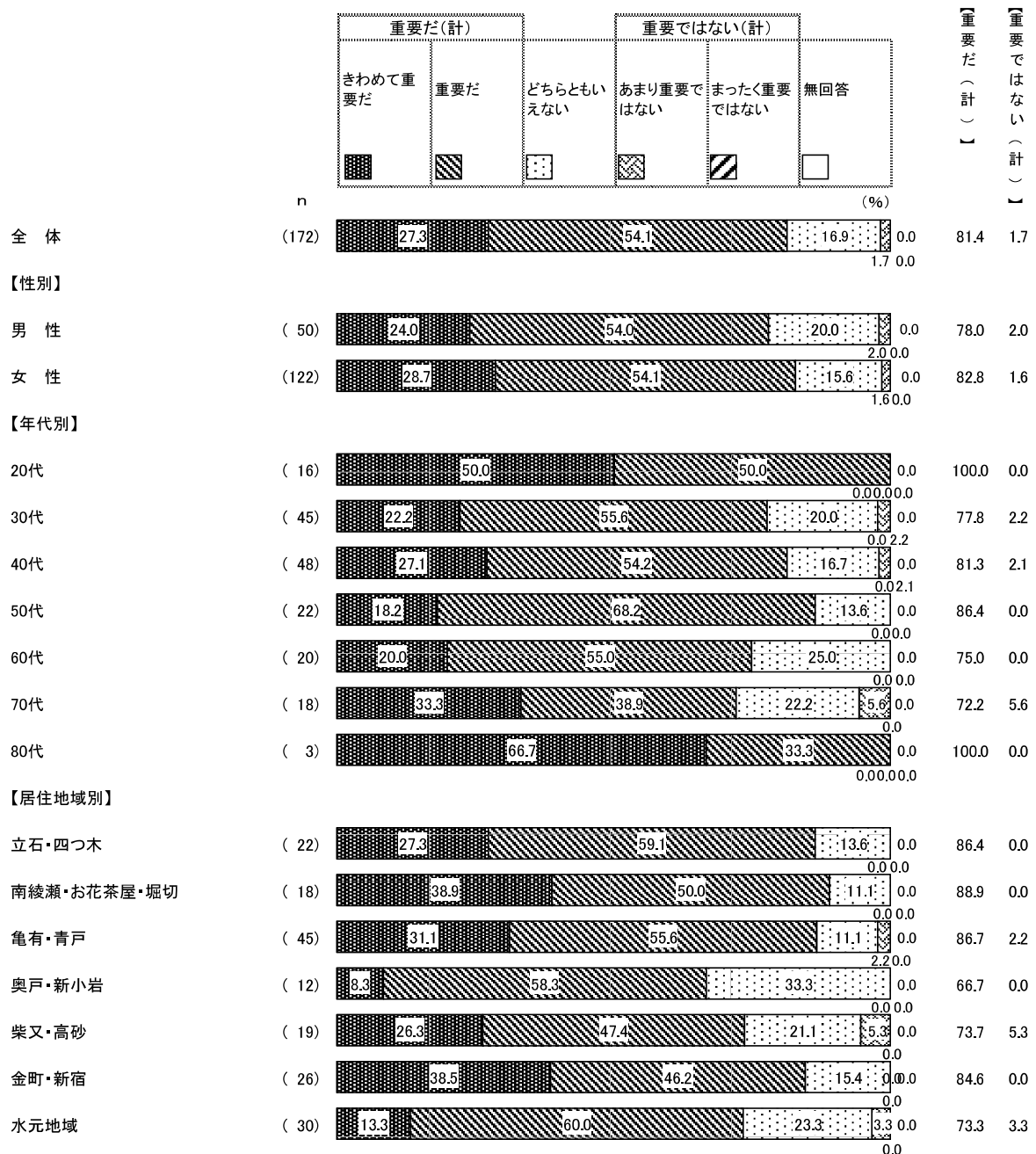


属性別で見ると、【重要だ(計)】は、性別では女性(82.8%)が男性(78.0%)に比べ高めとなっている。

図表-24 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度

③コミュニケーションを高めるまちづくりの方針

(性別・年代別・居住地域別)

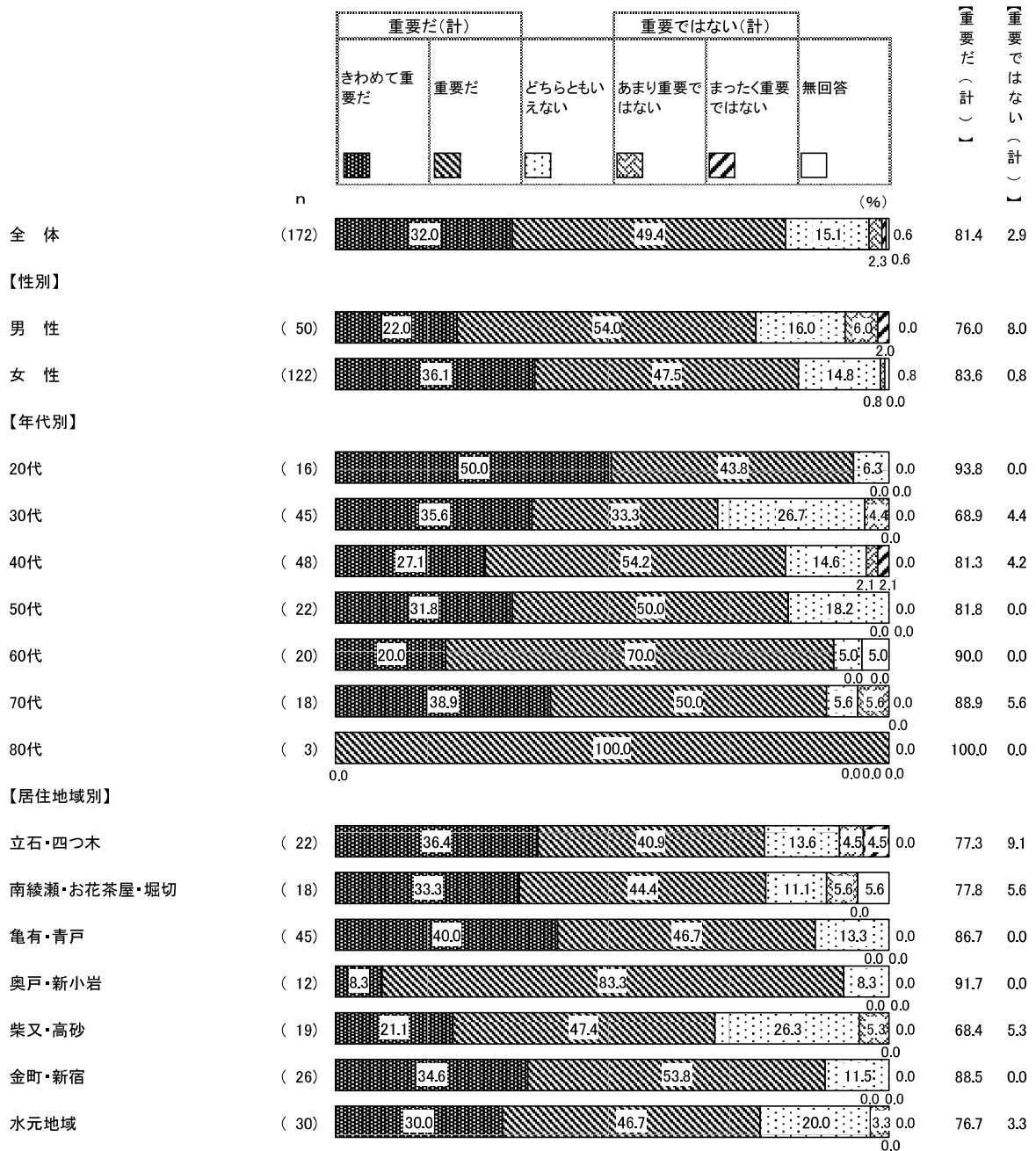


属性別で見ると、【重要だ（計）】は、性別では女性（83.6%）が男性（76.0%）に比べ高くなっている。

図表-25 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度

④環境と共生したまちづくりの方針

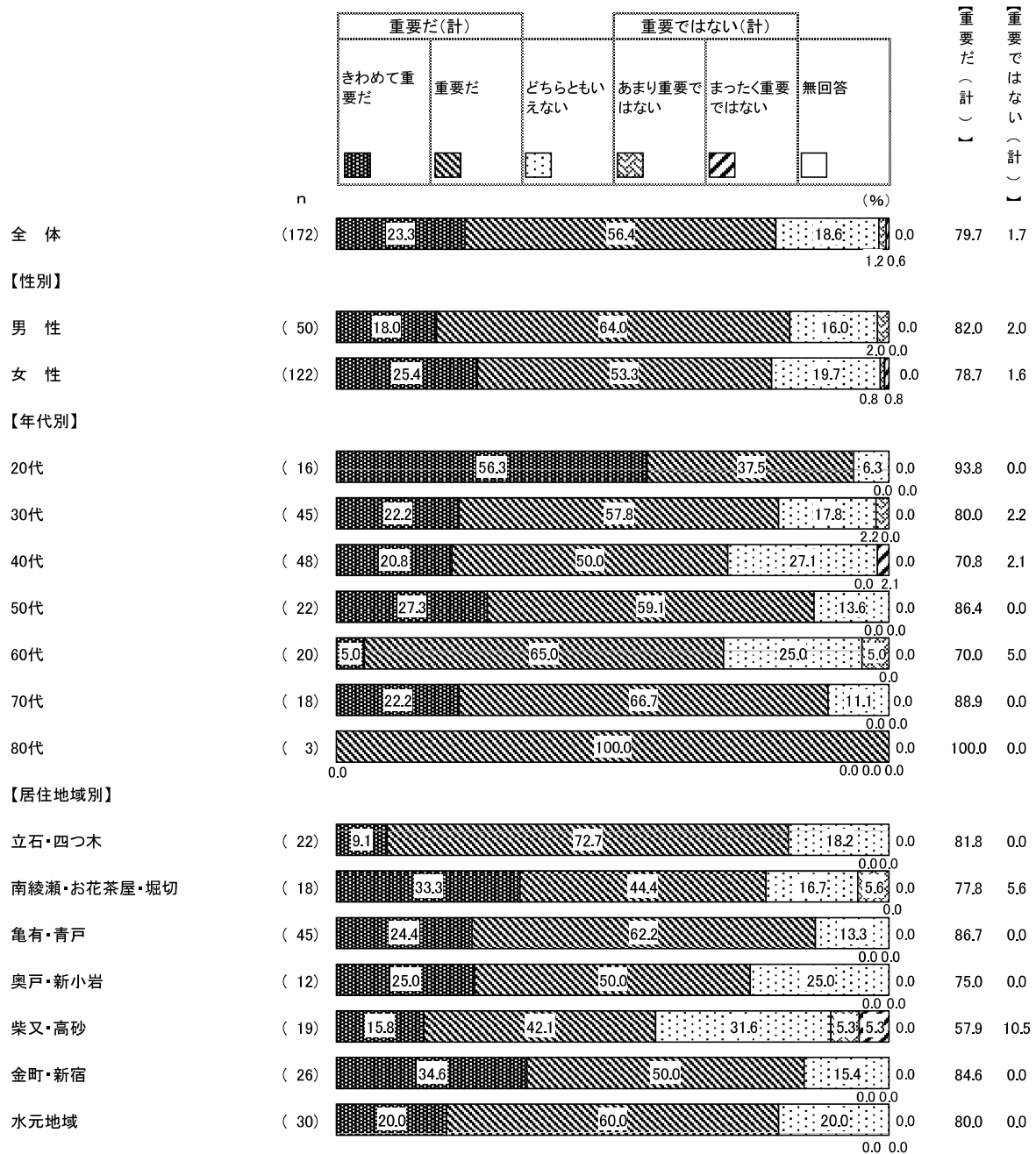
（性別・年代別・居住地域別）



属性別でみると、【重要だ(計)】は、居住地域別では亀有・青戸で86.7%、金町・新宿で84.6%と高くなっている。

図表-26 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度

⑤景観まちづくりの方針
(性別・年代別・居住地域別)

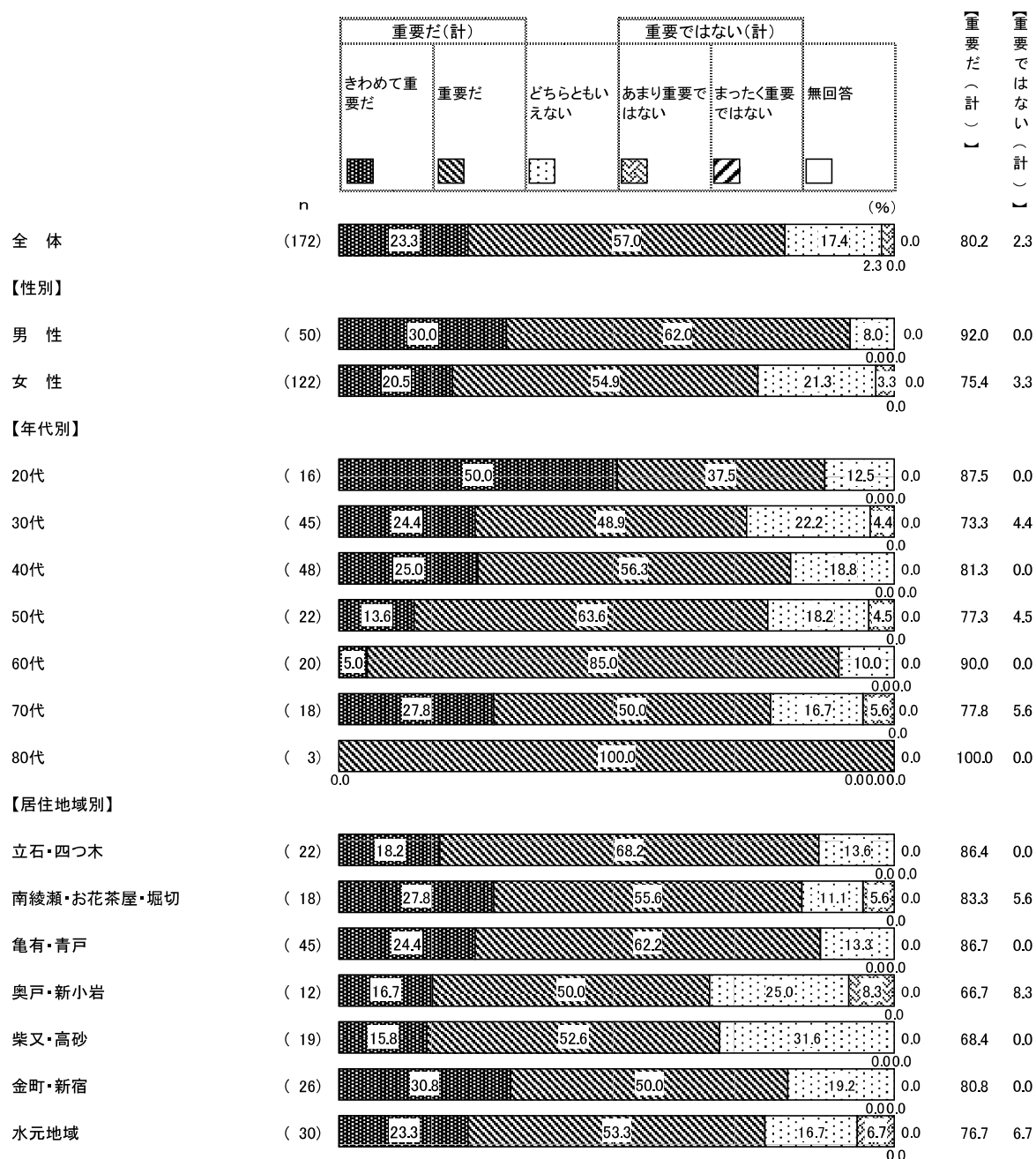


属性別で見ると、【重要だ（計）】は、性別では男性（92.0%）が女性（75.4%）に比べ高くなっている。

図表-27 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度

⑥産業活動を支えるまちづくりの方針

（性別・年代別・居住地域別）

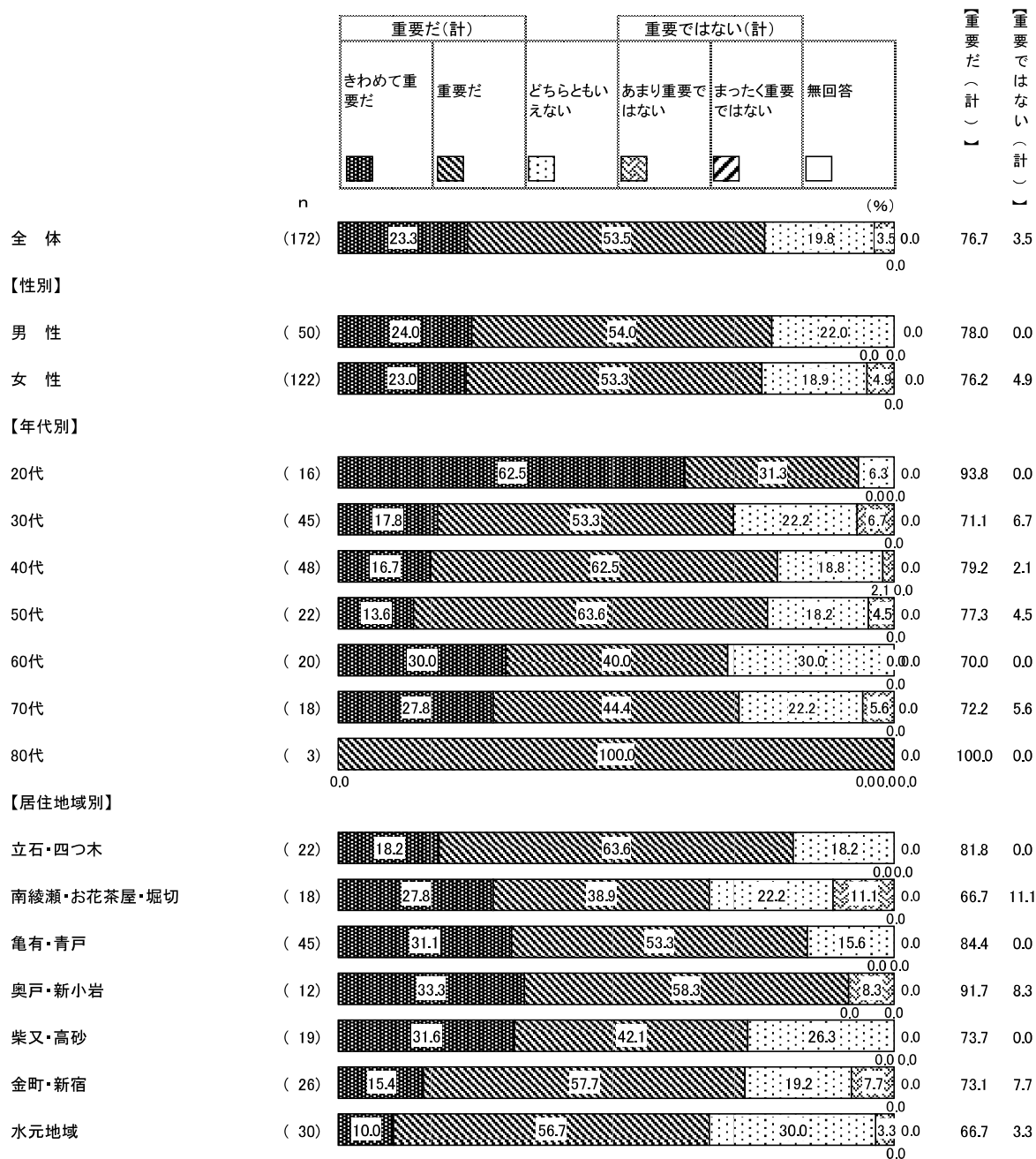


属性別でみると、「きわめて重要だ」は、年代別では20代で62.5%と最も高くなっている。

図表-28 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度

⑦土地利用の方針

(性別・年代別・居住地域別)

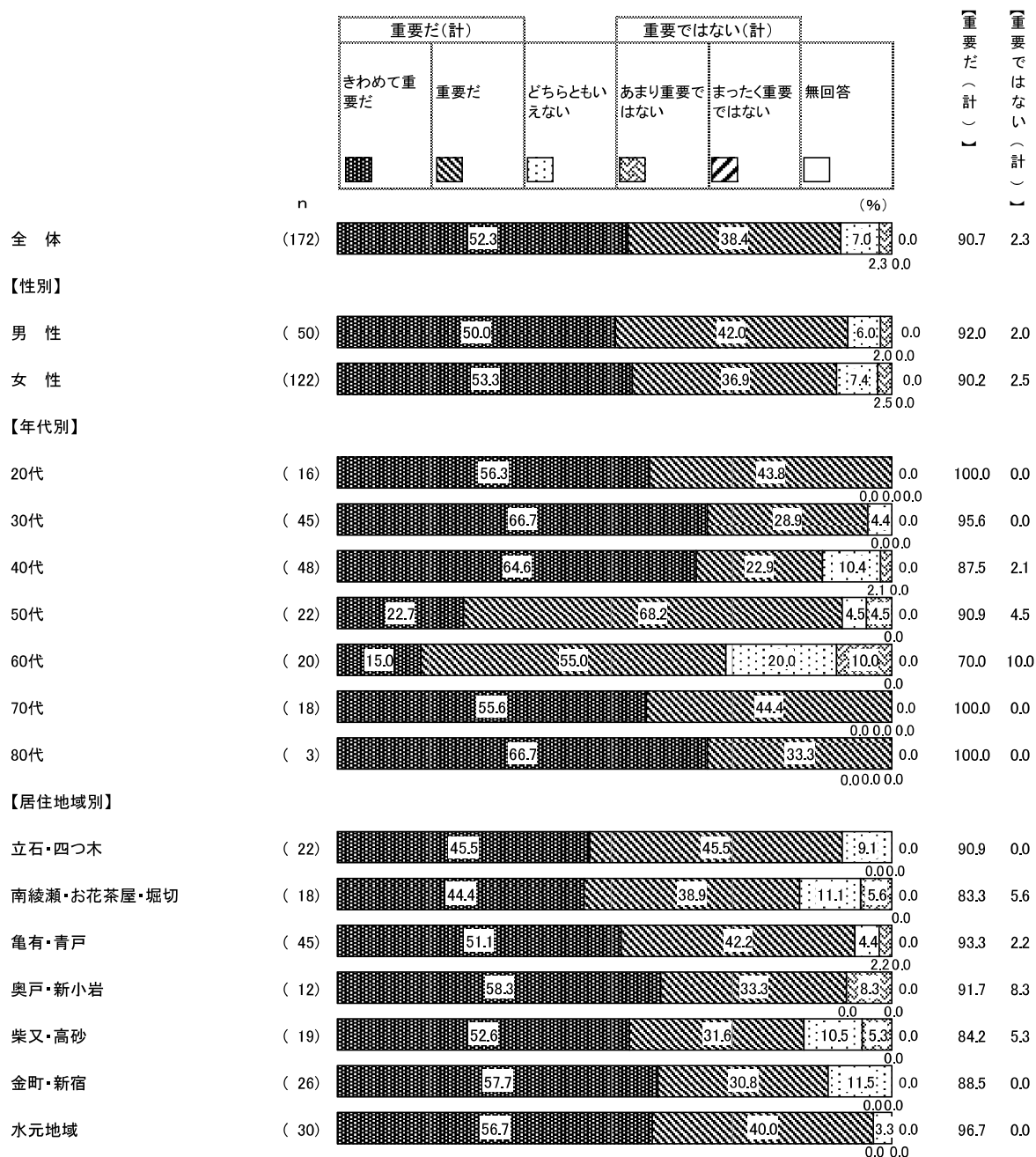


属性別でみると、【重要だ（計）】は、居住地域別では水元地域で96.7%と最も高くなっている。

図表-29 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度

⑧交通体系整備の方針

(性別・年代別・居住地域別)

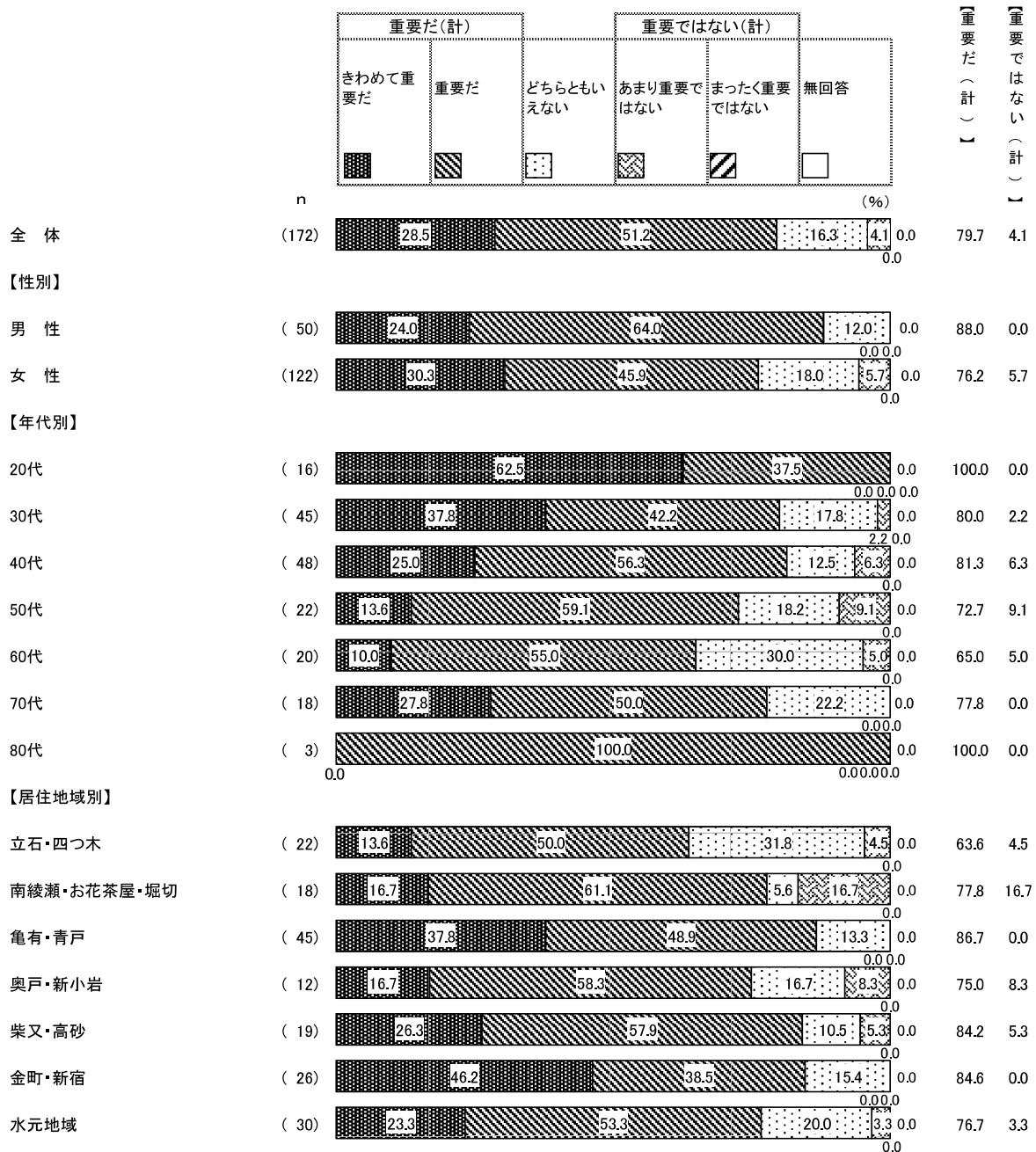


属性別でみると、「きわめて重要だ」は、年代別では20代で62.5%と最も高くなっている。

図表-30 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度

⑨緑・オープンスペースの形成と魅力ある川への整備方針

(性別・年代別・居住地域別)

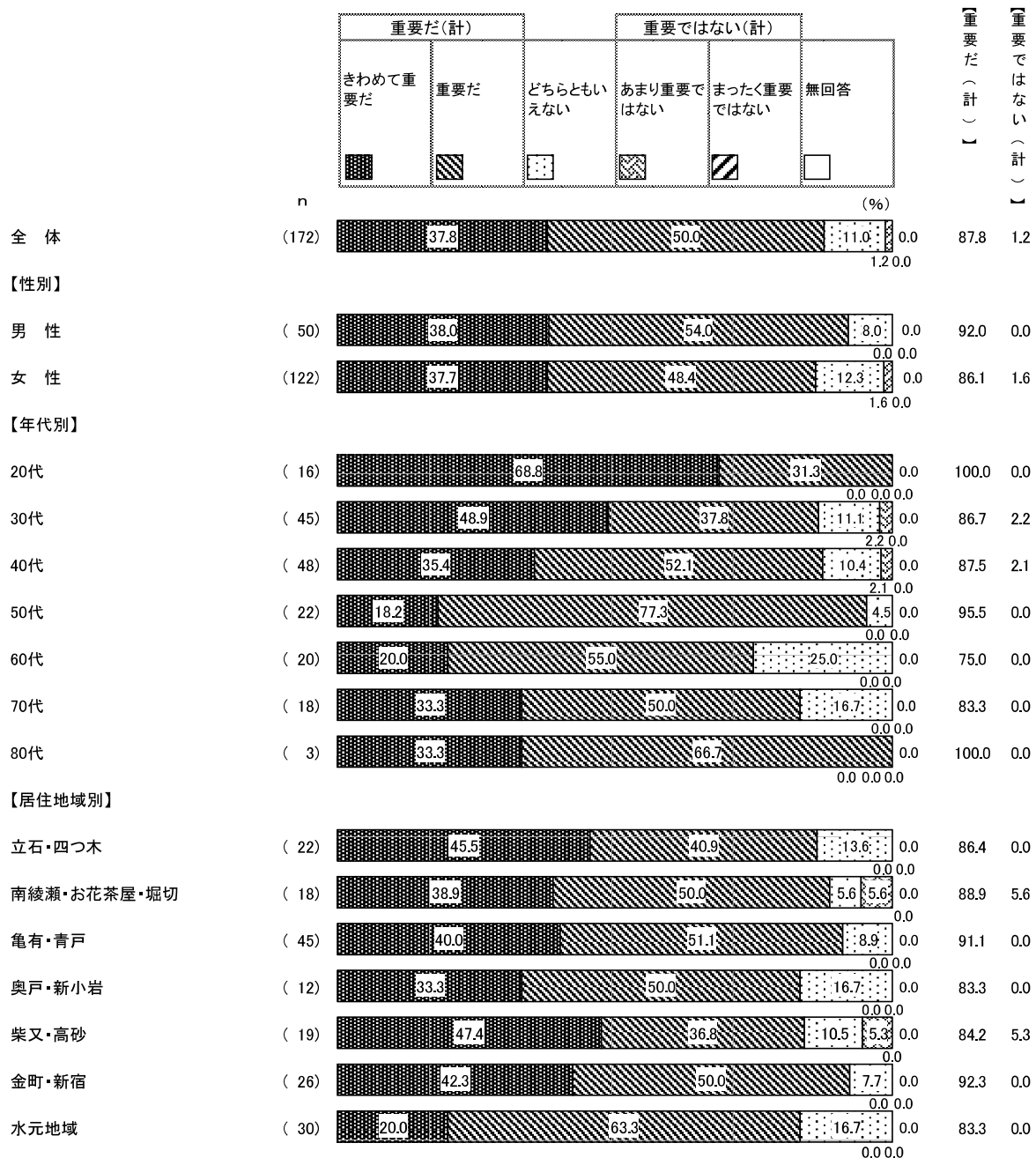


属性別でみると、【重要だ(計)】は、居住地域別では金町・新宿で92.3%、亀有・青戸で91.1%と高くなっている。

図表-31 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度

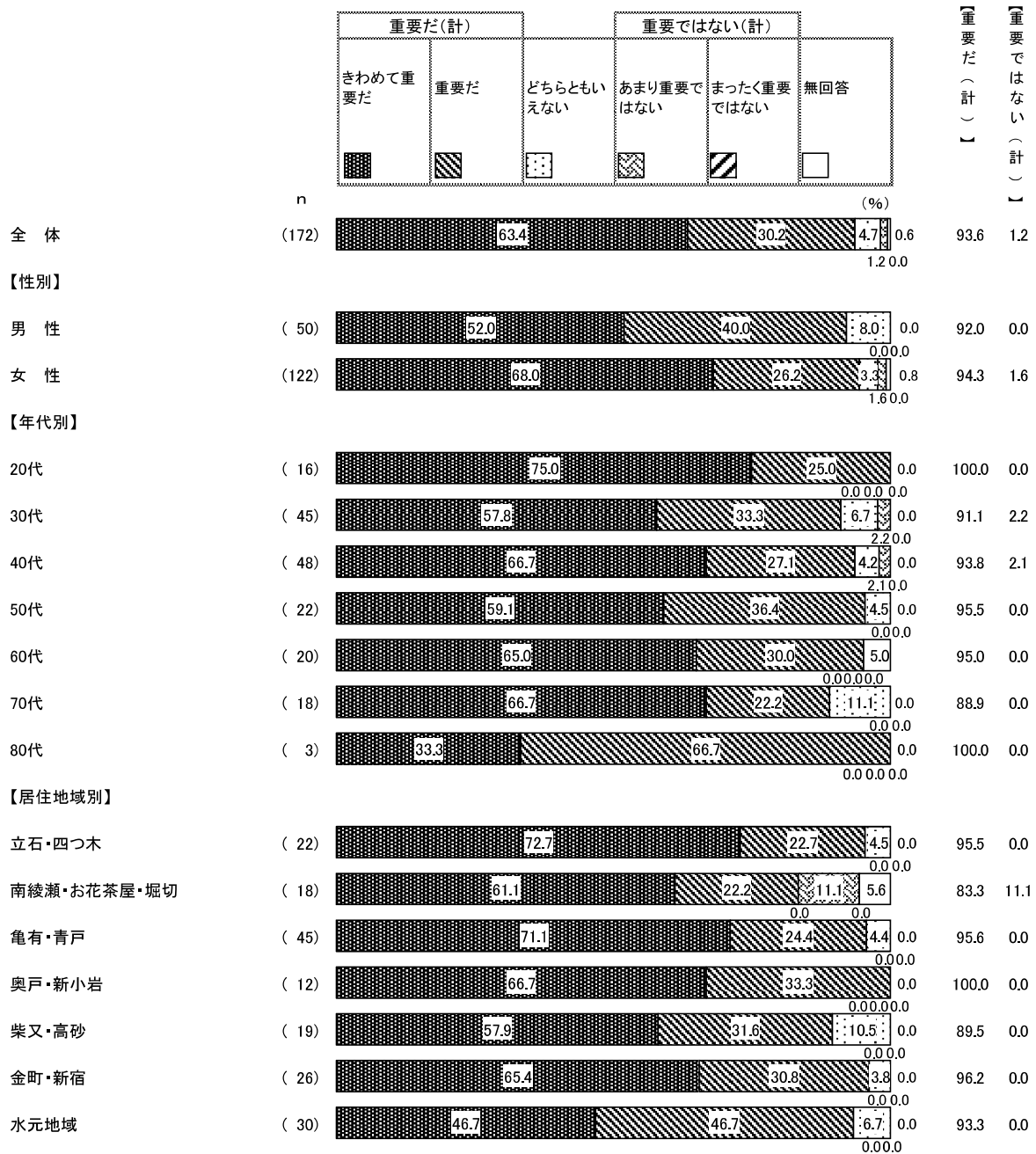
⑩住宅・住環境整備の方針

(性別・年代別・居住地域別)



属性別でみると、すべての属性で【重要だ（計）】が80%以上と高くなっている。

図表-32 葛飾区都市計画マスタープランにおける11方針の重要度
 ①震災復興まちづくりの方針
 (性別・年代別・居住地域別)



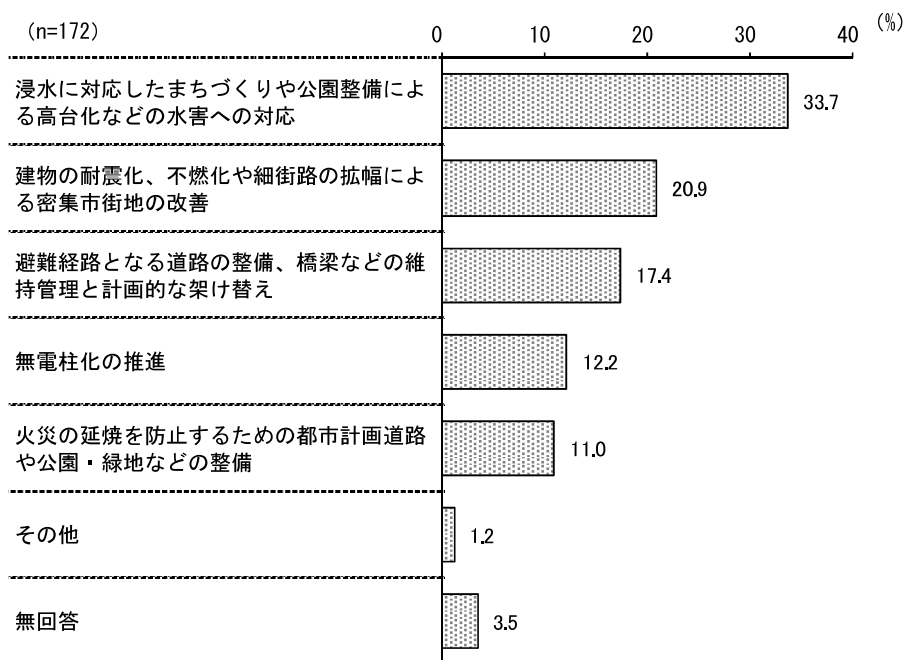
(3) 「①安全まちづくりの方針」で最も重要なこと

問9 問8のそれぞれの11のまちづくりの方針において、最も重要だと思われることを選んでください。

(1) 安全まちづくりの方針について最も重要だと思われることは何ですか（○は1つ）。

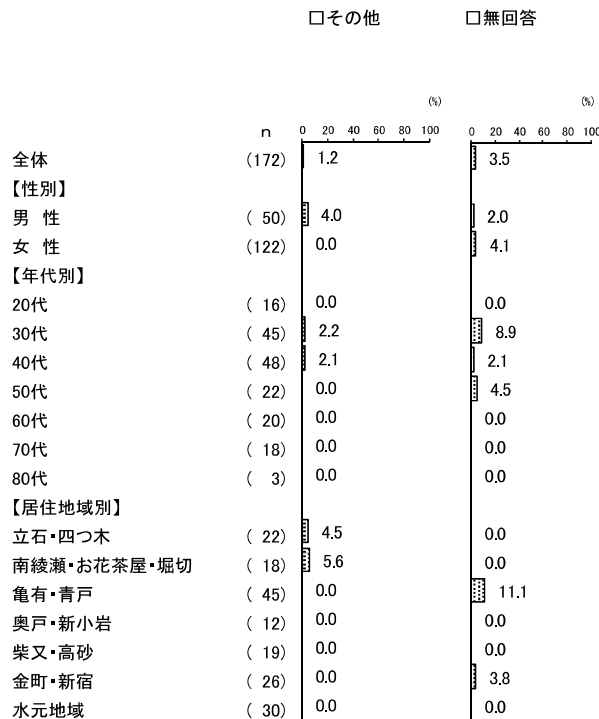
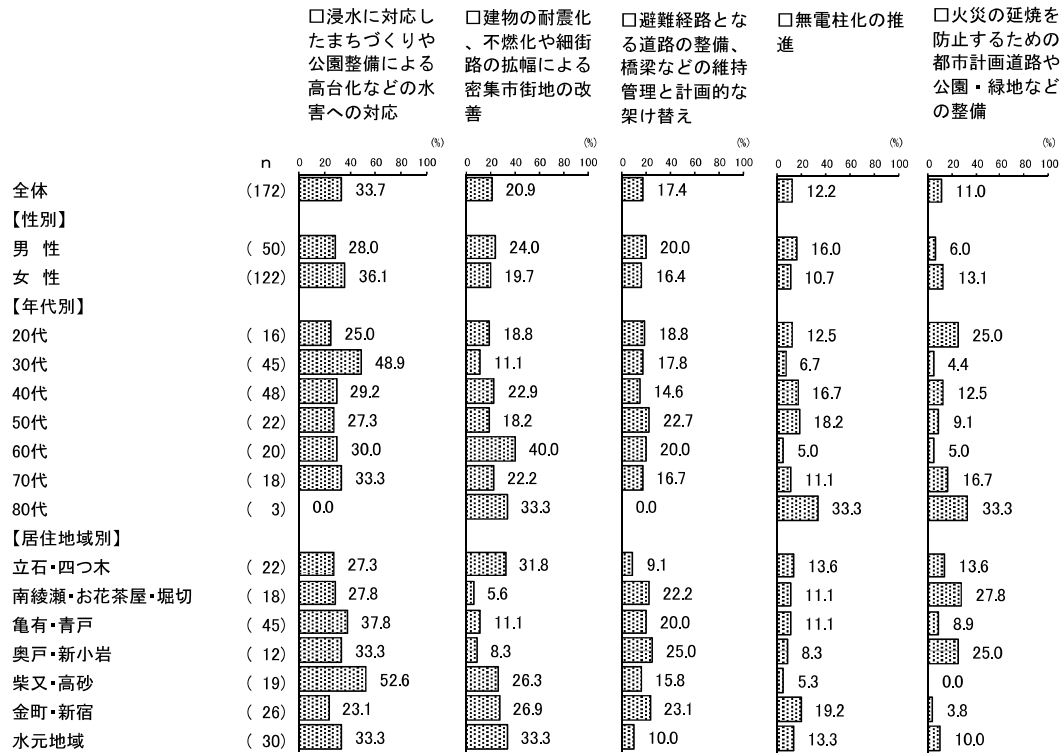
「①安全まちづくりの方針」で最も重要なこととしては、「浸水に対応したまちづくりや公園整備による高台化などの水害への対応」が33.7%で最も高く、次いで「建物の耐震化、不燃化や細街路の拡幅による密集市街地の改善」が20.9%、「避難経路となる道路の整備、橋梁などの維持管理と計画的な架け替え」が17.4%となっている。

図表-33 「①安全まちづくりの方針」で最も重要なこと（全体）



属性別でみると、「浸水に対応したまちづくりや公園整備による高台化などの水害への対応」は、年代別では30代で48.9%と最も高く、居住地域別では柴又・高砂で52.6%と最も高くなっている。

図表-34 「①安全まちづくりの方針」で最も重要なこと
(性別・年代別・居住地域別)



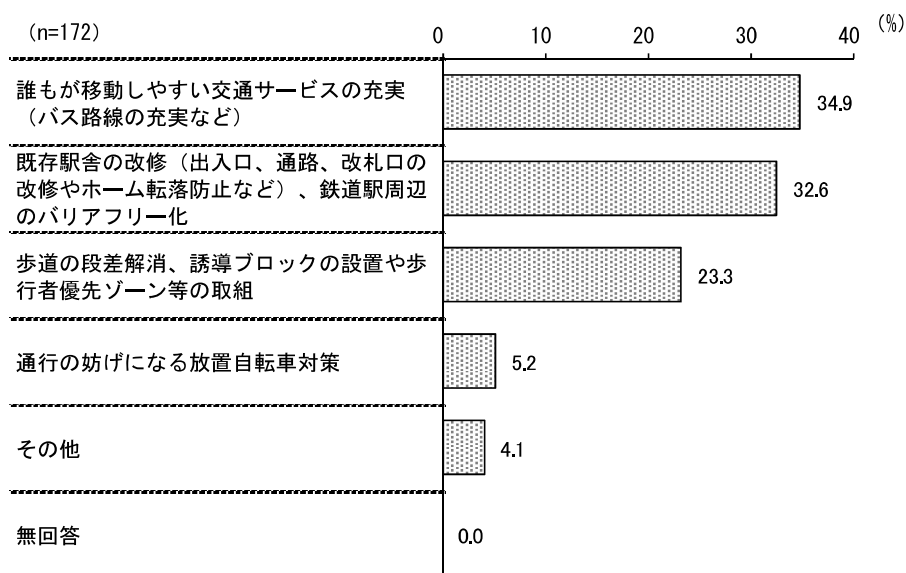
(4) 「②人にやさしいまちづくりの方針」で最も重要なこと

問9 問8のそれぞれの11のまちづくりの方針において、最も重要だと思われることを選んでください。

(2) 人にやさしいまちづくりの方針について最も重要だと思われることは何ですか（○は1つ）。

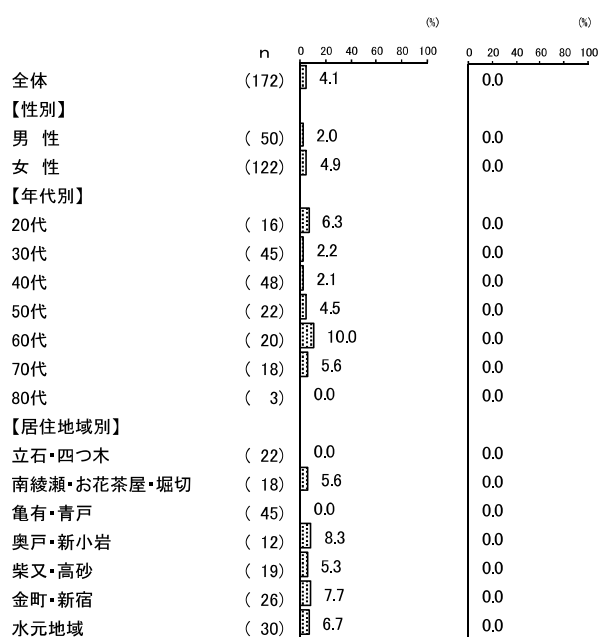
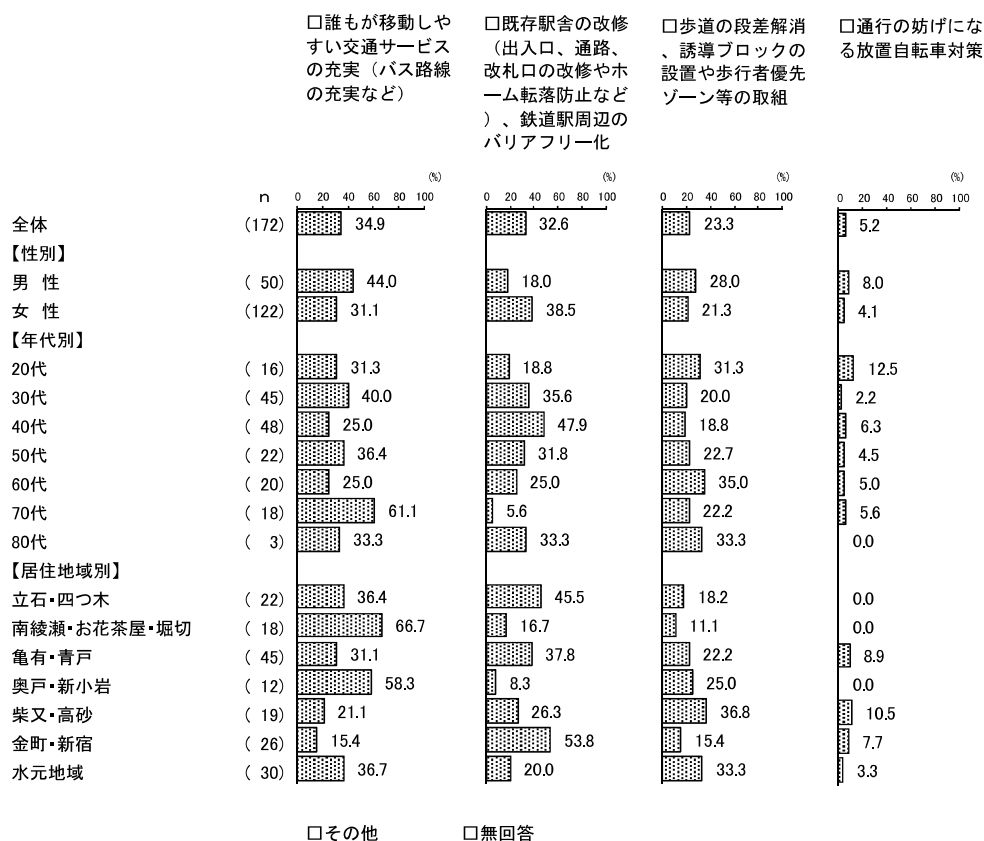
「②人にやさしいまちづくりの方針」で最も重要なこととしては、「誰もが移動しやすい交通サービスの充実（バス路線の充実など）」が34.9%で最も高く、次いで「既存駅舎の改修（出入口、通路、改札口の改修やホーム転落防止など）、鉄道駅周辺のバリアフリー化」が32.6%、「歩道の段差解消、誘導ブロックの設置や歩行者優先ゾーン等の取組」が23.3%となっている。

図表-35 「②人にやさしいまちづくりの方針」で最も重要なこと（全体）



属性別でみると、「誰もが移動しやすい交通サービスの充実（バス路線の充実など）」は、年代別では70代で61.1%と最も高く、居住地域別では南綾瀬・お花茶屋・堀切で66.7%と最も高くなっている。

図表-36 「②人にやさしいまちづくりの方針」で最も重要なこと
(性別・年代別・居住地域別)



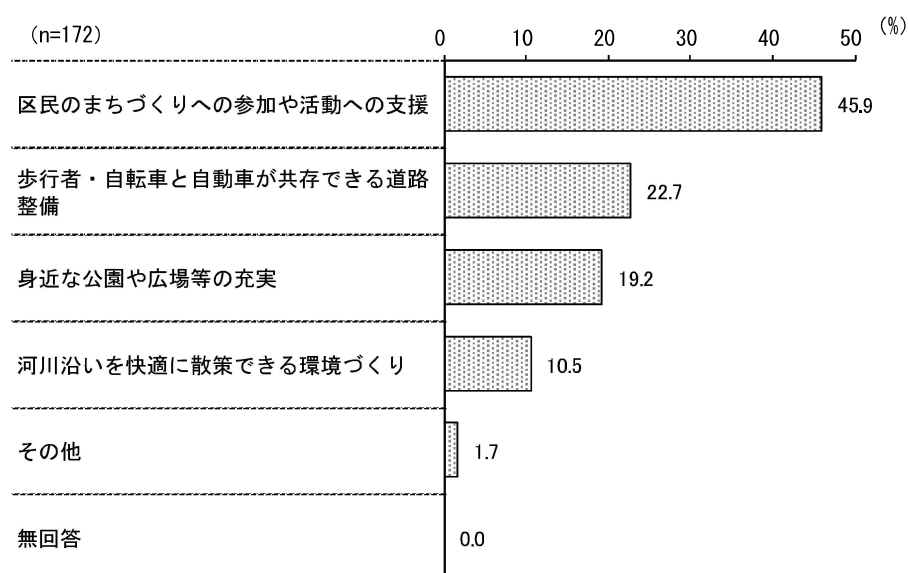
(5) 「③コミュニケーションを高めるまちづくりの方針」で最も重要なこと

問9 問8のそれぞれの11のまちづくりの方針において、最も重要だと思われることを選んでください。

(3) コミュニケーションを高めるまちづくりの方針について最も重要だと思われることは何ですか (〇は1つ)。

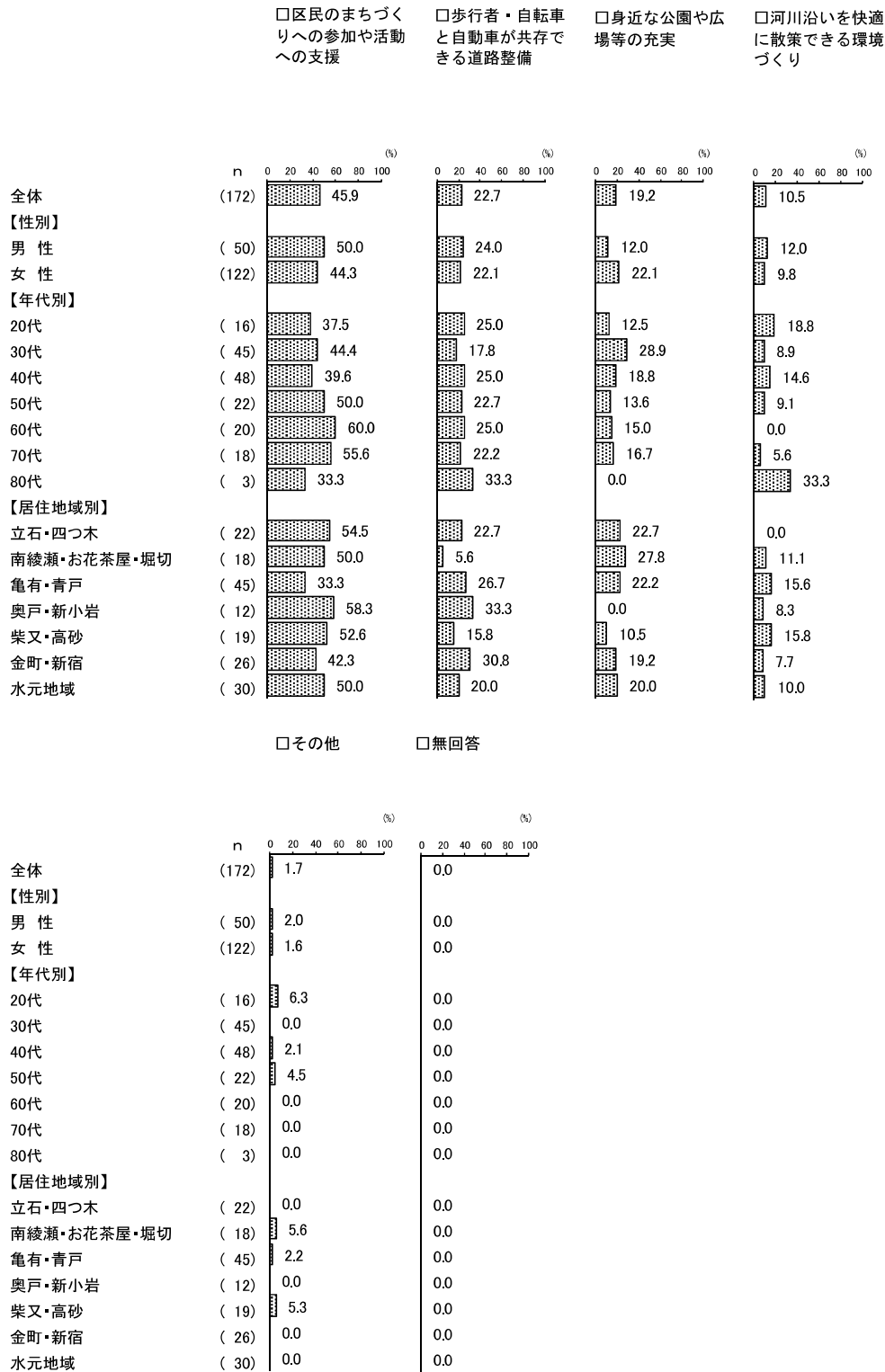
「③コミュニケーションを高めるまちづくりの方針」で最も重要なこととしては、「区民のまちづくりへの参加や活動への支援」が45.9%で最も高く、次いで「歩行者・自転車と自動車と共存できる道路整備」が22.7%、「身近な公園や広場等の充実」が19.2%となっている。

図表-37 「③コミュニケーションを高めるまちづくりの方針」で最も重要なこと (全体)



属性別で見ると、「区民のまちづくりへの参加や活動への支援」は、年代別では60代で60.0%と最も高くなっている。

図表-38 「③コミュニケーションを高めるまちづくりの方針」で最も重要なこと
(性別・年代別・居住地域別)



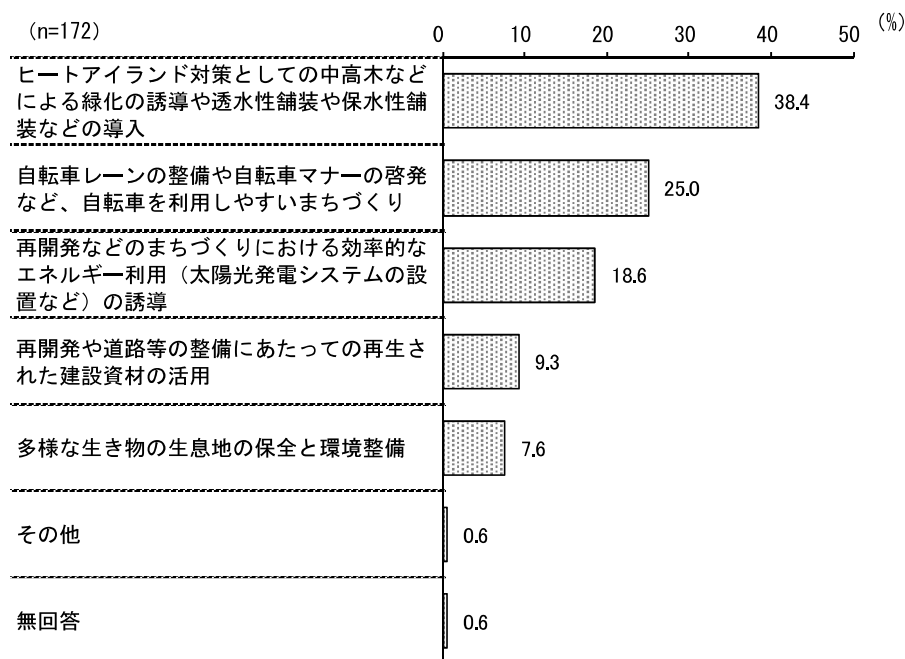
(6) 「④環境と共生したまちづくりの方針」で最も重要なこと

問9 問8のそれぞれの11のまちづくりの方針において、最も重要だと思われることを選んでください。

(4) 環境と共生したまちづくりの方針について最も重要だと思われることは何ですか(○は1つ)。

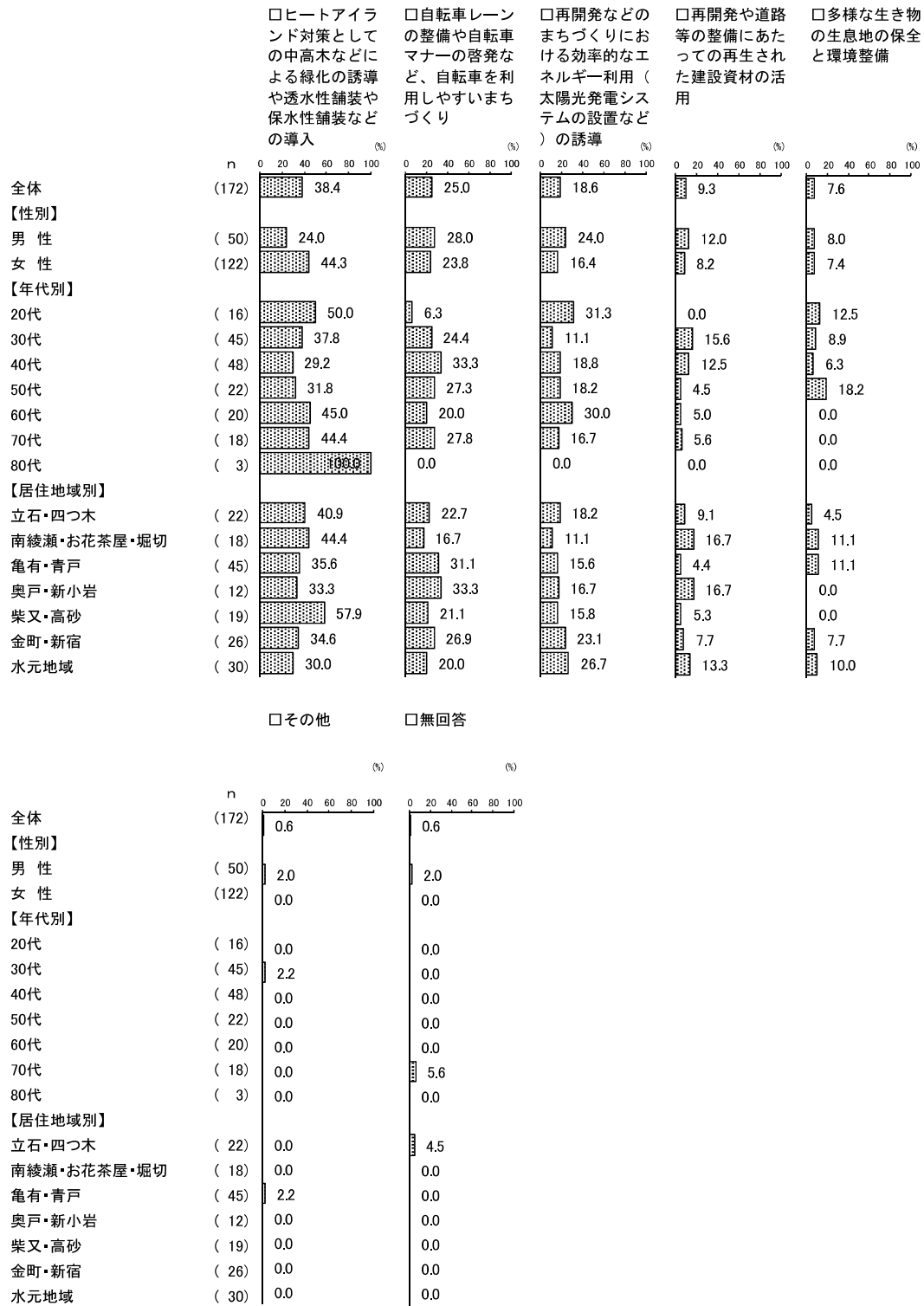
「④環境と共生したまちづくりの方針」で最も重要なこととしては、「ヒートアイランド対策としての中高木などによる緑化の誘導や透水性舗装や保水性舗装などの導入」が38.4%で最も高く、次いで「自転車レーンの整備や自転車マナーの啓発など、自転車を利用しやすいまちづくり」が25.0%、「再開発などのまちづくりにおける効率的なエネルギー利用(太陽光発電システムの設置など)の誘導」が18.6%となっている。

図表-39 「④環境と共生したまちづくりの方針」で最も重要なこと(全体)



属性別でみると、「ヒートアイランド対策としての中高木などによる緑化の誘導や透水性舗装や保水性舗装などの導入」は、性別では女性で44.3%と高く、居住地域別では柴又・高砂で57.9%と最も高くなっている。

図表-40 「④環境と共生したまちづくりの方針」で最も重要なこと
(性別・年代別・居住地域別)



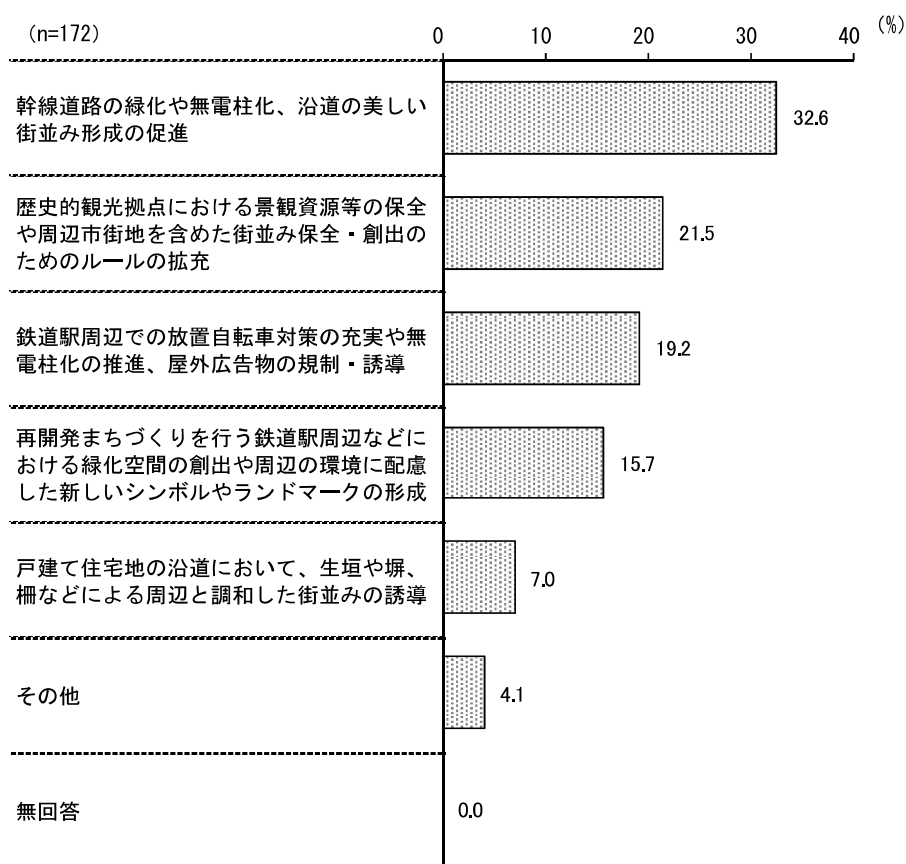
(7) 「⑤景観まちづくりの方針」で最も重要なこと

問9 問8のそれぞれの11のまちづくりの方針において、最も重要だと思われることを選んでください。

(5) 景観まちづくりの方針について最も重要だと思われることは何ですか(〇は1つ)。

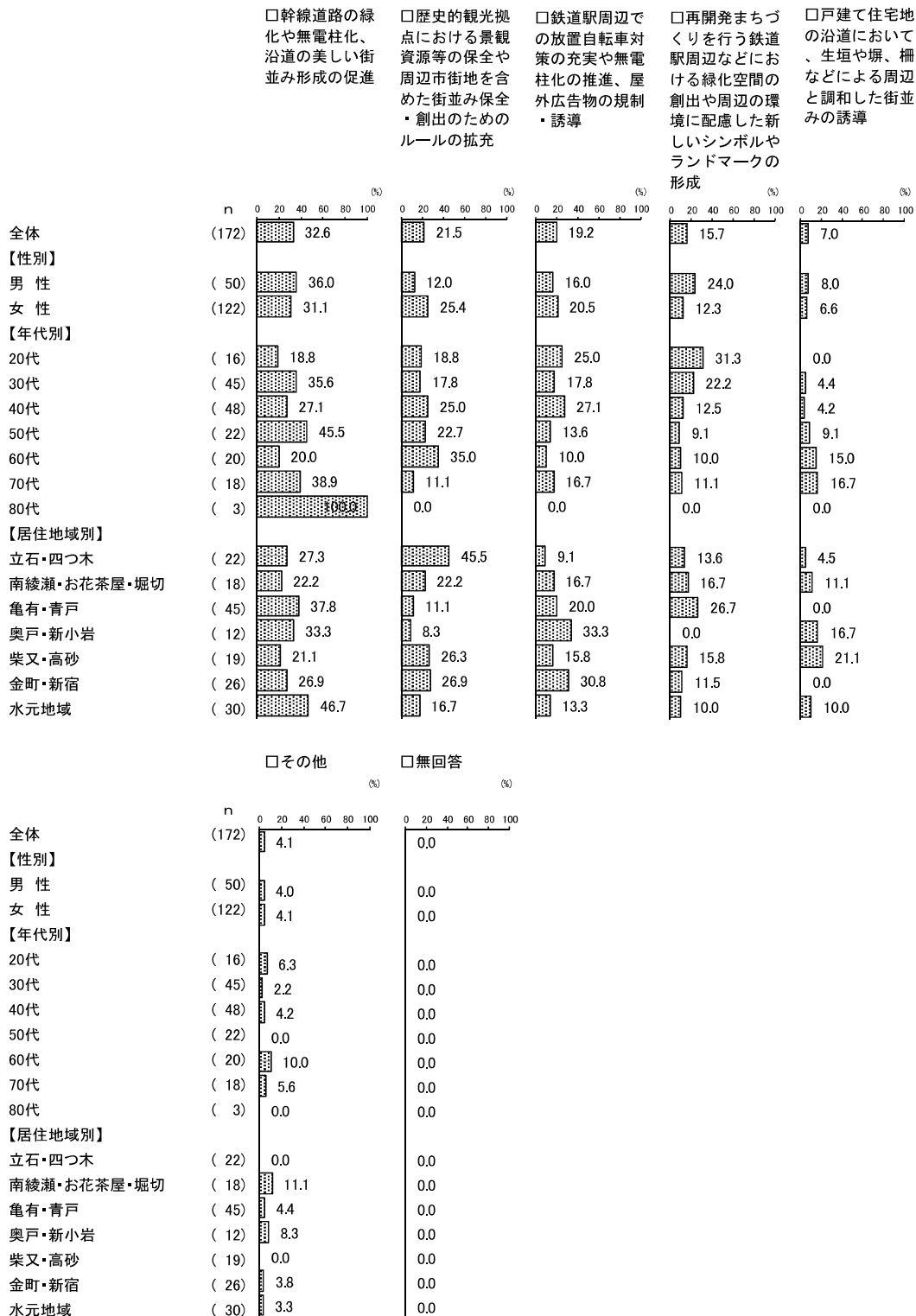
「⑤景観まちづくりの方針」で最も重要なこととしては、「幹線道路の緑化や無電柱化、沿道の美しい街並み形成の促進」が32.6%で最も高く、次いで「歴史的観光拠点における景観資源等の保全や周辺市街地を含めた街並み保全・創出のためのルールの拡充」が21.5%、「鉄道駅周辺での放置自転車対策の充実や無電柱化の推進、屋外広告物の規制・誘導」が19.2%となっている。

図表-41 「⑤景観まちづくりの方針」で最も重要なこと(全体)



属性別でみると、「幹線道路の緑化や無電柱化、沿道の美しい街並み形成の促進」は、居住地域別では水元地域で46.7%と最も高く、「歴史的観光拠点における景観資源等の保全や周辺市街地を含めた街並み保全・創出のためのルール拡充」は、居住地域別では立石・四つ木で45.5%と最も高くなっている。

図表-42 「⑤景観まちづくりの方針」で最も重要なこと
(性別・年代別・居住地域別)



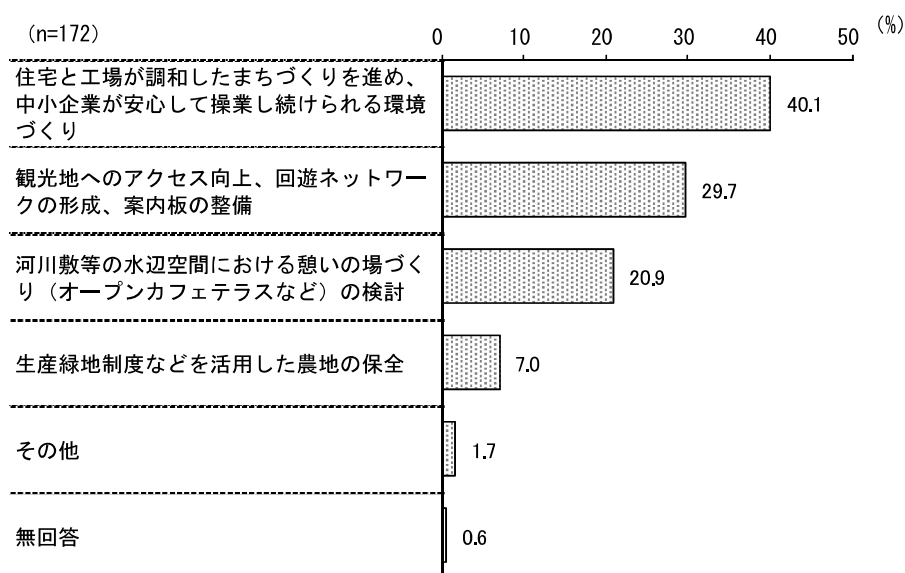
(8) 「⑥産業活動を支えるまちづくりの方針」で最も重要なこと

問9 問8のそれぞれの11のまちづくりの方針において、最も重要だと思われることを選んでください。

(6) 産業活動を支えるまちづくりの方針について最も重要だと思われることは何ですか(○は1つ)。

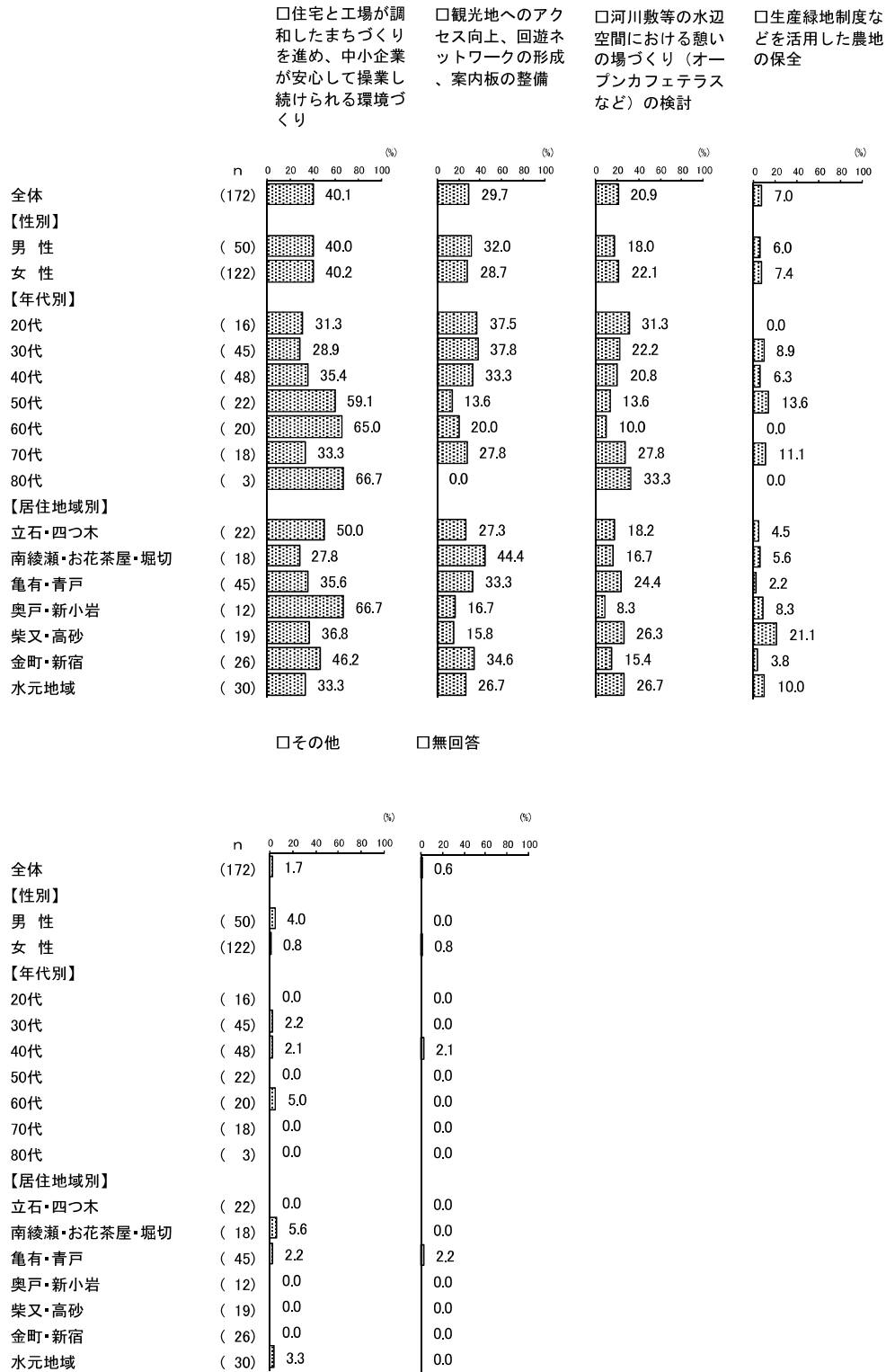
「⑥産業活動を支えるまちづくりの方針」で最も重要なこととしては、「住宅と工場が調和したまちづくりを進め、中小企業が安心して操業し続けられる環境づくり」が40.1%で最も高く、次いで「観光地へのアクセス向上、回遊ネットワークの形成、案内板の整備」が29.7%、「河川敷等の水辺空間における憩いの場づくり(オープンカフェテラスなど)の検討」が20.9%となっている。

図表-43 「⑥産業活動を支えるまちづくりの方針」で最も重要なこと(全体)



属性別でみると、「住宅と工場が調和したまちづくりを進め、中小企業が安心して操業し続けられる環境づくり」は、居住地域別では奥戸・新小岩で66.7%と最も高くなっている。

図表-44 「⑥産業活動を支えるまちづくりの方針」で最も重要なこと
(性別・年代別・居住地域別)



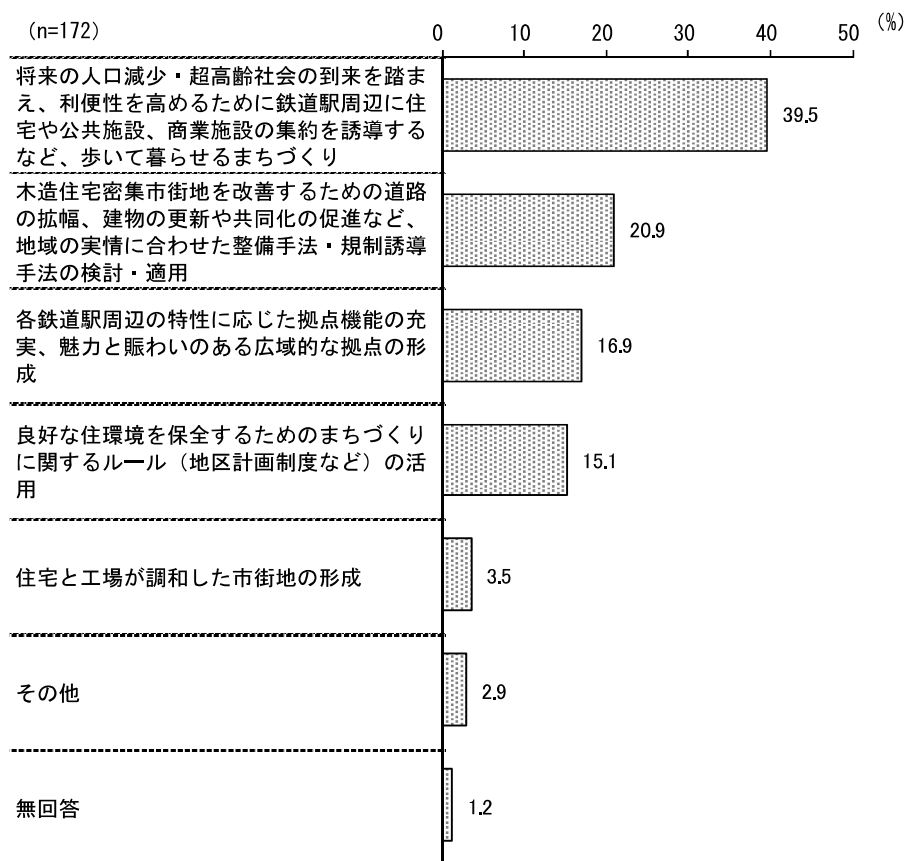
(9) 「⑦土地利用の方針」で最も重要なこと

問9 問8のそれぞれの11のまちづくりの方針において、最も重要だと思われることを選んでください。

(7) 土地利用の方針について最も重要だと思われることは何ですか(〇は1つ)。

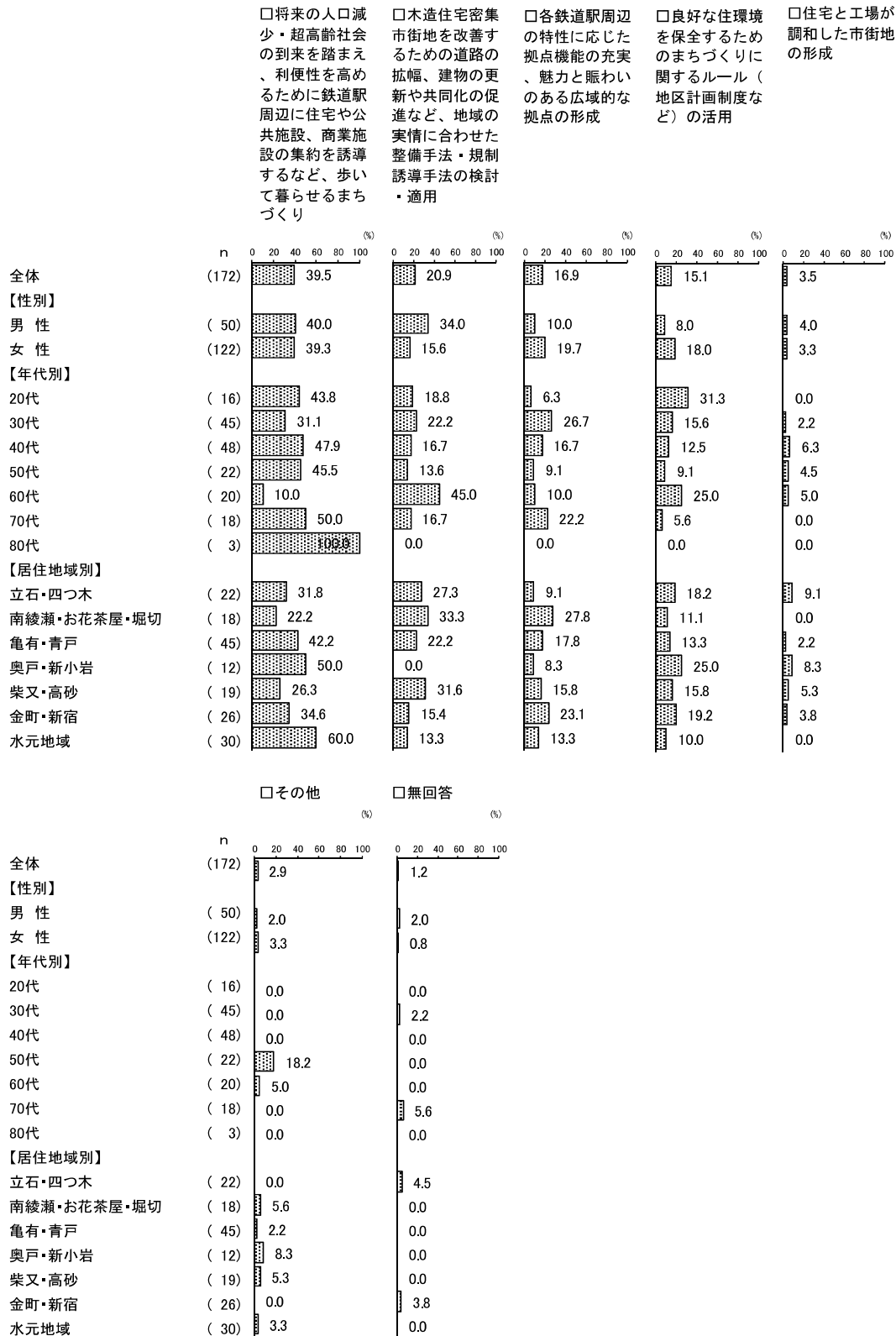
「⑦土地利用の方針」で最も重要なこととしては、「将来の人口減少・超高齢社会の到来を踏まえ、利便性を高めるために鉄道駅周辺に住宅や公共施設、商業施設の集約を誘導するなど、歩いて暮らせるまちづくり」が39.5%で最も高く、次いで「木造住宅密集市街地を改善するための道路の拡幅、建物の更新や共同化の促進など、地域の実情に合わせた整備手法・規制誘導手法の検討・適用」が20.9%、「各鉄道駅周辺の特性に応じた拠点機能の充実、魅力と賑わいのある広域的な拠点の形成」が16.9%となっている。

図表—45 「⑦土地利用の方針」で最も重要なこと(全体)



属性別でみると、「将来の人口減少・超高齢社会の到来を踏まえ、利便性を高めるために鉄道駅周辺に住宅や公共施設、商業施設の集約を誘導するなど、歩いて暮らせるまちづくり」は、居住地域別では水元地域で60.0%と最も高くなっている。

図表-46 「⑦土地利用の方針」で最も重要なこと
(性別・年代別・居住地域別)



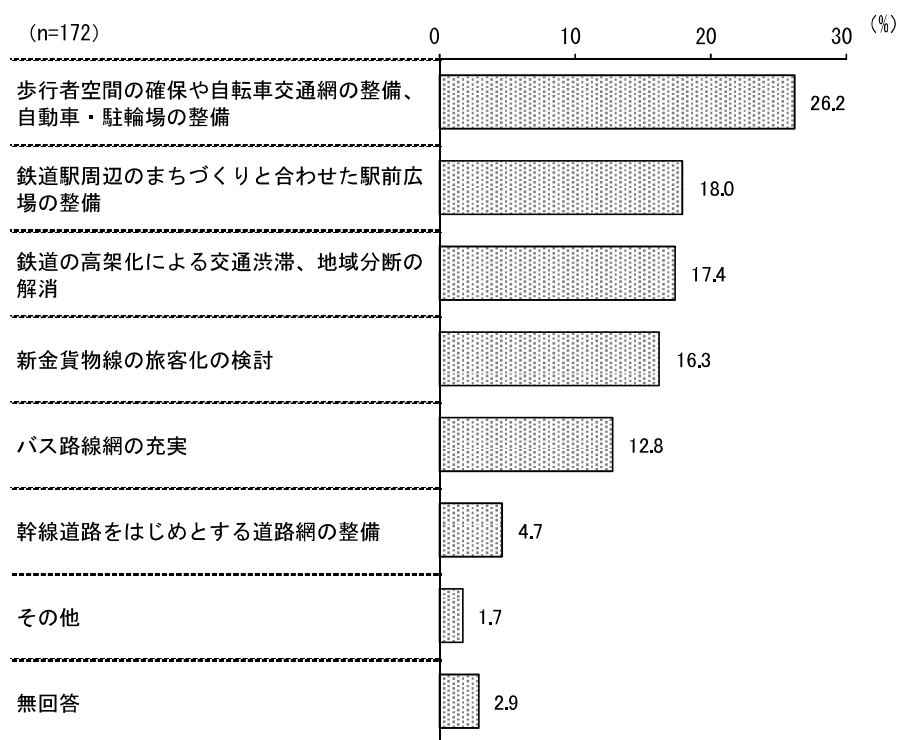
(10) 「⑧交通体系整備の方針」で最も重要なこと

問9 問8のそれぞれの11のまちづくりの方針において、最も重要だと思われることを選んでください。

(8) 交通体系整備の方針について最も重要だと思われることは何ですか(○は1つ)。

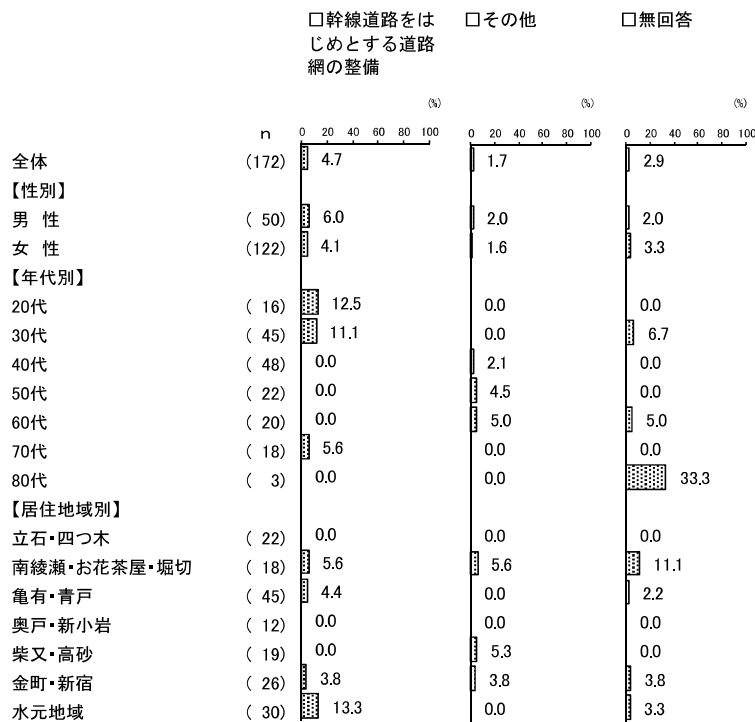
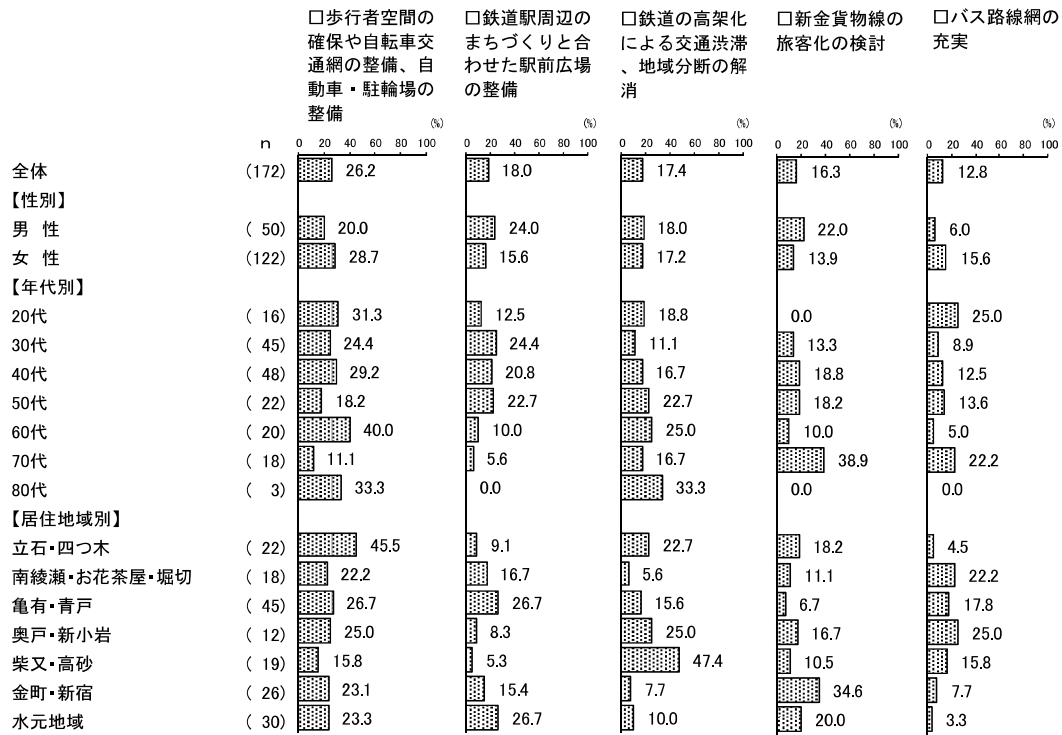
「⑧交通体系整備の方針」で最も重要なこととしては、「歩行者空間の確保や自転車交通網の整備、自動車・駐輪場の整備」が26.2%で最も高く、次いで「鉄道駅周辺のまちづくりと合わせた駅前広場の整備」が18.0%、「鉄道の高架化による交通渋滞、地域分断の解消」が17.4%となっている。

図表-47 「⑧交通体系整備の方針」で最も重要なこと(全体)



属性別でみると、「歩行者空間の確保や自転車交通網の整備、自動車・駐輪場の整備」は、居住地域別では立石・四つ木で45.5%と最も高くなっている。

図表-48 「⑧交通体系整備の方針」で最も重要なこと
(性別・年代別・居住地域別)



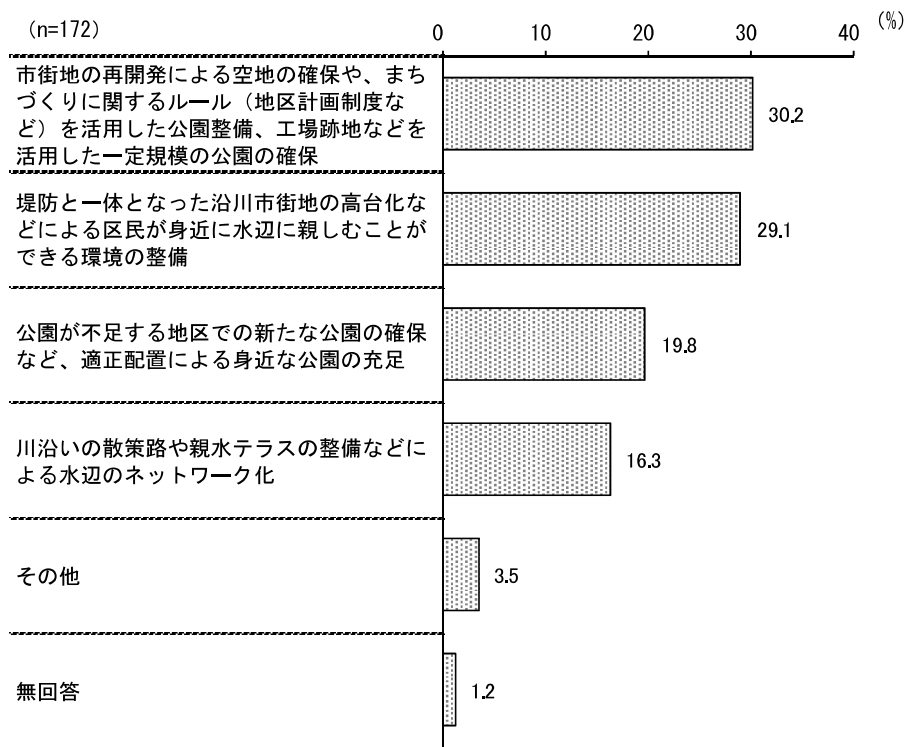
(11) 「⑨緑・オープンスペースの形成と魅力ある川への整備方針」で最も重要なこと

問9 問8のそれぞれの11のまちづくりの方針において、最も重要だと思われることを選んでください。

(9) 緑・オープンスペースの形成と魅力ある川への整備方針について最も重要だと思われることはなんですか（〇は1つ）。

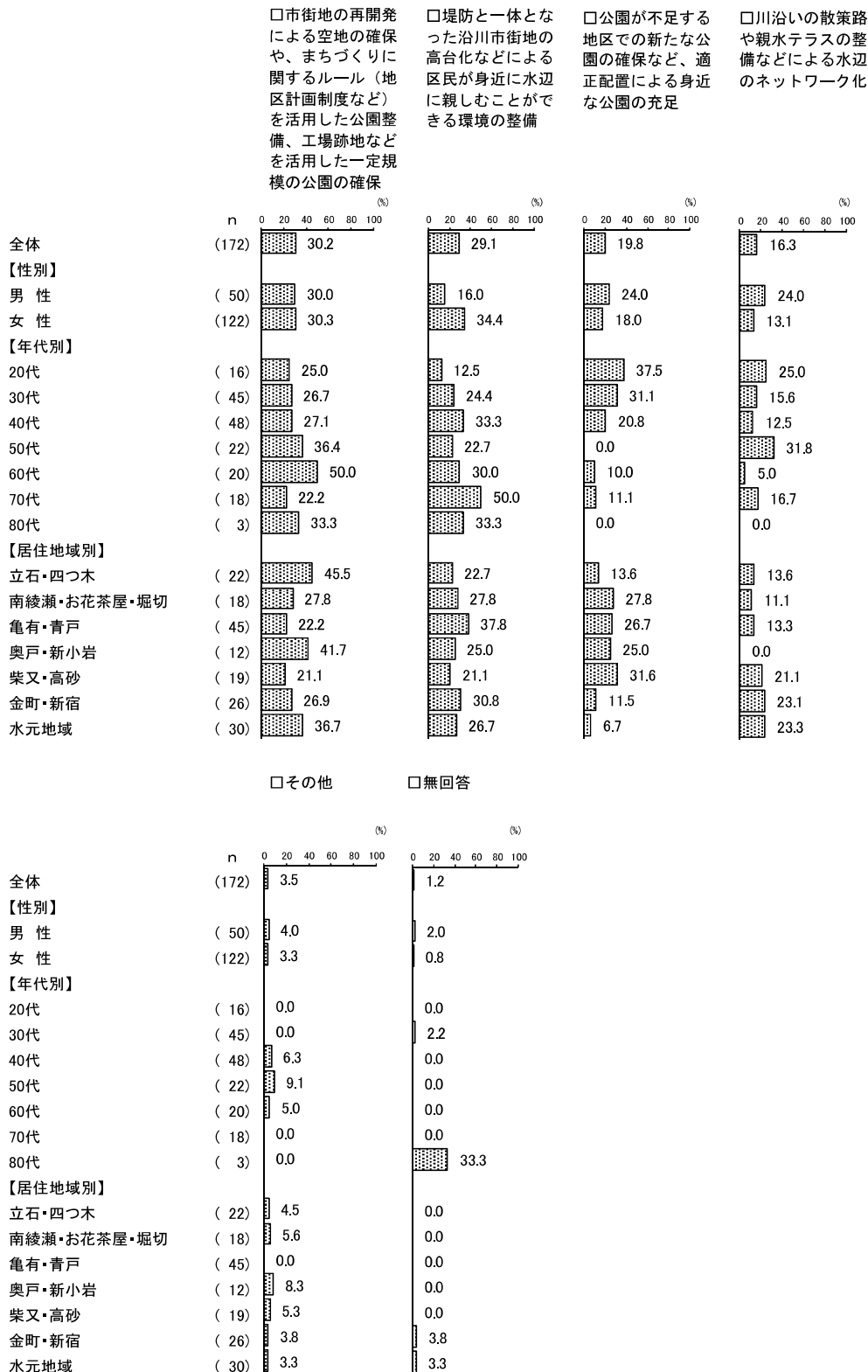
「⑨緑・オープンスペースの形成と魅力ある川への整備方針」で最も重要なこととしては、「市街地の再開発による空地の確保や、まちづくりに関するルール（地区計画制度など）を活用した公園整備、工場跡地などを活用した一定規模の公園の確保」が30.2%で最も高く、次いで「堤防と一体となった沿川市街地の高台化などによる区民が身近に水辺に親しむことができる環境の整備」が29.1%、「公園が不足する地区での新たな公園の確保など、適正配置による身近な公園の充足」が19.8%となっている。

図表-49 「⑨緑・オープンスペースの形成と魅力ある川への整備方針」で最も重要なこと（全体）



属性別でみると、「市街地の再開発による空地の確保や、まちづくりに関するルール（地区計画制度など）を活用した公園整備、工場跡地などを活用した一定規模の公園の確保」は、年代別では60代で50.0%と最も高くなっている。

図表-50 「⑨緑・オープンスペースの形成と魅力ある川への整備方針」で最も重要なこと
(性別・年代別・居住地域別)



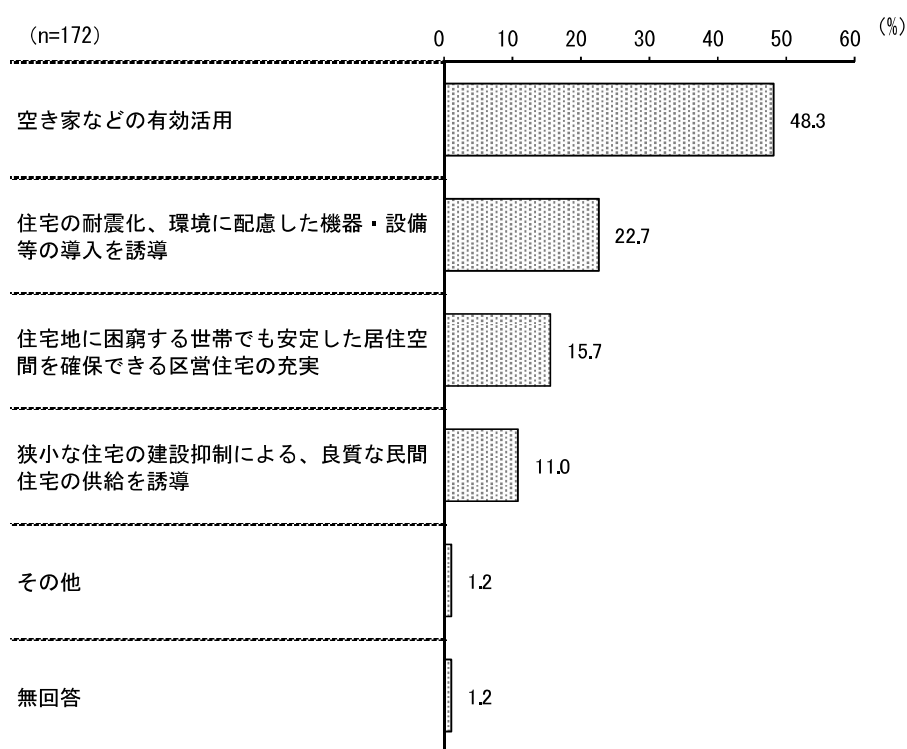
(12) 「⑩住宅・住環境整備の方針」で最も重要なこと

問9 問8のそれぞれの11のまちづくりの方針において、最も重要だと思われることを選んでください。

(10) 住宅・住環境整備の方針について最も重要だと思われることは何ですか（○は1つ）。

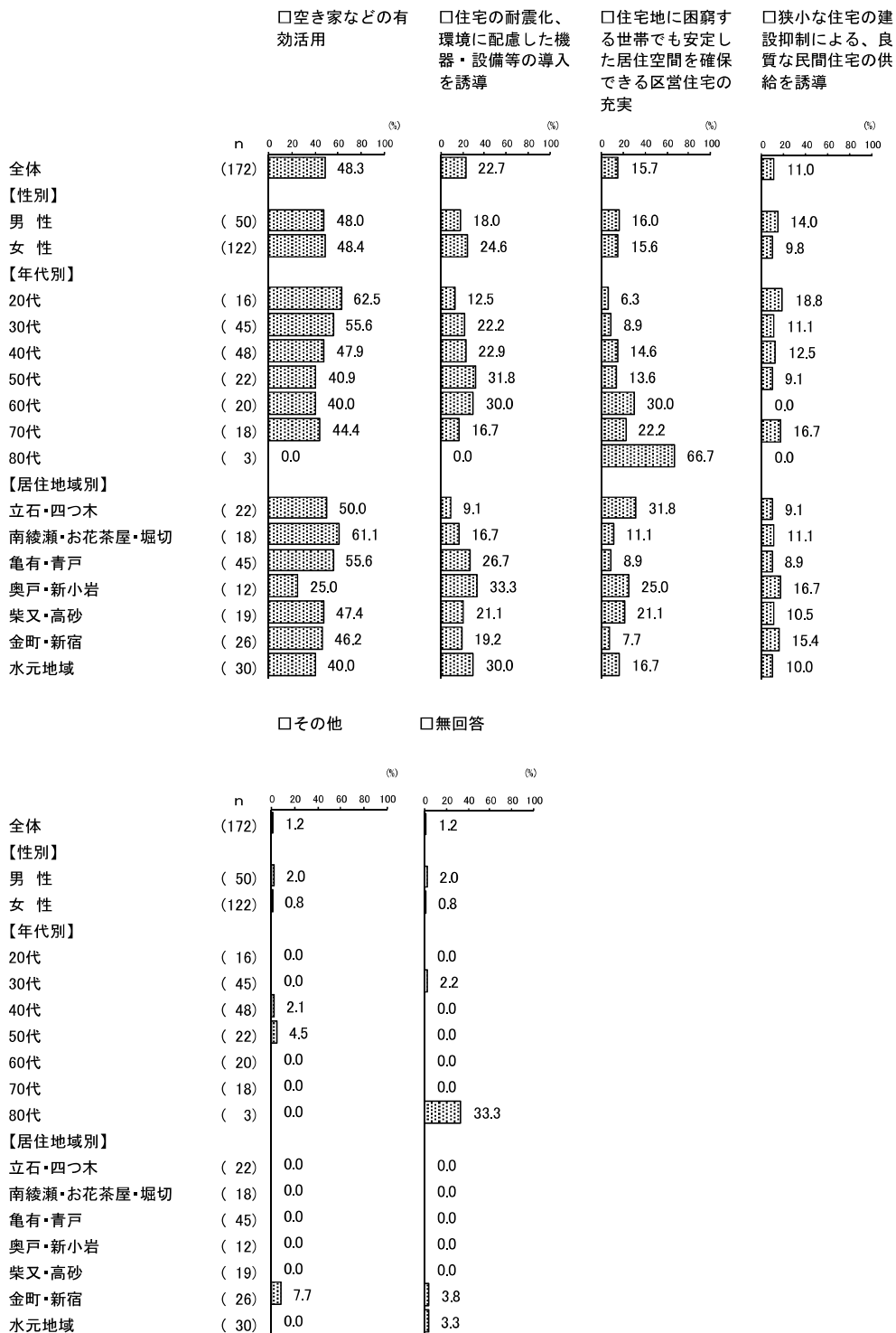
「⑩住宅・住環境整備の方針」で最も重要なこととしては、「空き家などの有効活用」が48.3%で最も高く、次いで「住宅の耐震化、環境に配慮した機器・設備等の導入を誘導」が22.7%、「住宅地に困窮する世帯でも安定した居住空間を確保できる区営住宅の充実」が15.7%となっている。

図表-51 「⑩住宅・住環境整備の方針」で最も重要なこと（全体）



属性別で見ると、「空き家などの有効活用」は、年代別では20代で62.5%と最も高く、居住地域別では南綾瀬・お花茶屋・堀切で61.1%と最も高くなっている。

図表-52 「⑩住宅・住環境整備の方針」で最も重要なこと
(性別・年代別・居住地域別)



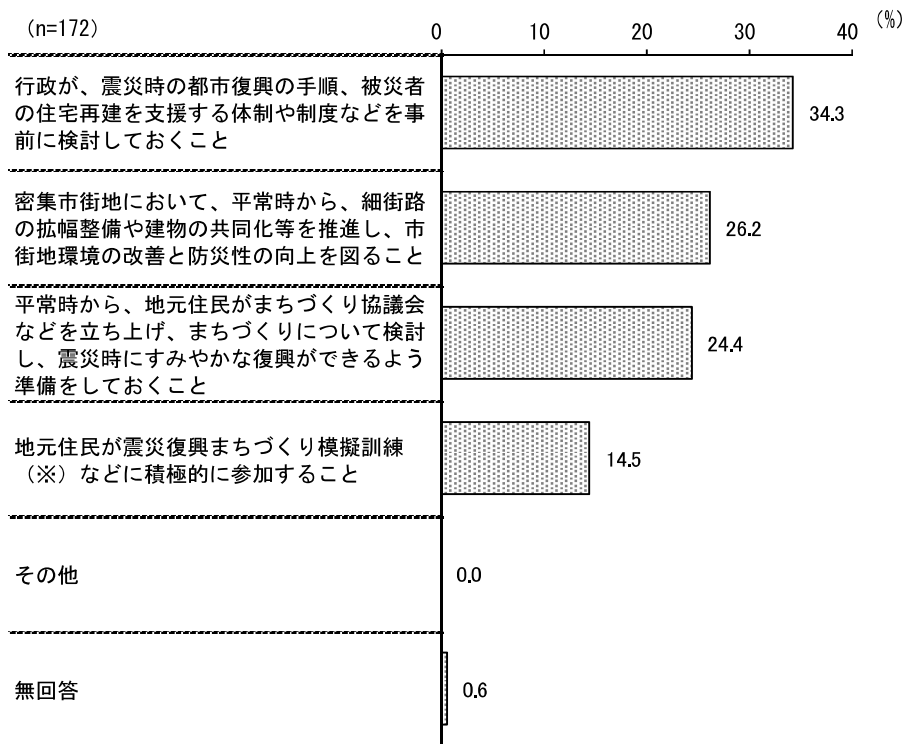
(13) 「⑪震災復興まちづくりの方針」で最も重要なこと

問9 問8のそれぞれの11のまちづくりの方針において、最も重要だと思われることを選んでください。

(11) 震災復興まちづくりの方針について最も重要だと思われることは何ですか(○は1つ)。

「⑪震災復興まちづくりの方針」で最も重要なこととしては、「行政が、震災時の都市復興の手順、被災者の住宅再建を支援する体制や制度などを事前に検討しておくこと」が34.3%で最も高く、次いで「密集市街地において、平常時から、細街路の拡幅整備や建物の共同化等を推進し、市街地環境の改善と防災性の向上を図ること」が26.2%、「平常時から、地元住民がまちづくり協議会などを立ち上げ、まちづくりについて検討し、震災時にすみやかな復興ができるよう準備をしておくこと」が24.4%となっている。

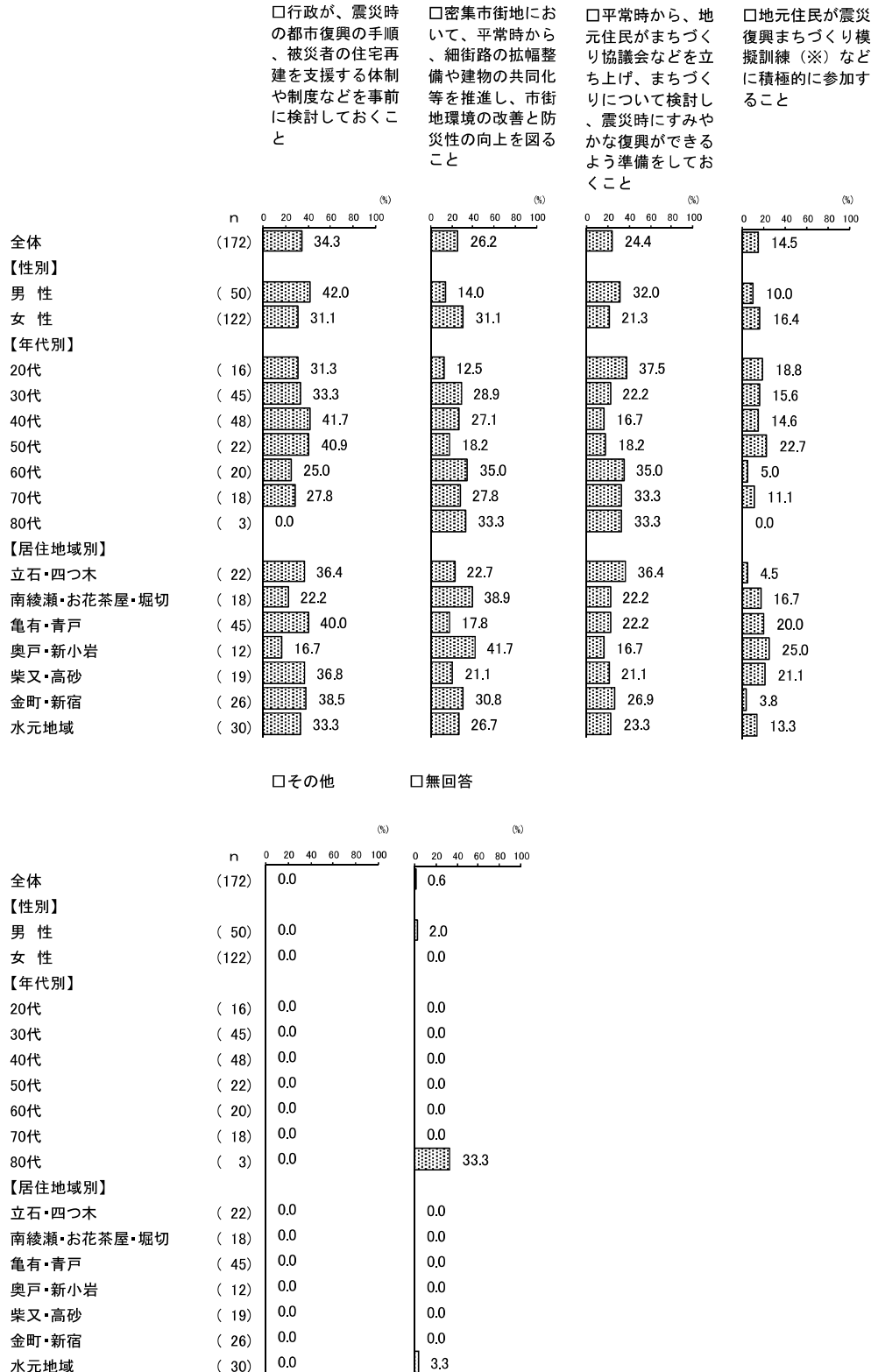
図表-53 「⑪震災復興まちづくりの方針」で最も重要なこと(全体)



(※) 震災時の被害を想定し、復興の手順や復興まちづくりについて事前に検討する訓練。葛飾区では自治町会連合会19地区のうち、これまで6地区で実施。

属性別でみると、「行政が、震災時の都市復興の手順、被災者の住宅再建を支援する体制や制度などを事前に検討しておくこと」は、性別では男性で42.0%と高く、「密集市街地において、平常時から、細街路の拡幅整備や建物の共同化等を推進し、市街地環境の改善と防災性の向上を図ること」は、性別では女性で31.1%と高くなっている。

図表-54 「⑪震災復興まちづくりの方針」で最も重要なこと
(性別・年代別・居住地域別)



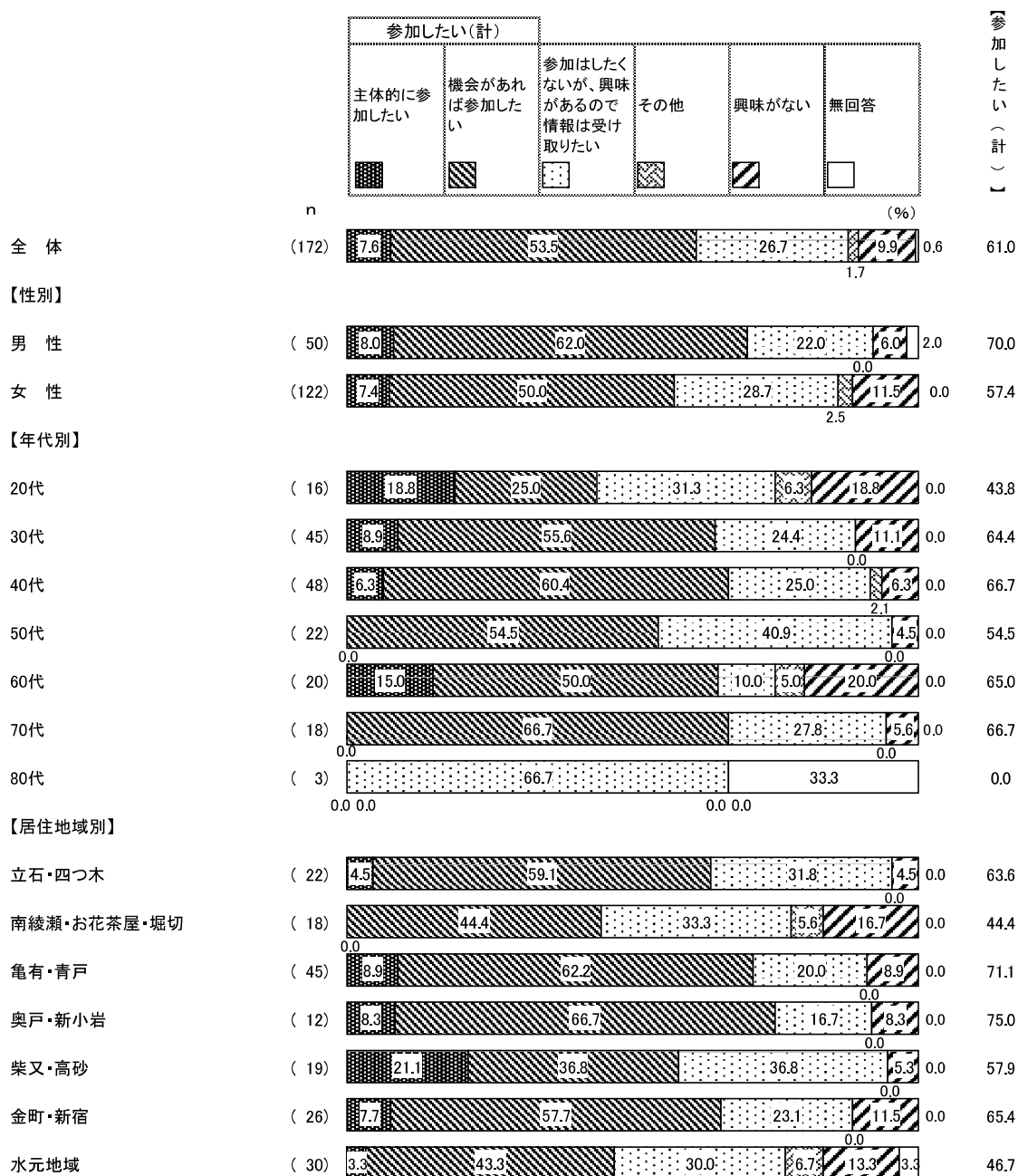
(14) 「エリアマネジメント」活動への参加意向

問10 近年、区民や事業者などの民間が主体となって、にぎわいの創出、公共空間の活用等を通じて、良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための「エリアマネジメント」活動の取り組みが拡大しています。あなたは、このような取り組みについて、どのように考えますか。(〇は1つ)。

「エリアマネジメント」活動への参加意向は、「主体的に参加したい」(7.6%)と「機会があれば参加したい」(53.5%)を合わせた【参加したい(計)】が61.0%となっている。

属性別でみると、【参加したい(計)】は、性別では男性で70.0%と高くなっている。

図表-55 「エリアマネジメント」活動への参加意向(全体・性別・年代別・居住地域別)



(15) 葛飾区都市計画マスタープランについての要望や提案（自由記述）

問12 葛飾区都市計画マスタープランについて、ご要望やご提案などがございましたらご自由にご記入ください。

(具体的な記述内容)

- どう変化していくのか楽しみ。今よりももっと住みやすく生活できることを願う。金町駅北口、理科大から駅までの道が狭いので、広くなれば良いと思う。又は、別ルートの確保。(金町・新宿/40代/女性)
- 葛飾区都市計画マスタープランには災害対策が重要だと思う。特に葛飾区は水害に弱い土地なので、知識豊富なスペシャリストを中心にプランを作成していただきたい(江戸川区のハザードマップ作成に土屋信行氏が取り組まれたように)。(亀有・青戸/40代/女性)
- 川沿いに親水テラスや散策路を作っても、昨年秋の台風のようなものがくれば浸水して使えなくなり、整備費用がかかるだけだと思う。それよりも普段使う人が多い、駅周辺整備を優先してほしい。(金町・新宿/20代/女性)
- 葛飾区都市計画マスタープランについてのホームページを見たが、180ページ以上のPDFを読む人がいるのでしょうか？テーマを決めて、いくつかまとめてコンパクトにして出すのいいと思う。東日本大震災などで環境も相当変化している。去年の台風でも川の氾濫がもう少しだったこともあり、時代の変化に沿った対応がいると思う。(立石・四つ木/40代/男性)
- 子どもに重点をおいて計画してほしい(学び遊び場の確保など)。(立石・四つ木/40代/女性)
- 施設、設備を増やすより、ノウハウや手段を充実させ、既存の施設で中身の内容がより良い活動を！(金町・新宿/40代/男性)
- 葛飾区都市計画マスタープランの資料を見せてほしい。(水元地域/80代以上/男性)
- 無駄な金銭投入をせず、効果的な投資・改善を希望する。本当にやらなければならない事柄を選択し、早めの対処を望む。優先順位としては、やはり「命」が大事ですから、区民が安全に安心して生活できるまちづくりに取り組むべきかと思う。次に快適に気持ち良く暮らせるまちづくりに着手かと。交通の便、買い物、美しく清潔な街並等、期待している。(柴又・高砂/50代/女性)
- 「水と緑豊かな町」、河川敷はずいぶんと整備され、心地よい気分で散歩させて頂けている。ただ今日、災害による不安が大きく、せっかく整備されても大災には勝てないところが悲しい。そのためにも、根本的な災害対策を優先に考えて頂くことも必要かと思う。(立石・四つ木/50代/女性)
- 現在、新小岩北口近くに住んでいるが、南口から区役所へ行くバス停が平成22年に東北広場に移動し、不便になった。区役所へ行くために、東北広場まで行くのは時間もかかる。仕方なく蔵前橋バス停まで歩いて行くのも大変。いつも東北広場はひっそりしており、あれだけの広い土地を立ち退きで確保、新小岩駅～東北広場へ立派な建物、エレベーター(動いていない)、エスカレーターがあるが使っている人は少ない。お金をかけて大変無駄だと思う。いろんなイベントは駅前広場を使っている。この10年間、南口も北口

- も何度もトイレの移動対策をしておりもったいない！都市計画マスタープランも若い人達が参加して、将来性を考えて無駄な税金を使わない。新小岩駅北口の住まいから本庁へ行くのは1時間はかかる。江戸川区役所の方は10分あれば行ける。新小岩は、江戸川区へ編入を希望されている人も多いと思う。(奥戸・新小岩/70代/女性)
- 初めて知った。区民への浸透でよりよいプランになると思う。(亀有・青戸/20代/女性)
 - 中川土手の整備。(亀有・青戸/40代/女性)
 - 葛飾区は水没の危険性が高いので、水はけをよくする整備や、病原菌などの繁殖を防ぐ対策が必要だと思う。高台の避難所も欲しい。(亀有・青戸/60代/女性)
 - 中間検証により、その達成度を区民に明らかにして欲しい。(柴又・高砂/70代/男性)
 - 交通網の充実を望む。(亀有・青戸/30代/男性)
 - 葛飾区は隣接区よりも交通網が弱いと思う。交通網の充実を希望する。(亀有・青戸/30代/女性)
 - 簡易版でよいので、冊子にして希望者に配布するようにしていただきたいと思う。(金町・新宿/70代/女性)
 - 海拔ゼロメートル地帯の葛飾区がかかえる、水害対策を早急に対策してほしい。避難場所の確保や充実等も、去年の台風の経験を活かして早急に検討してもらいたい。今の状態は、全てに不安だらけ！！(南綾瀬・お花茶屋・堀切/70代/女性)
 - 「1、新基本構想…」問6に記述したとおり(観光地化。魅力ある観光都市・まちづくりをして集客力を高める)。とにかく「観光地化」。区外、都外、国外からより多くの観光客が訪れるまちづくり、魅力ある観光地化の構築を進めないと、区の繁栄(人口増加等)は厳しいと思われる(「訪れたい」「住みたい」と思わせる街作り)。(南綾瀬・お花茶屋・堀切/50代/男性)
 - お父さん、お母さん世代がひと息つける場所(カフェ等)をたくさん作ってほしい。ベビーカーで過ごせる場所も。一戸建てを買いたい、災害が怖く踏み切れない。(亀有・青戸/40代/女性)
 - 身近な点として、自転車レーン、歩道の整備を希望する。また、ごみ置場の整備も期待する。(柴又・高砂/30代/女性)
 - 近くに流れる川は中川なのですが、花火大会など夏のひと夜に行われると楽しいかも。舟を下りながら仕掛け花火をやるのも見物だと思う。北海道では海の上の船(小さなもの)で、仕掛け花火をやったりして盛り上げている(ナイアガラの滝とかも岩場でやってたのかしら)。(亀有・青戸/50代/女性)
 - 金町駅に出るまで徒歩50分かかる。八潮駅に行くにもバス停まで20分で本数も少ない。住める場所じゃなかったと後悔している。(水元地域/30代/女性)
 - 被災した時の住居の提供や一定期間が過ぎたら自分達で住む所を探して下さいではなく、一生住み続ける所を援助してほしい。葛飾区は火災に弱い所だと聞いているので、家が燃え、家財道具が燃え、無一文になるので、区で全てまかなえるようにして頂きたい。(南綾瀬・お花茶屋・堀切/40代/女性)
 - 10年程以前と比べると歩道のつなぎ目の段差が少なくなり、歩きやすく走りやすくなった。他区から遊びに来た人から「葛飾区は高齢者が多いね」と言われる。住みやすいから？(亀有・青戸/70代/女性)

- 現在、柴又2丁目に住んでいるが、金町駅へ行くバスがなく困っている。(柴又・高砂／30代／女性)
- 昨年の台風19号で避難した場所で、堤防が決壊した時、身の安全、食料、トイレなど大丈夫なのでしょうか？自然災害が増えてきているので、地域避難する場所の確保、交通機関の確保も進めてほしい。地域にある資源を生かしたまちづくり、なるべくごみを出さないようにして、地球にやさしい葛飾区をめざしてほしい(寅さんのような)。(立石・四つ木／40代／女性)
- 災害に強いまちづくりを策定してほしい。大雨の災害は身近にあるので、対策は急がれる。(柴又・高砂／60代／女性)
- なんか分かりづらい。区のHPから拝見しましたが、あんまり響いてこない。知っている人がどれくらいいるのか？いろいろな世代の人に興味を持ってもらえるよう、視覚的に分かりやすくまとめたものを、いろいろな形で発信してほしい。(南綾瀬・お花茶屋・堀切／40代／女性)
- 1、区内の南北の公共交通の充実を図る。(1)新金貨物線の検討、実現化を進める。LRTなどを参考に検討する。東西にある鉄道との乗換の利便を図る。又、採算の検討も重要だが、都・区と徹底した協議も併せて行う。結果として区民の足として、永続的に利用できることを期待したい。(2)小菅ー堀切ー新小岩、金町ー新柴又ー小岩のバス路線の充実。2、歴史的建造物の再発見による全国へのPR。(1)各メディアに対する呼びかけ。(2)映画、TVなどの導入を進める為の区役所内に専門部署の設置により、世界的なPRをめざす。当然ご当地の食べ物も発掘することも必要。(柴又・高砂／70代／男性)
- 葛飾区都市計画マスタープランについてまだ知識がなく、すいません。今後の活動等で耳、目等を使い考えていく。令和に入り…葛飾柴又が世界の方々にあの映画を通して、これからの日本の大切な人間愛等をこの葛飾から発信していけてうれしいと思う。これからは葛飾が日本の代表の「区」になってほしい。(南綾瀬・お花茶屋・堀切／60代／女性)
- 金町駅前(北口)の車道確保や歩道確保(バスが通るのもやっとの時がある)。踏切(京成線)を高架にしてない所を早めにしてほしい。(水元地域／50代／女性)
- プランの存在を全く知らなかったなので、今回知れることになり勉強になった。27年前に葛飾区に引っ越してきたのですが、その時に比べると住環境や街の景観が良くなってきていると思うが、住民のマナーの悪さはあまり変わらない。でも、下町ならではの親切や親しみやすさは残っていると思う。それはこの地に何代も住んでおられる戸建てのお年寄りの方により多く見受けられるように思う。葛飾区ならではの良さを残しつつ、文化の継承、災害に強い街、水や空気がきれいな街になると良いと思う。(亀有・青戸／50代／女性)
- 公園で半日過ごせるようなゆったりとしたベンチや、池で魚を見たり、花を見たり、和む空間を作してほしい。軽く散歩コースも作ってほしい。(亀有・青戸／60代／女性)
- 昨年の台風、大雨により、まず最初に手がけてもらいたいことは「災害に強い葛飾区」になることだとつくづく思う。「水と緑ゆたかな心ふれあう住みよいまち」よりも、水害にならないよう堤防のかさ上げ工事や、避難場所の周知徹底等をぜひ早急に実施してもらいたいと思う。昔、私の小さい時は台風がくると水があふれ、隣のどぶ川には庭から流れてきたと思われるコイ、金魚等をたまに網ですくったものです。現代の大雨は異常

な降り方である。これらに対する対策を目でみえる形で早急に実施して頂きたいと思う。昨年大雨では避難場所の小学校が満杯で入れなかったと聞いていますが、あれから数か月経っているものの、私達住民には町会報でも何も知らされていない。(亀有・青戸／60代／男性)

- 誰もが安心・安全に歩ける道づくりが最重要だと思う。高齢化に伴い、古い空き家が放置されているのが目につくようになった。すみやかに撤去、リフォームできる制度がないと、街が荒れ始めるだろう。無電柱化、道路の保水性アップ、ヒート化減少など、環境や災害対策として早く進めてほしい。(亀有・青戸／40代／女性)
- 花を多くする。(水元地域／40代／女性)
- 台風により電車が遅延した際、新小岩駅は長い人の列ができて電車に乗ることができなかった。駅前はかなり整備されたが、利用者の多さを受け入れられるような施設があればいいと思う。(奥戸・新小岩／50代／女性)
- 少子化対策の最優先化。(奥戸・新小岩／40代／男性)
- とにかく昔のように子どもたちが外で何の制限もなく遊べる環境は急務。今の子どもたちが可哀想。(立石・四つ木／40代／男性)
- 緑との調和(南綾瀬・お花茶屋・堀切／50代／女性)
- 駅前再開発が区内で進んでいるが、タワーマンションの乱立が懸念されて、水害対策、下水道対策、地震対策、学校の必要性、日照問題、風害、電波障害、将来の老朽化問題等で、神戸市ではタワーマンションの規制をするようである。高層ビルは地域コミュニティをなくすので、建設はやめてほしい。葛飾区の下町風景を残すようにすることで、葛飾区の魅力を発信できると思う。(立石・四つ木／60代／女性)
- 再度、区民によりわかりやすく知らしめてほしい。(亀有・青戸／60代／男性)
- 災害時のペットの対応。(亀有・青戸／40代／女性)
- 災害時に備えた建物耐久検査の補助があるとしっかり事前に対策できると思う。(亀有・青戸／40代／男性)
- もっと情報にアクセスし易いとよい。(水元地域／30代／女性)
- 葛飾区は、他の自治体に比べ、都心に近い割には、JR常磐線が不便で割高運賃である。また、立石、四つ木駅では、快速や特急が停車しないため都心への所要時間がかかる。特に都心へのアクセス改善を盛り込んでほしい。常磐線沿線自治体で葛飾区だけ上野東京ラインと結ばれていない。(金町・新宿／60代／男性)
- 葛飾区は水害が懸念されていること。首都直下型地震の際には木造密集地域が危険なので、地震に強いまちづくりの一環として建て替え、建て増しなどの工事などに補助金制度を強くしてもらえると、自助努力もしやすいと思っている。(南綾瀬・お花茶屋・堀切／40代／男性)
- 希望が持てるような具体的な計画を明示してほしい。(柴又・高砂／70代／男性)
- 長年区民生活し、深く関わる事もなく暮らし過ごしてきた。区民モニターを通して、一つの役割分担、しっかりした要望、提案も自分自身の一歩でもある。より良い環境、緑化整備あらゆる面で居心地の良い街、重要だと思う。高齢に向けて道路整備、散策の楽しさが増えて行けたら。オープンスペースの重要性も課題。(南綾瀬・お花茶屋・堀切／60代／女性)
- 狭小地住宅が多いので、火災の初期消火の推進。延焼を止める施策をお願いしたい。(金

町・新宿／60代／女性)

- 人情都市かつしかに賛同する。区外から引っ越してきた住民は、都心への通勤しか興味が無い。賃貸住宅には表札もなく、隣人がどんな人かさえわからない。これでは人情もなにもない。プライバシーの問題はあるが区外から越してきた人も人情味を感じられるような街こそ下町であると思う。(亀有・青戸／30代／男性)
- 高齢化が進む葛飾区に、若い世代に転入してもらうために積極的に制度的な整備、子育て支援などの補助制度、等々を作っていく。都市が整備されれば、自ずと集合住宅や学校・公園等の環境が生まれて、若い人々が住みやすくなると思う。(柴又・高砂／70代／女性)
- 金町駅周辺：駅周辺の歩道確保、とくに狭い道路に関しては車両通行禁止や一方のみ通行可能にするなどが必要。京成線：立体交差化や高架せずに、京王線や東急線のように地下化すればよかったのではないか。金町線を高架したが交差後、駅も景観が悪くなり、京成高砂駅の踏切の問題はいまだ解決してない。京成線周辺の地域分断は今でも解決していない大きな問題だと思う。中川の川沿いの道路：この時代になっても深夜バイクで暴走する人間がいる。騒音もひどいので取り締まるべきだ。解体時に問題となるタワーマンションはこれ以上不要、オープンスペースがあつたとしても景観が悪くなり土地の価格もあがる、転売目的で人がいないことも起こっている。葛飾区では推進すべきではない。違法化された自転車の右側通行を守る人がいない。周知されていないので取り締まるべきだ。(金町・新宿／20代／男性)
- 今回、こちらのモニター参加をさせていただいたことで、初めて「葛飾区都市計画マスタープラン」を知った。葛飾を良い街にという取組みは、たいへんありがたいと思った。ただ、それぞれの地域での告知が足りないのではと思った。もっと広報かつしかや、イベント等で、周知徹底して、実際に生活している区民が、もっと意識できるようになればと思った。意見を投書できたり、居住地域の区民だけで、スローガン募集をするなどしたら、面白いのではないかと思った。(立石・四つ木／40代／女性)
- 葛飾区都市計画マスタープラン⑥～観光まちづくりを進めていくのであれば、犯罪防止等のための監視カメラの整備が必要だと思う。⑩ごみ回収に関して、区民に負担をかけないシステムの構築を考えてほしい。⑪もっと現実的な施策が必要。昨秋の台風時の避難勧告で避難所は人であふれた。(金町・新宿／60代／女性)
- まだはっきりと確認できていないのでコメントがしづらいが、目的とシミュレーションがしっかりあることが重要。(金町・新宿／30代／女性)
- 安全・安心な葛飾区を作って頂きたい。そのためには、弱者の目線で計画を実行してほしい。(亀有・青戸／50代／女性)
- ホームページだけではなくもっとこの計画を広めるための企画を立ち上げるべきではないか。(水元地域／20代／女性)
- 災害時は区の職員が積極的に対応できるよう、日ごろの教育訓練が必要。職員は担当職務にかかわらず対応できるようにしておくべき。職員の勤務管理、特に休暇・代休取得・出張についての管理が甘い(だれが休暇・代休取得中か把握されていない部署がある)、イザというときに敏速な人員配置ができないのではないか。(柴又・高砂／60代／男性)
- 地区ごとの分割でよいので小学生に配布するようなリーフレットが欲しい。将来住み続ける若い子らに情報が届いて欲しい。(柴又・高砂／50代／女性)

3. 葛飾区自転車活用推進計画策定業務について

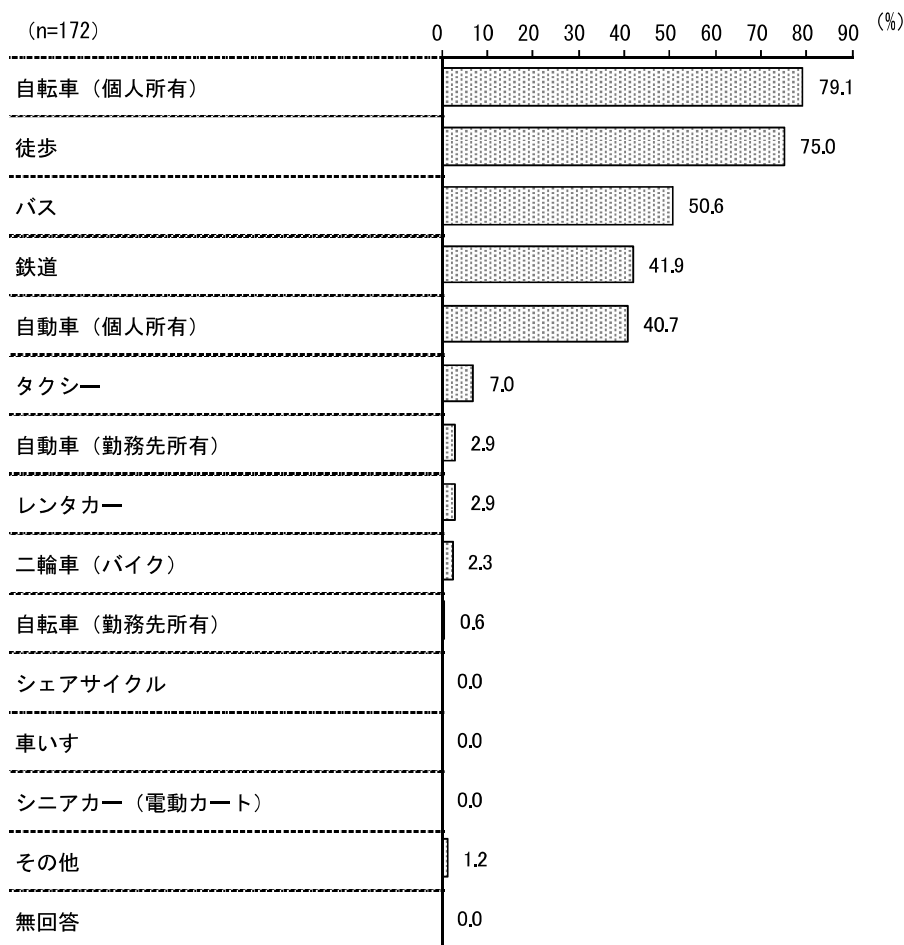
(1) 区内の移動手段

葛飾区では、誰もが安全で快適に自転車を利用できる環境づくりを目指した「葛飾区自転車活用推進計画（仮称）」の策定に向け検討を進めております。検討にあたって、区民モニターの皆様の自転車利用実態やニーズを把握するためにご意見をお聞きします。

問 13 区内を移動するとき、頻繁に利用する移動手段は何ですか（〇はいくつでも）。

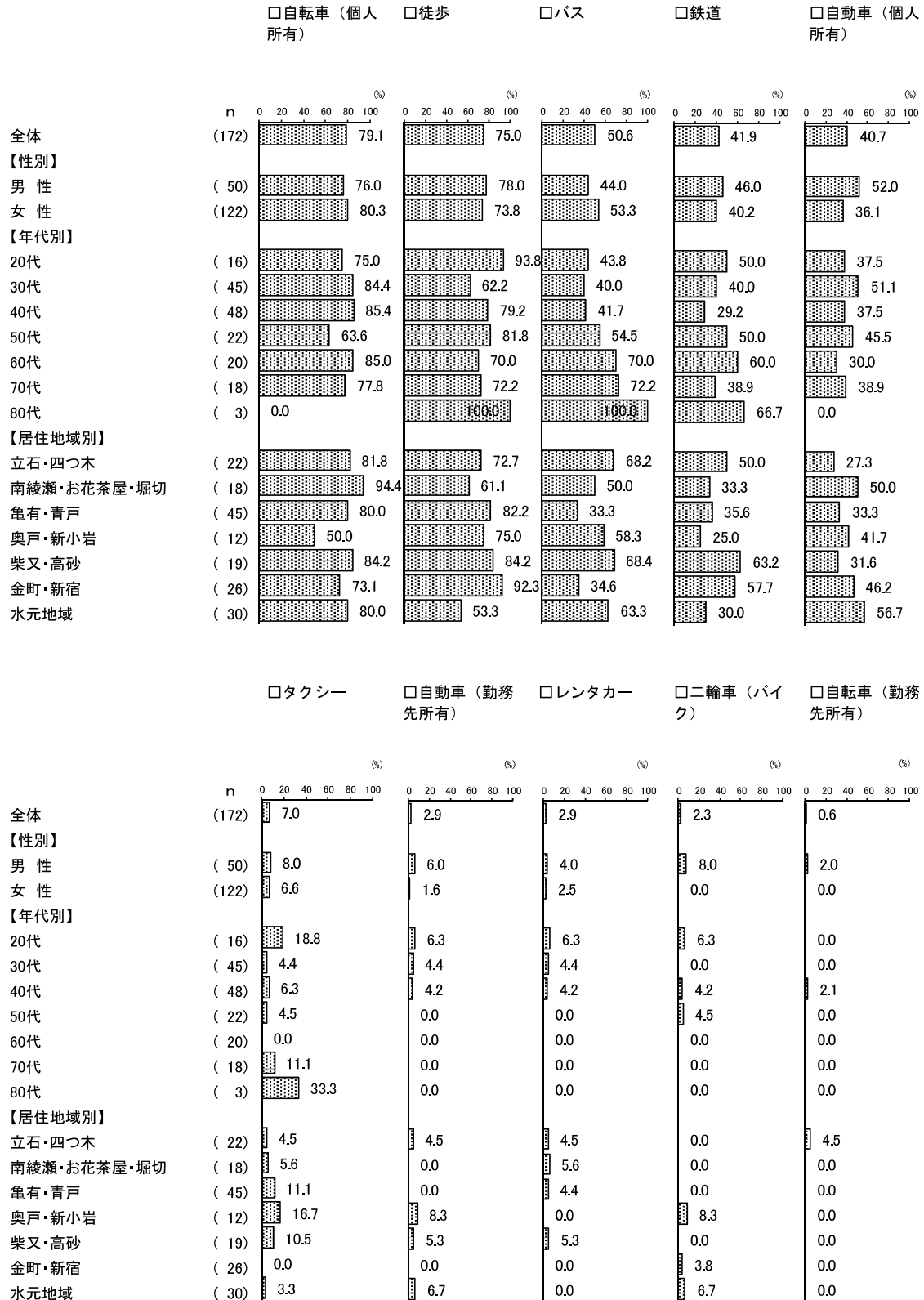
区内の移動手段としては、「自転車（個人所有）」が79.1%で最も高く、次いで「徒歩」が75.0%、「バス」が50.6%となっている。

図表－56 区内の移動手段（全体）



属性別で見ると、「自転車（個人所有）」は、居住地域別では南綾瀬・お花茶屋・堀切で94.4%と最も高くなっている。

図表-57 区内の移動手段
(性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



(2) 自転車の保有台数・保有車種

問 14 ご家庭であなたを含む同居する人数及び自転車保有台数とその車種を教えてください。

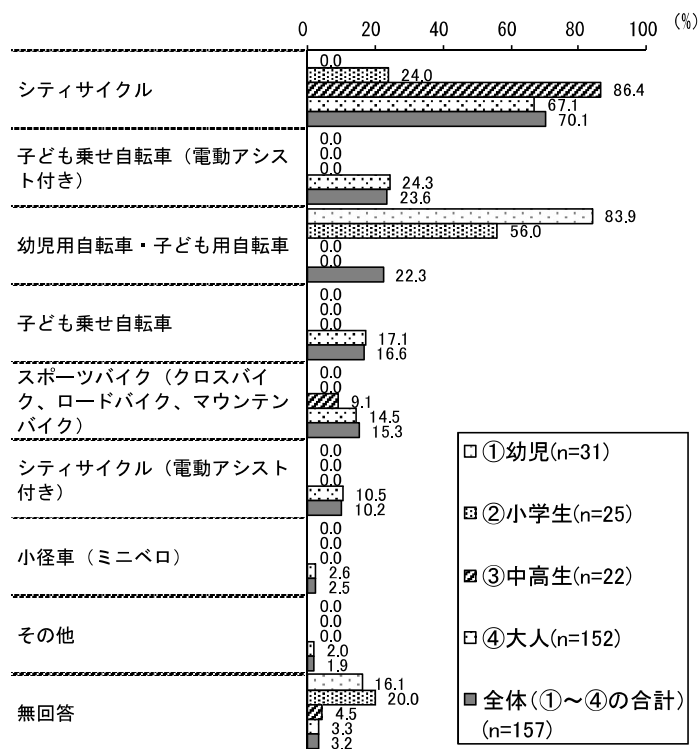
自転車の保有台数は、全体で414台、1人あたり平均0.8台となっている。

自転車の保有車種は、全体で「シティサイクル」が70.1%、次いで「子ども乗せ自転車（電動アシスト付き）」が23.6%、「幼児用自転車・子ども用自転車」が22.3%となっている。

図表-58 自転車の保有台数（全体・家族構成別）

	人数	台数	平均台数 (台数/人数)
①幼児	85人	46台	0.5台
②小学生	29人	32台	1.1台
③中高生	36人	37台	1.0台
④大人	359人	299台	0.8台
全体(①~④の合計)	509人	414台	0.8台

図表-59 自転車の保有車種（全体・家族構成別）



※1台以上の回答者を基数とし、複数回答可として集計

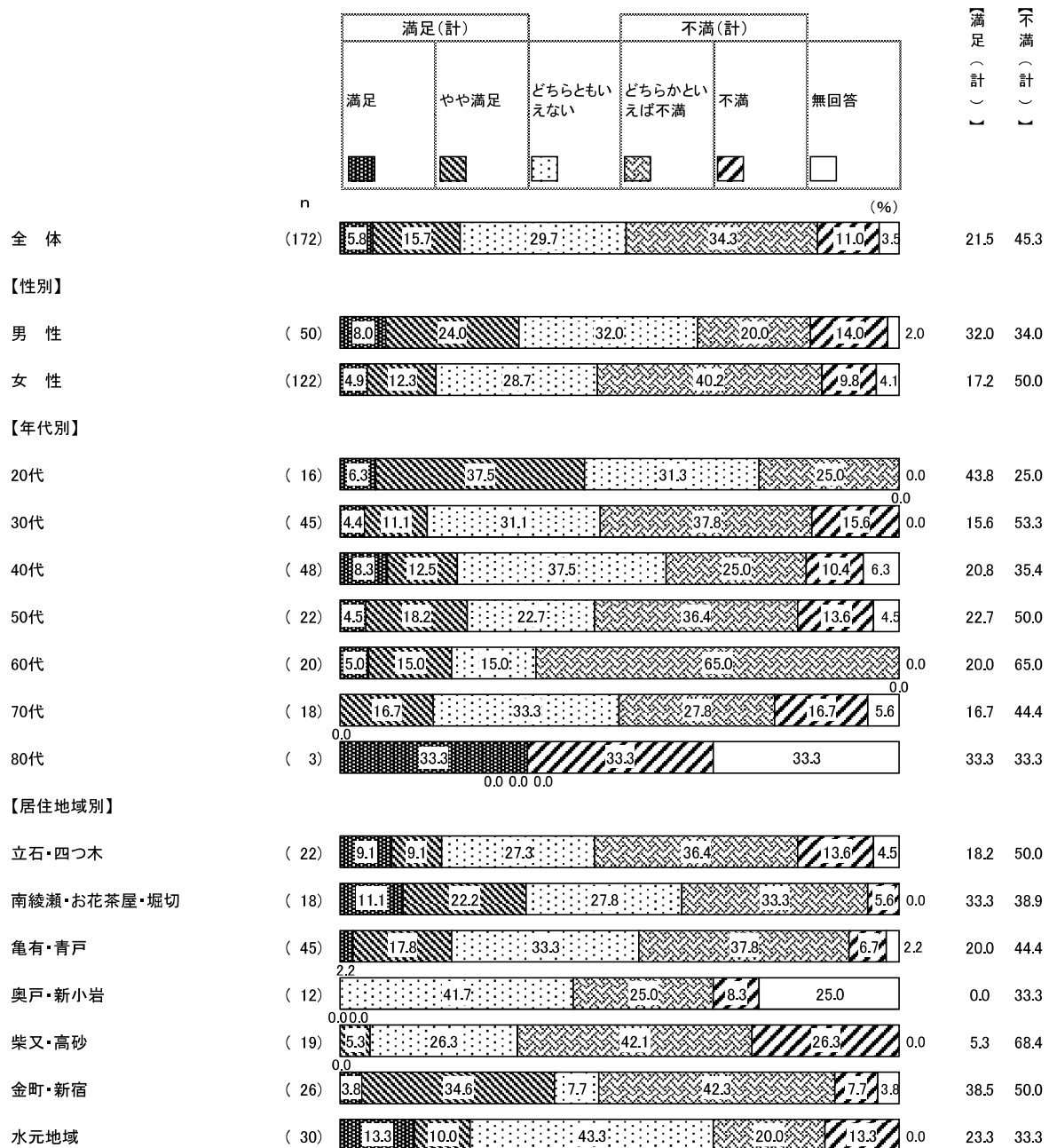
(3) 区内の「自転車の走りやすさ」の満足度

問15 区内における自転車の走りやすさ（自転車の走行空間）に満足していますか（○は1つ）。

区内の「自転車の走りやすさ」の満足度としては、「満足」（5.8%）と「やや満足」（15.7%）を合わせた【満足（計）】が21.5%となっている。

一方で、「不満」（11.0%）と「どちらかといえば不満」（34.3%）を合わせた【不満（計）】が45.3%となっている。

図表-60 区内の「自転車の走りやすさ」の満足度（全体・性別・年代別・居住地域別）



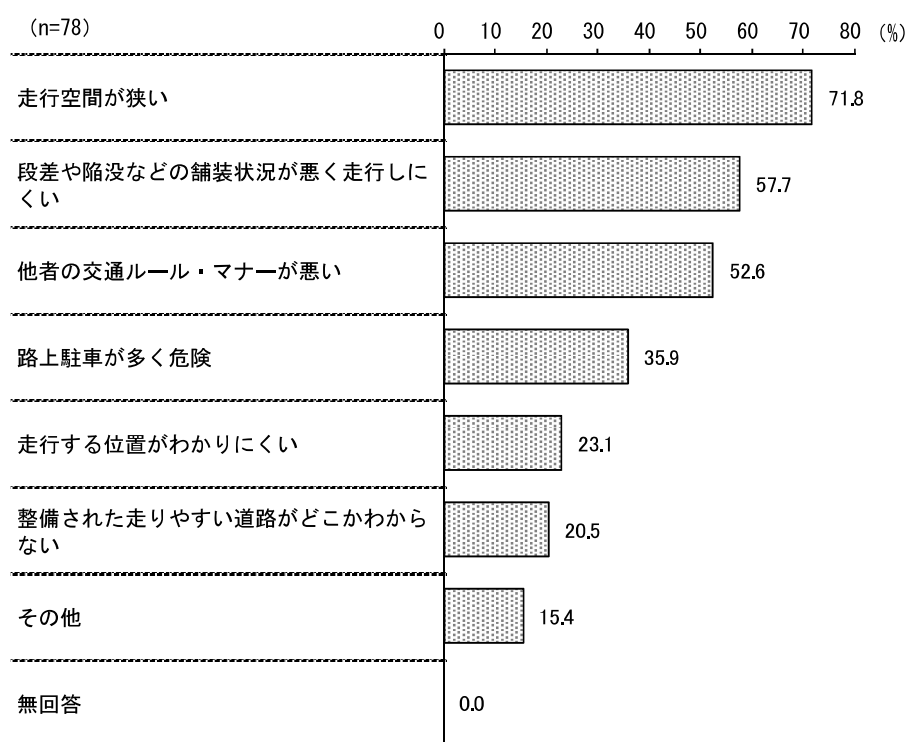
(4) 区内の「自転車の走りやすさ」についての不満点

(問 15 で「4. どちらかといえば不満」「5. 不満」を選択した方にお伺いします。)

問 16 区内における自転車の走りやすさについて、どのような点が不満ですか (〇はいくつでも)。

区内の「自転車の走りやすさ」についての不満点としては、「走行空間が狭い」が 71.8%で最も高く、次いで「段差や陥没などの舗装状況が悪く走行しにくい」が 57.7%、「他者の交通ルール・マナーが悪い」が 52.6%となっている。

図表-61 区内の「自転車の走りやすさ」についての不満点 (全体)



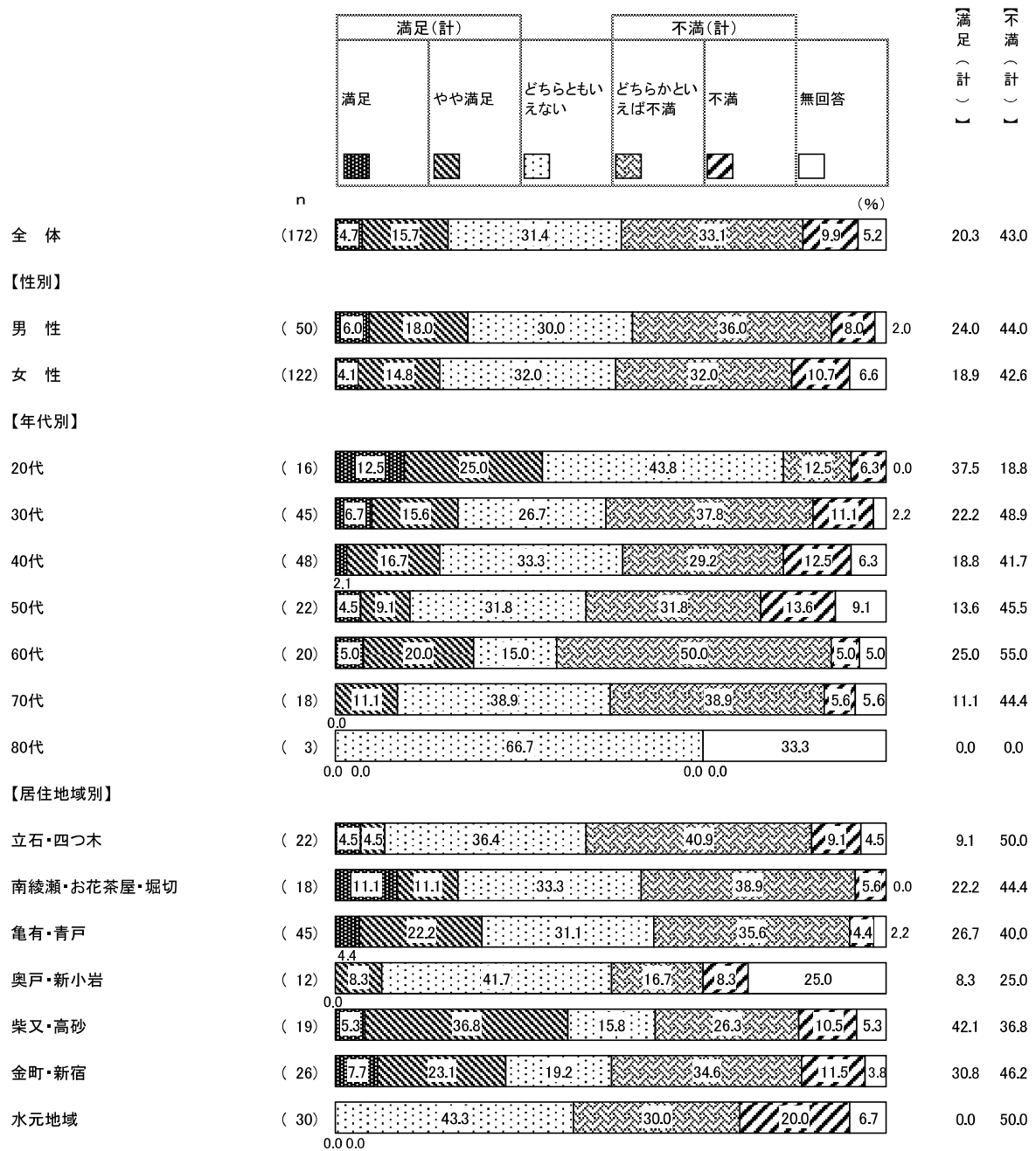
(5) 区内の「駐輪環境」の満足度

問17 区内の駐輪環境（区営・民営問わず）に満足していますか（〇は1つ）。

区内の「駐輪環境」の満足度としては、「満足」（4.7%）と「やや満足」（15.7%）を合わせた【満足（計）】が20.3%となっている。

一方で、「不満」（9.9%）と「どちらかといえば不満」（33.1%）を合わせた【不満（計）】が43.0%となっている。

図表-62 区内の「駐輪環境」の満足度（全体・性別・年代別・居住地域別）



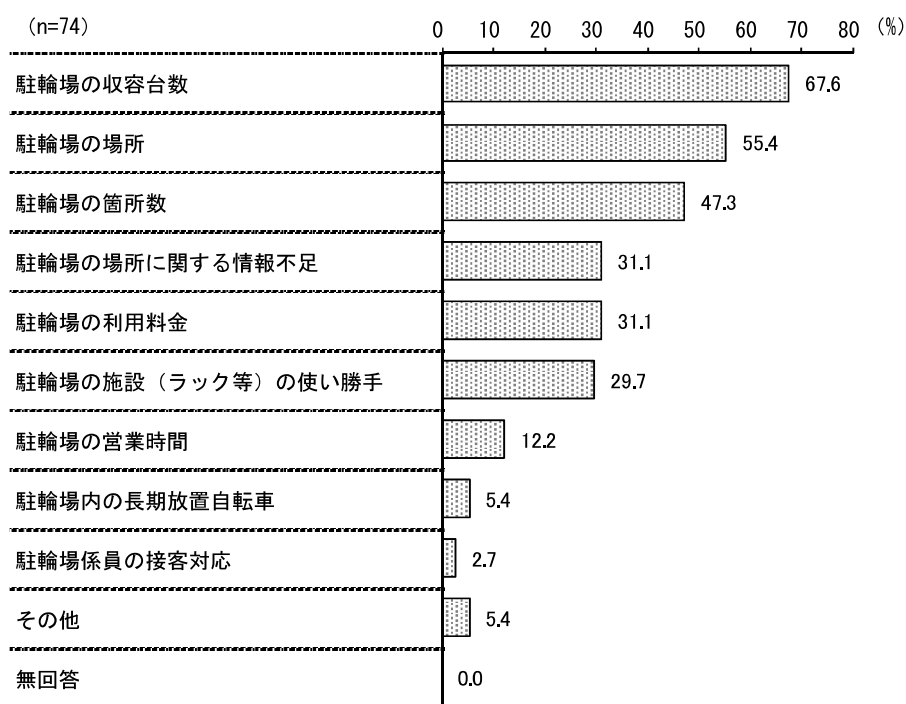
(6) 区内の「駐輪環境」についての不満点

(問17で「4. どちらかといえば不満」「5. 不満」を選択した方にお伺いします。)

問18 区内の駐輪環境について、どのような点に不満を感じていますか (〇はいくつでも)。

区内の「駐輪環境」についての不満点としては、「駐輪場の収容台数」が67.6%で最も高く、次いで「駐輪場の場所」が55.4%、「駐輪場の箇所数」が47.3%となっている。

図表-63 区内の「駐輪環境」についての不満点 (全体)



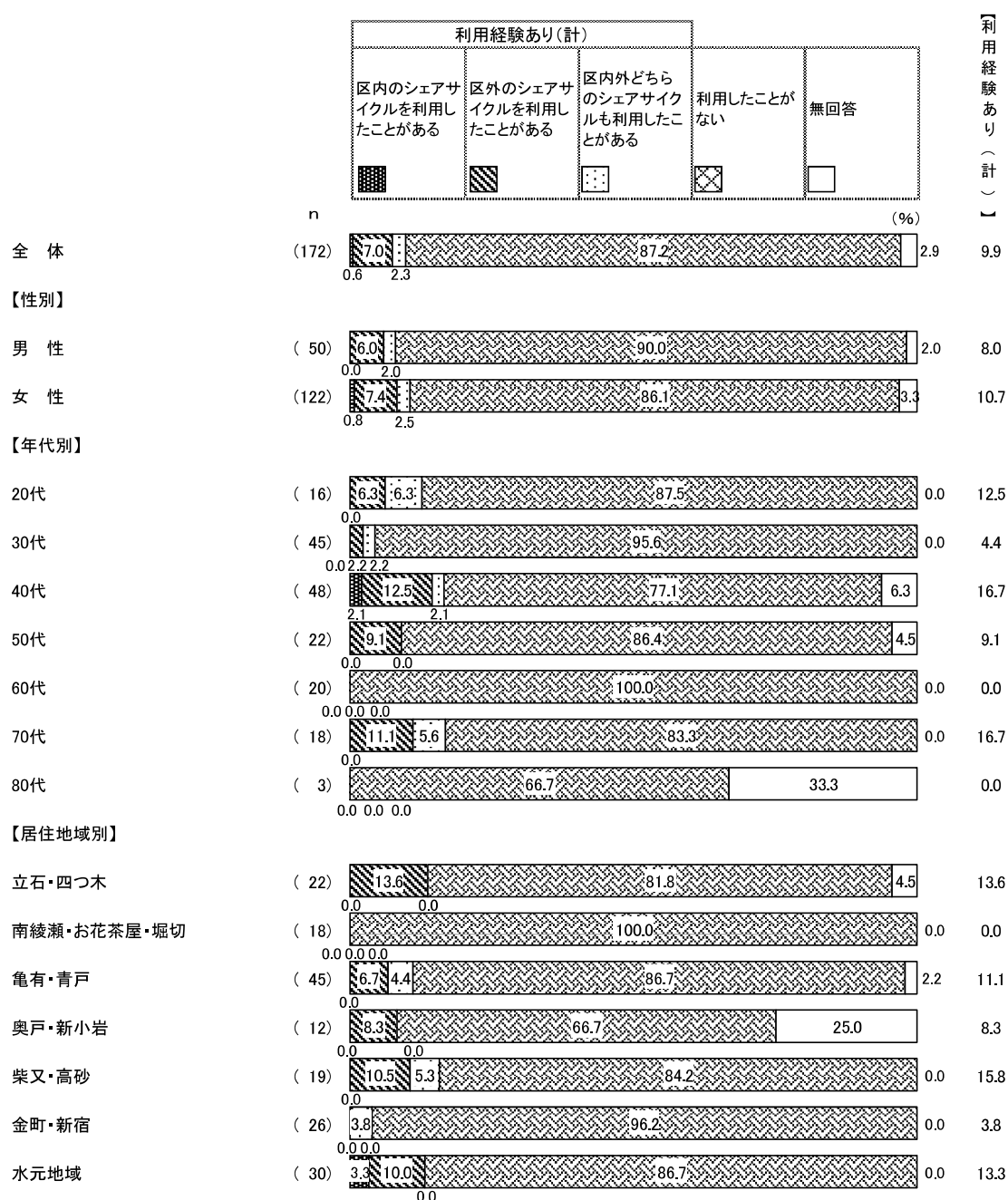
(7) シェアサイクルの利用経験

問19 近年、自転車を借りた場所と異なる場所に返却できるシェアサイクルのサービスが全国各地で普及してきています。シェアサイクルを利用したことがありますか(○は1つ)。

シェアサイクルの利用経験としては、「区内のシェアサイクルを利用したことがある」(0.6%)と「区外のシェアサイクルを利用したことがある」(7.0%)、「区内外どちらのシェアサイクルも利用したことがある」(2.3%)を合わせた【利用経験あり(計)】が9.9%となっている。

属性別にみると、【利用経験あり(計)】は、年代別では40代と70代でともに16.7%と高く、居住地域別では柴又・高砂で15.8%と最も高くなっている。

図表-64 シェアサイクルの利用経験(全体・性別・年代別・居住地域別)

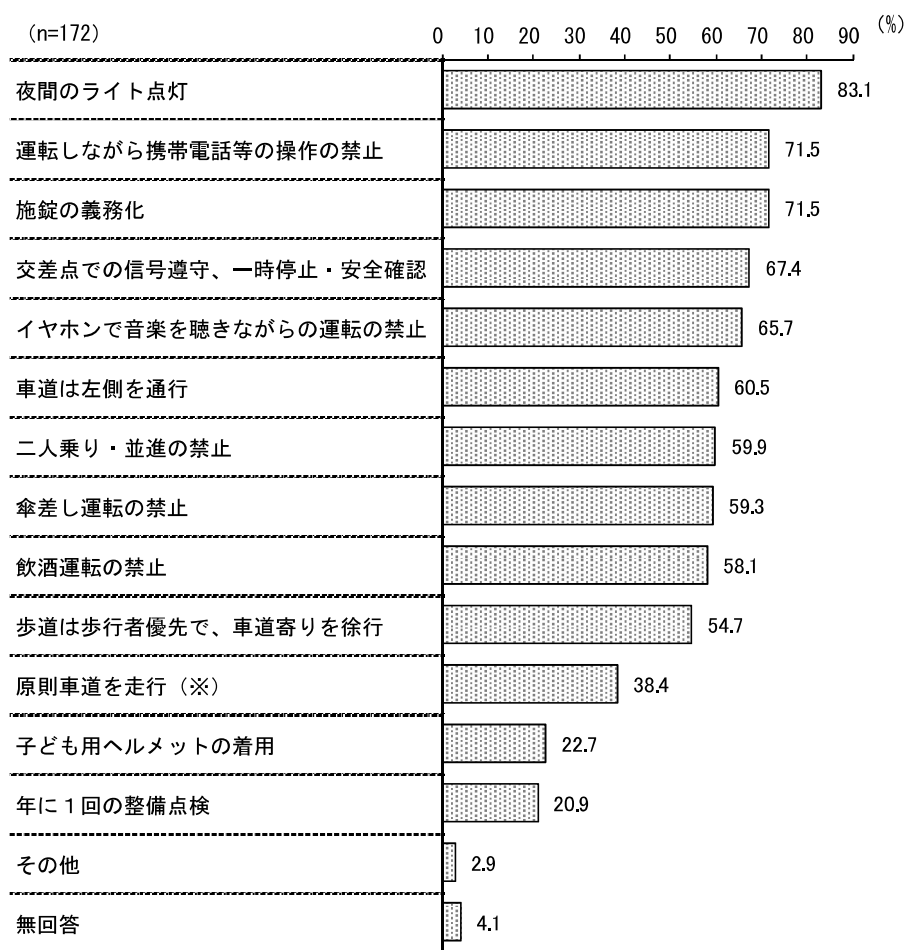


(8) 自転車利用時に守っている交通ルール・マナー

問 20 自転車を利用する際に、守っている交通ルール・マナーをお答えください（〇はいくつでも）。

自転車利用時に守っている交通ルール・マナーとしては、「夜間のライト点灯」が 83.1%で最も高く、次いで「運転しながら携帯電話等の操作の禁止」と「施錠の義務化」がともに 71.5%となっている。

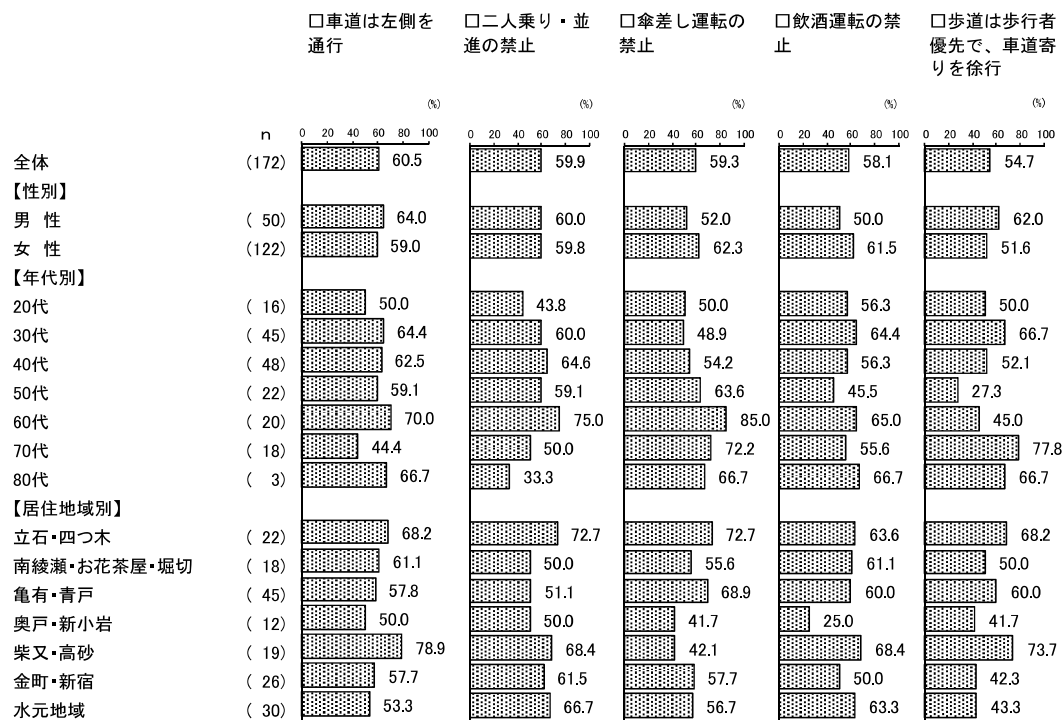
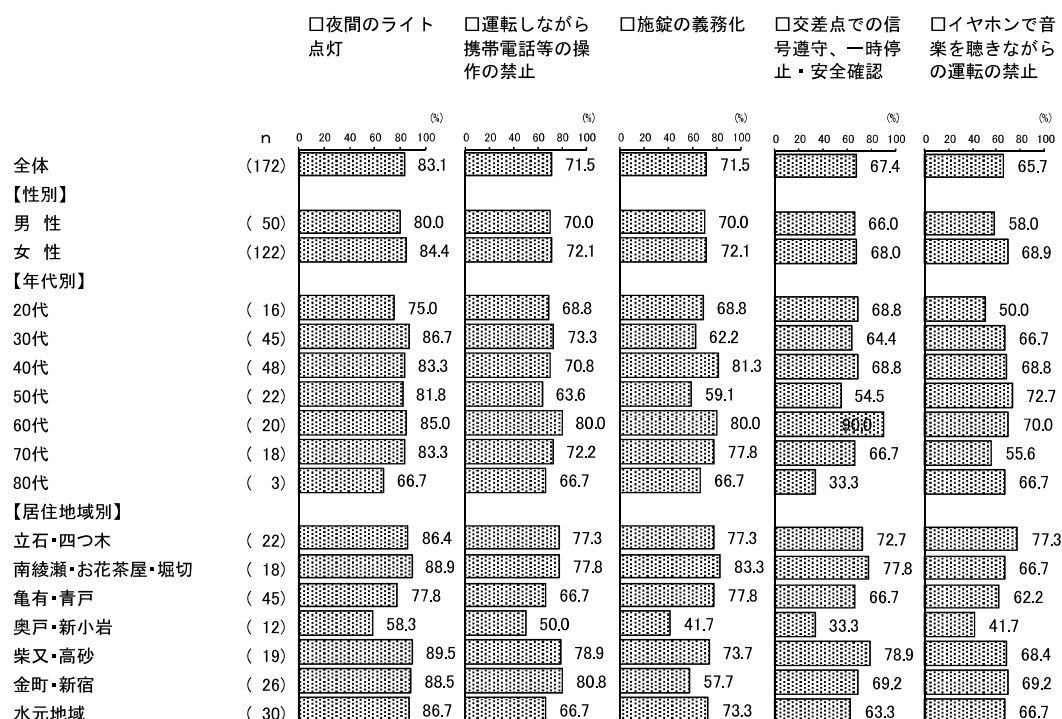
図表-65 自転車利用時に守っている交通ルール・マナー（全体）



(※) 歩道は例外（運転者が13歳未満・70歳以上・身体が不自由な方の場合など）

属性別でみると、「夜間のライト点灯」は、年代別では全ての年代で60%以上と高くなっている。

図表-66 自転車利用時に守っている交通ルール・マナー
(性別・年代別・居住地域別)

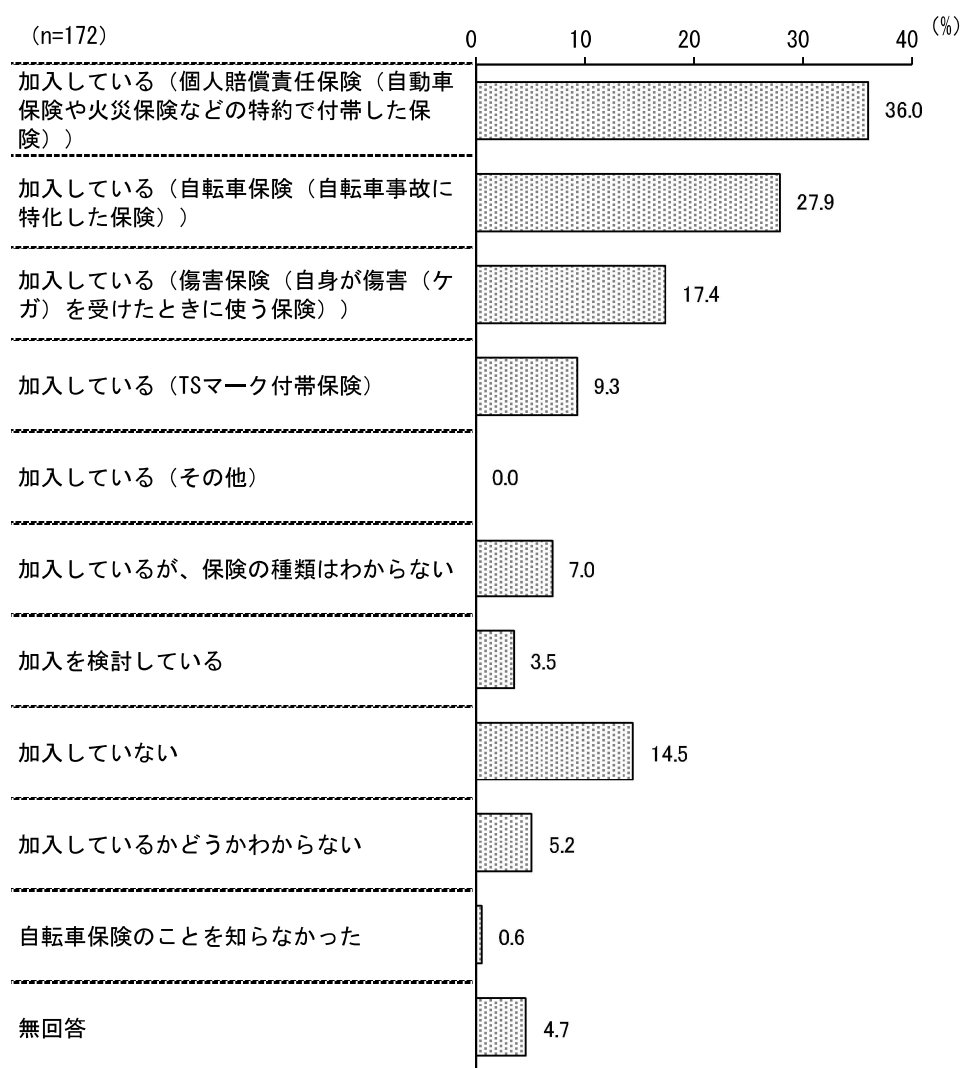


(9) 自転車事故に関する保険の加入状況

問 21 現在の自転車事故に関する保険（ケガや被害者への賠償に対して保障する保険）の加入状況及び加入している場合は保険の種類をお答えください（〇はいくつでも）。

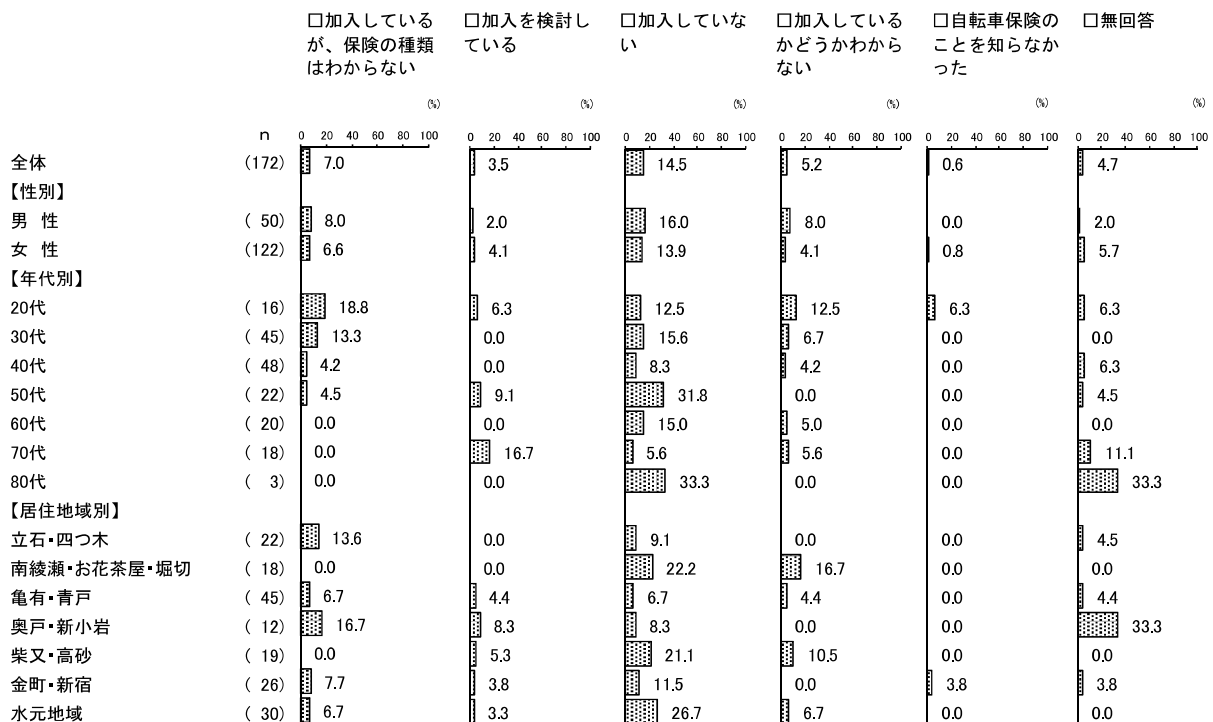
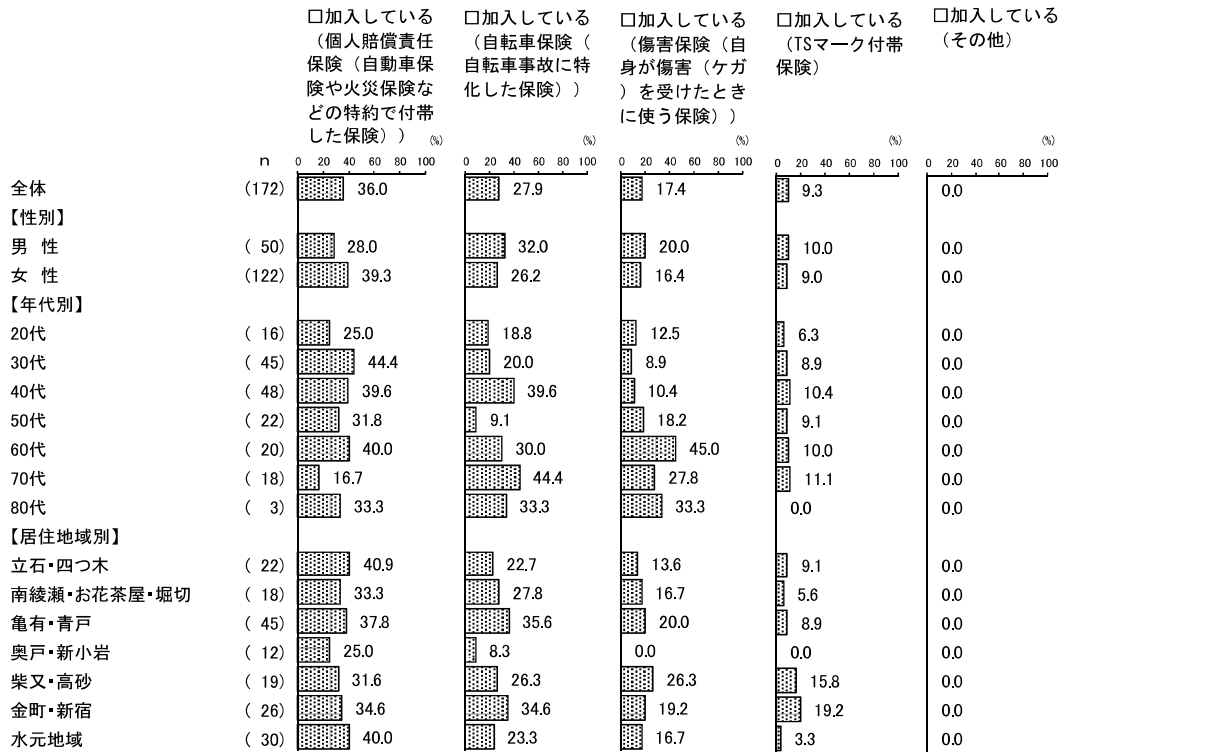
自転車事故に関する保険の加入状況としては、「加入している（個人賠償責任保険（自動車保険や火災保険などの特約で付帯した保険）」が 36.0%で最も高く、次いで「加入している（自転車保険（自転車事故に特化した保険）」が 27.9%、「加入している（傷害保険（自身が傷害（ケガ）を受けたときに使う保険）」が 17.4%となっている。

図表-67 自転車事故に関する保険の加入状況（全体）



属性別でみると、「加入している（個人賠償責任保険（自動車保険や火災保険などの特約で付帯した保険）」は、年代別では30代で44.4%と最も高くなっている。

図表一68 自転車事故に関する保険の加入状況
（性別・年代別・居住地域別）



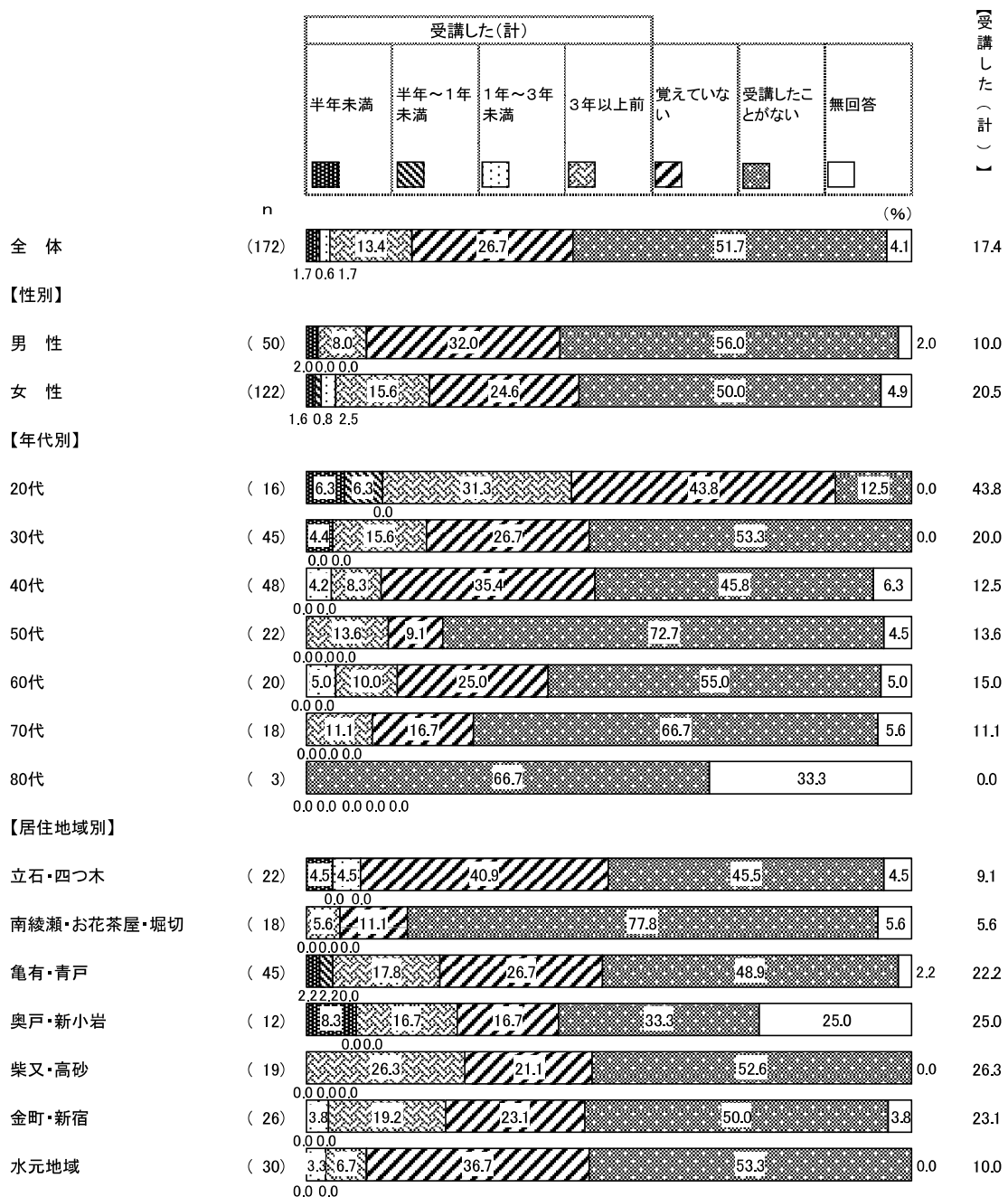
(10) 自転車の交通安全教育の講習の受講時期

問 22 直近で、自転車の交通安全教育の講習を受講したのはいつ頃ですか（○は1つ）。

自転車の交通安全教育の講習の受講時期としては、「半年未満」（1.7%）、「半年～1年未満」（0.6%）、「1年～3年未満」（1.7%）、「3年以上前」（13.4%）を合わせた【受講した（計）】が17.4%となっている。

属性別にみると、【受講した（計）】は、性別では女性で20.5%と高く、年代別では20代で43.8%と最も高くなっている。

図表－69 自転車の交通安全教育の講習の受講時期（全体・性別・年代別・居住地域別）

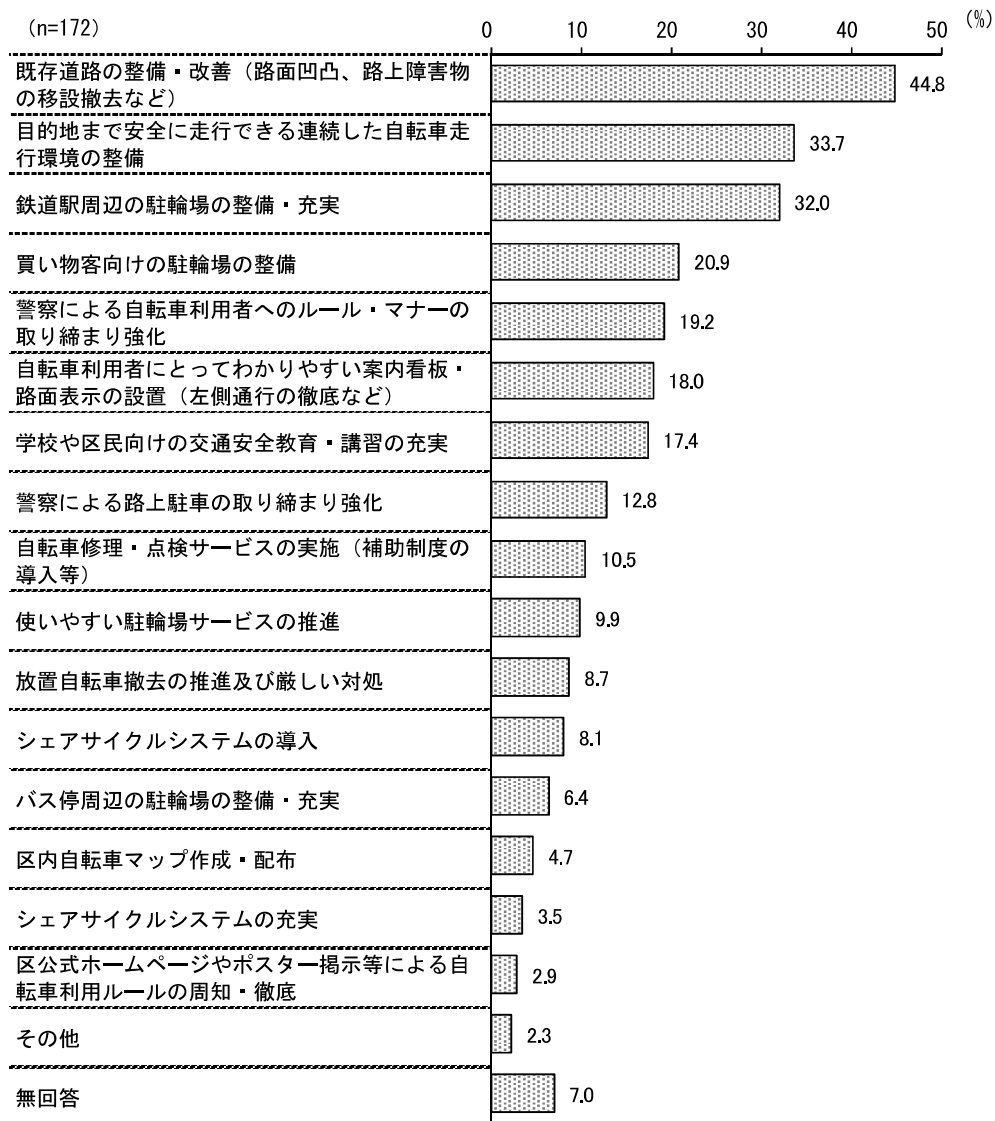


(11) 葛飾区での自転車利用を促進するために必要な取組

問 23 今後、葛飾区における自転車の利用を促進するために、あなたが必要だと考える取組をお答えください（〇は3つまで）。

葛飾区での自転車利用を促進するために必要な取組としては、「既存道路の整備・改善（路面凹凸、路上障害物の移設撤去など）」が44.8%で最も高く、次いで「目的地まで安全に走行できる連続した自転車走行環境の整備」が33.7%、「鉄道駅周辺の駐輪場の整備・充実」が32.0%となっている。

図表－70 葛飾区での自転車利用を促進するために必要な取組（全体）



4. 生涯学習について

(1) 区民の生涯学習について

① 「生涯学習」のイメージ

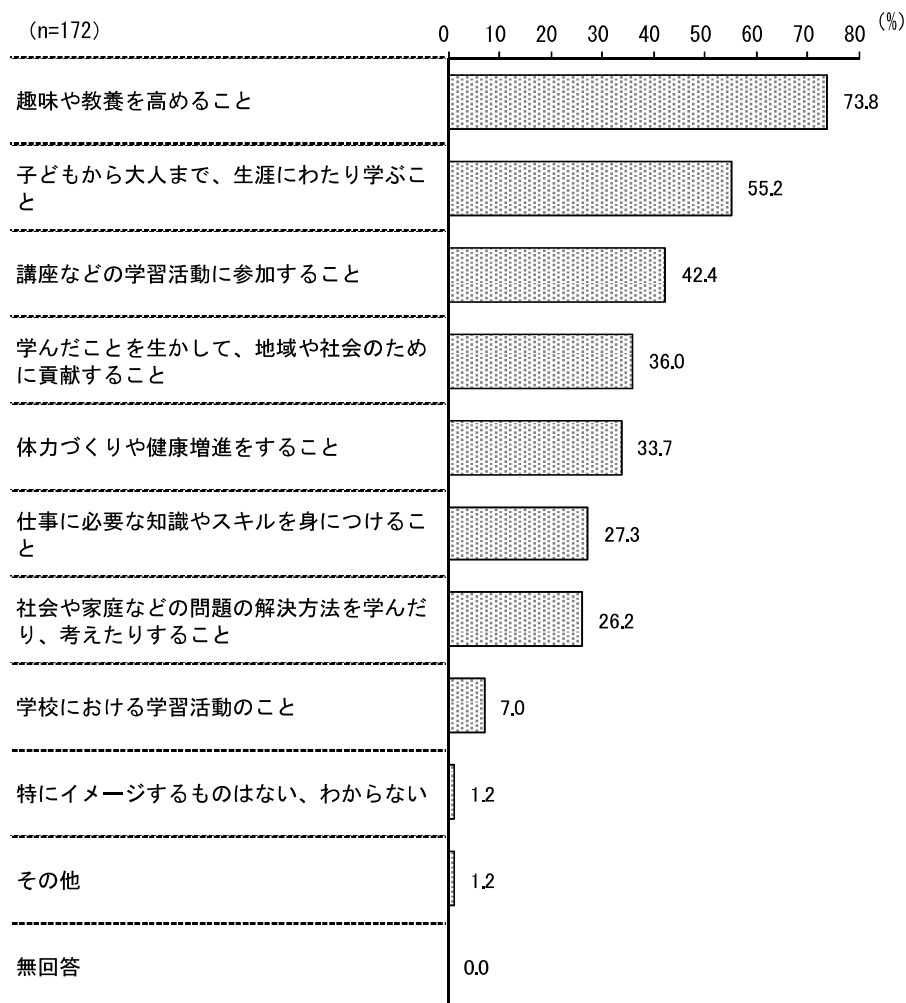
I 区民の生涯学習について

生涯学習とは、皆さんが生涯にわたって行う、学校教育、家庭教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など、いつでも、どこでも自由に行う学習活動のことです。

問 24 あなたは「生涯学習」という言葉から、どのようなイメージを持ちますか（〇はいくつでも）。

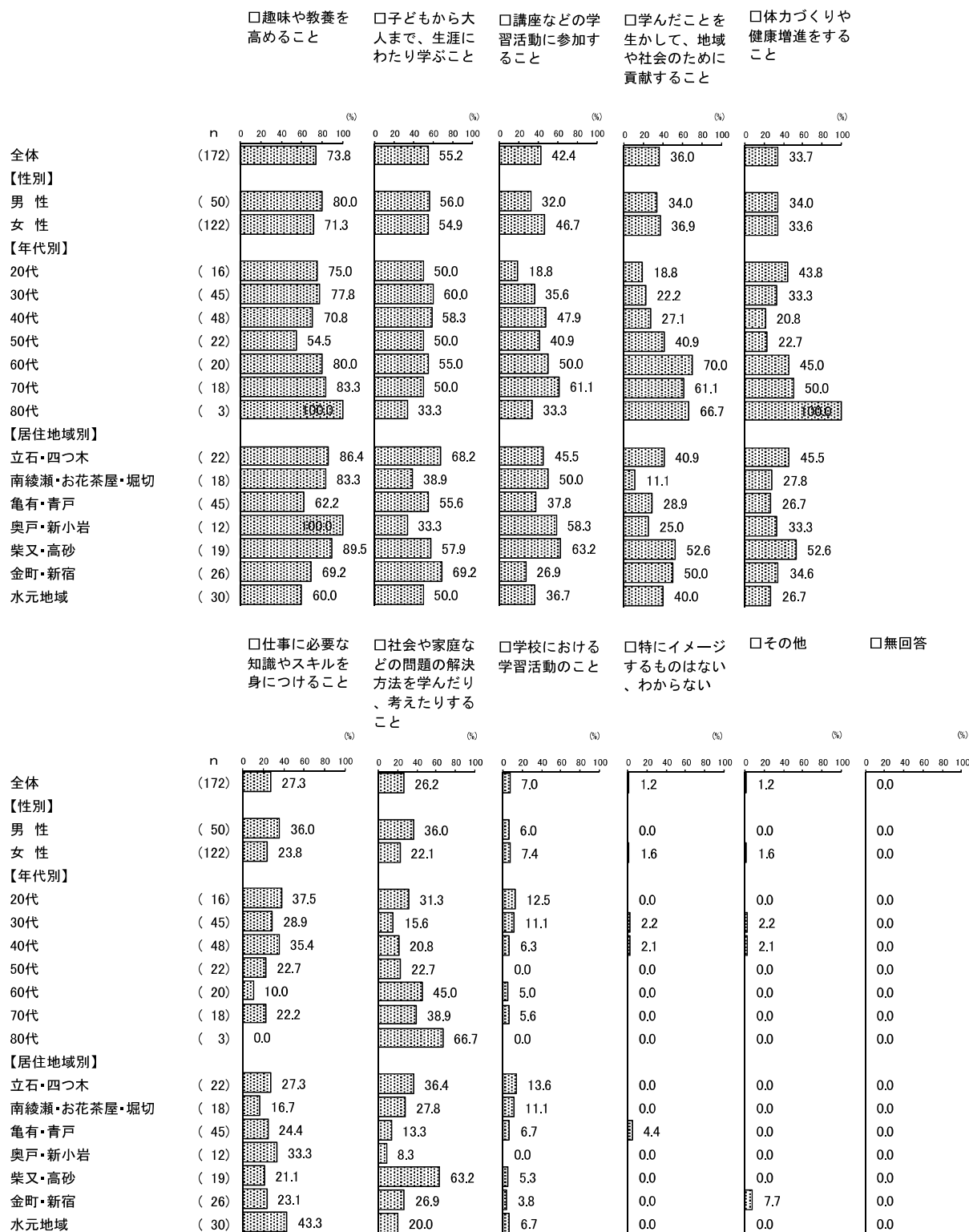
「生涯学習」のイメージとしては、「趣味や教養を高めること」が73.8%で最も高く、次いで「子どもから大人まで、生涯にわたり学ぶこと」が55.2%、「講座などの学習活動に参加すること」が42.4%となっている。

図表-72 「生涯学習」のイメージ（全体）



属性別でみると、「趣味や教養を高めること」は、年代別では60代(80.0%)、70代(83.3%)で高くなっている。

図表-73 「生涯学習」のイメージ
(性別・年代別・居住地域別)

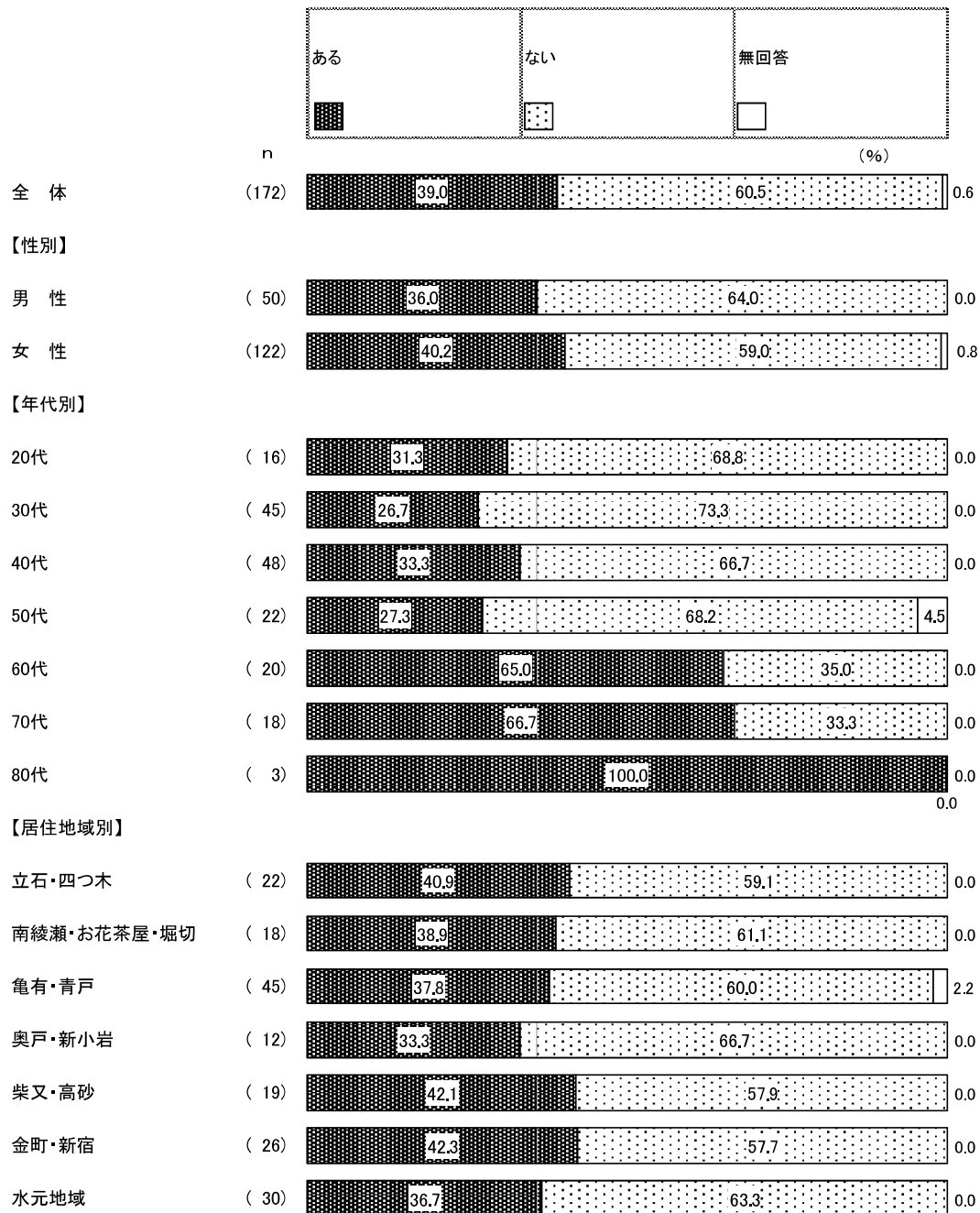


②生涯学習の場への参加経験

問 25 区では多様な学びと交流の機会づくりを支援するため、講座などの開催や区民の自主的な学習の支援を行っています。また、企業や市民団体などでも学びの場が提供されています。あなたは、生涯学習の場に参加したことがありますか（○は1つ）。

生涯学習の場への参加経験は、「ある」が39.0%となっている
 属性別にみると、「ある」は、年代別では60代（65.0%）、70代（66.7%）で高くなっている。

図表－74 生涯学習の場への参加経験（全体・性別・年代別・居住地域別）



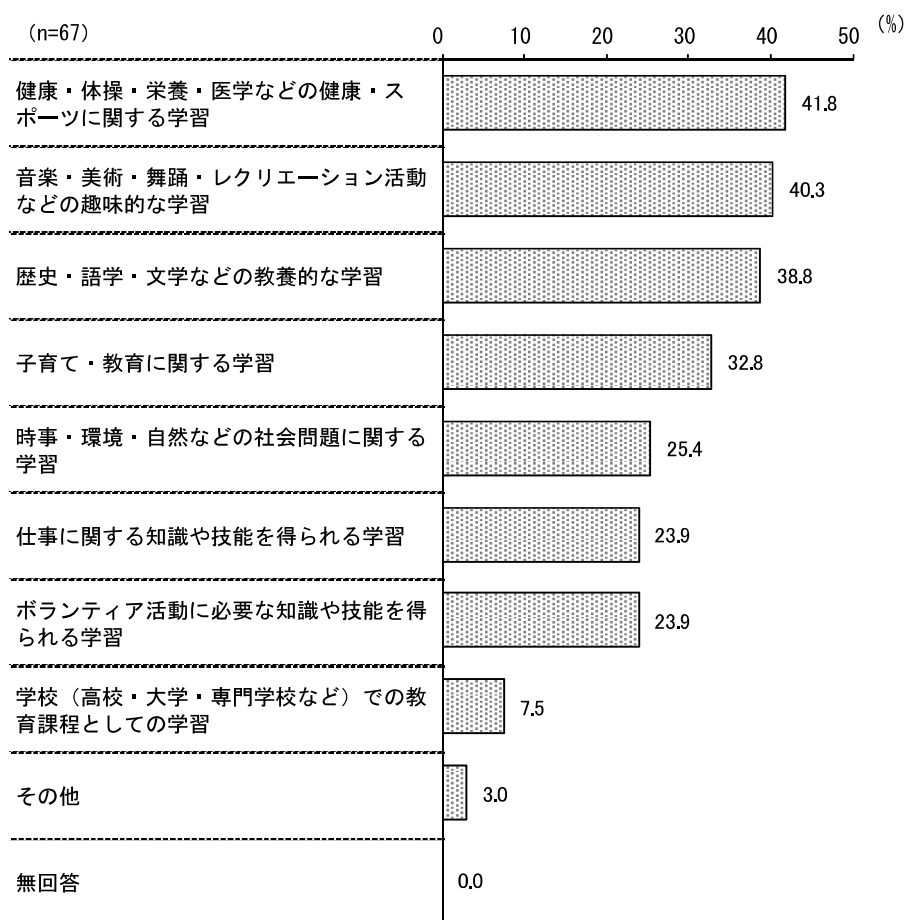
③参加した学習活動の内容

(問 25 で「1. ある」を選択した方にお伺いします。)

問 26 あなたは、どのような内容の学習活動に参加したことがありますか(○はいくつでも)。

参加した学習活動の内容としては、「健康・体操・栄養・医学などの健康・スポーツに関する学習」が41.8%で最も高く、次いで「音楽・美術・舞踊・レクリエーション活動などの趣味的な学習」が40.3%、「歴史・語学・文学などの教養的な学習」が38.8%となっている。

図表-75 参加した学習活動の内容 (全体)



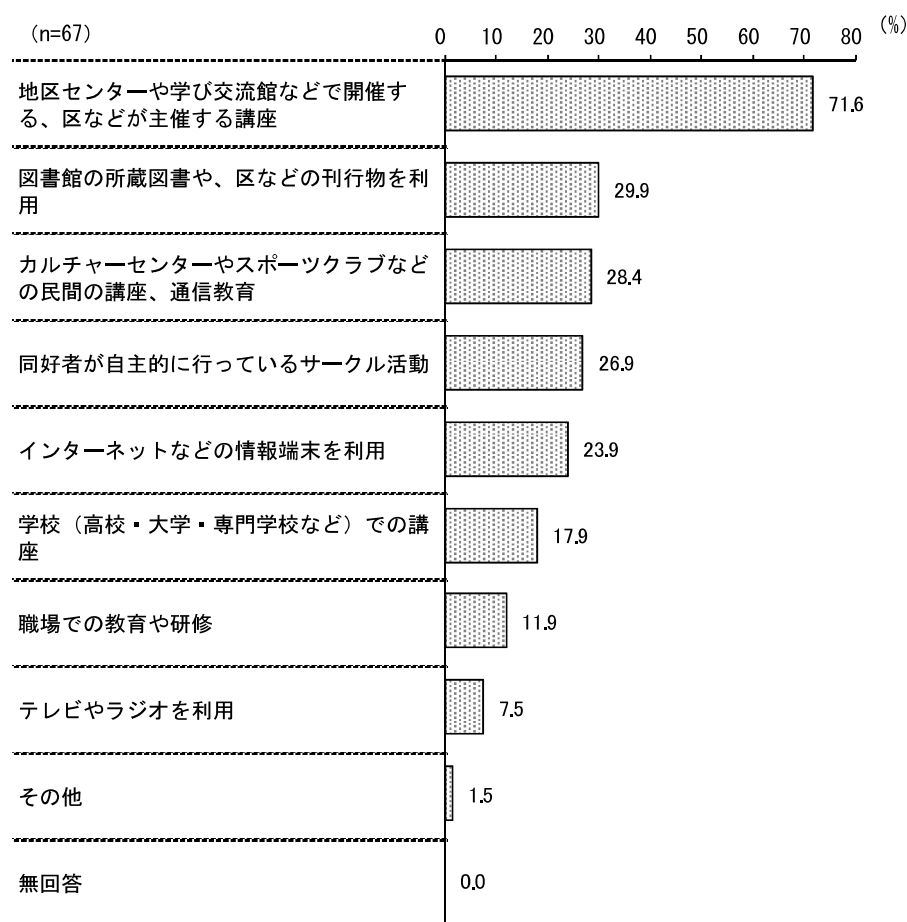
④行っている生涯学習の場所や形態

(問 25 で「1. ある」を選択した方にお伺いします。)

問 27 あなたは、どのような場所や形態で生涯学習を行っていますか (〇はいくつでも)。

行っている生涯学習の場所や形態としては、「地区センターや学び交流館などで開催する、区などが主催する講座」が 71.6%で最も高く、次いで「図書館の所蔵図書や、区などの刊行物を利用」が 29.9%、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座、通信教育」が 28.4%となっている。

図表-76 行っている生涯学習の場所や形態 (全体)



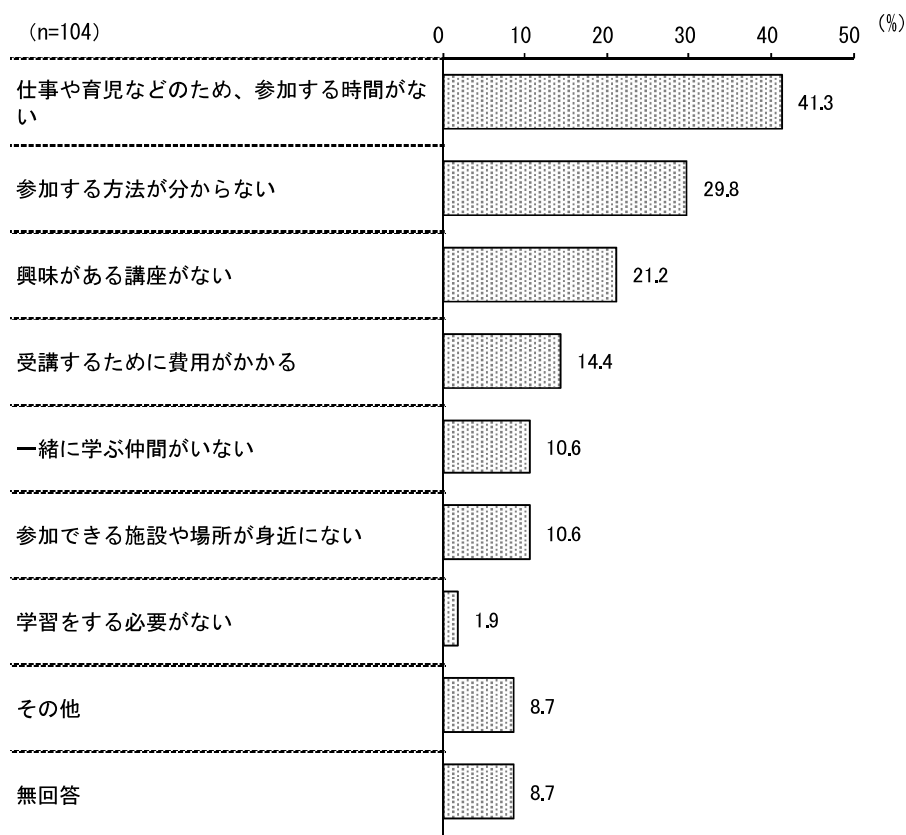
⑤生涯学習活動に参加したことがない理由

(問 25 で「2. ない」を選択した方にお伺いします。)

問 28 生涯学習活動に参加したことがない理由は何ですか (〇はいくつでも)。

生涯学習活動に参加したことがない理由としては、「仕事や育児などのため、参加する時間がない」が 41.3%で最も高く、次いで「参加する方法が分からない」が 29.8%、「興味がある講座がない」が 21.2%となっている。

図表-77 生涯学習活動に参加したことがない理由 (全体)



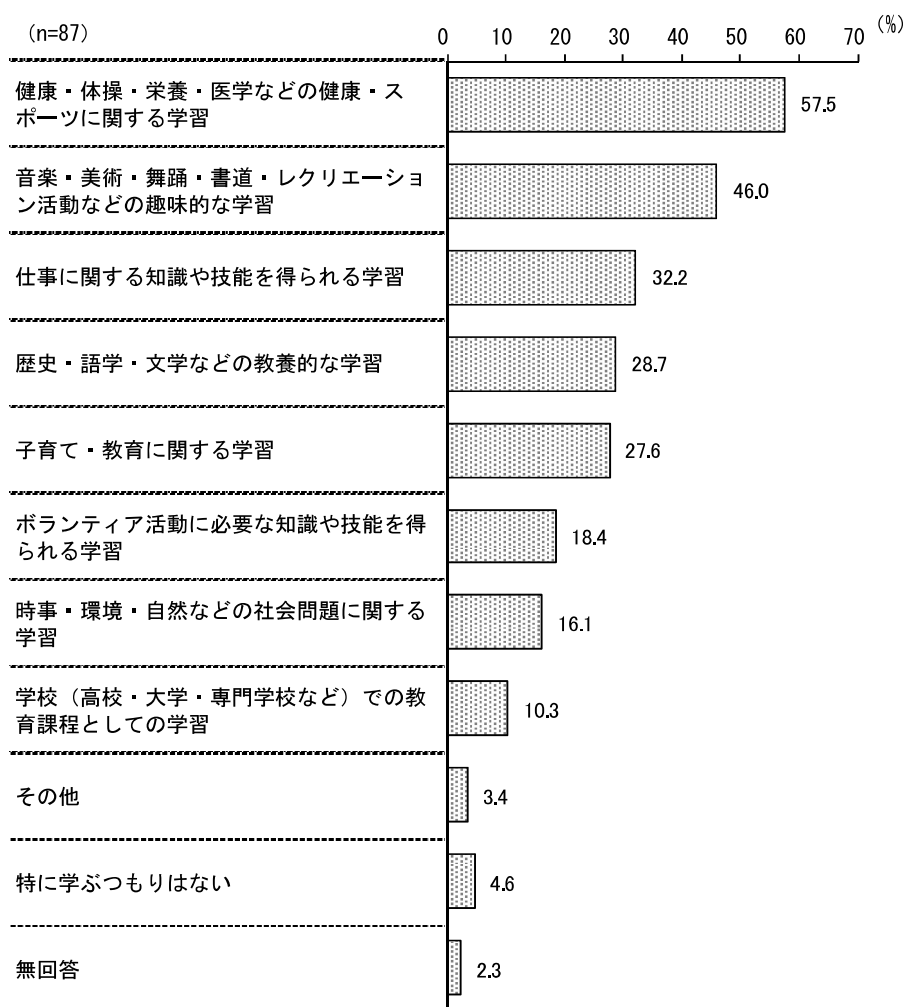
⑥生涯学習活動未経験者の学んでみたい分野

(問 28 で「1」～「6」を選択した方にお伺いします。)

問 29 問 28 で答えた参加したことがない理由が解消されたときに、学んでみたい分野はありますか (〇はいくつでも)。

生涯学習活動未経験者の学んでみたい分野としては、「健康・体操・栄養・医学などの健康・スポーツに関する学習」が 57.5%で最も高く、次いで「音楽・美術・舞踊・書道・レクリエーション活動などの趣味的な学習」が 46.0%、「仕事に関する知識や技能を得られる学習」が 32.2%となっている。

図表一78 生涯学習活動未経験者の学んでみたい分野 (全体)

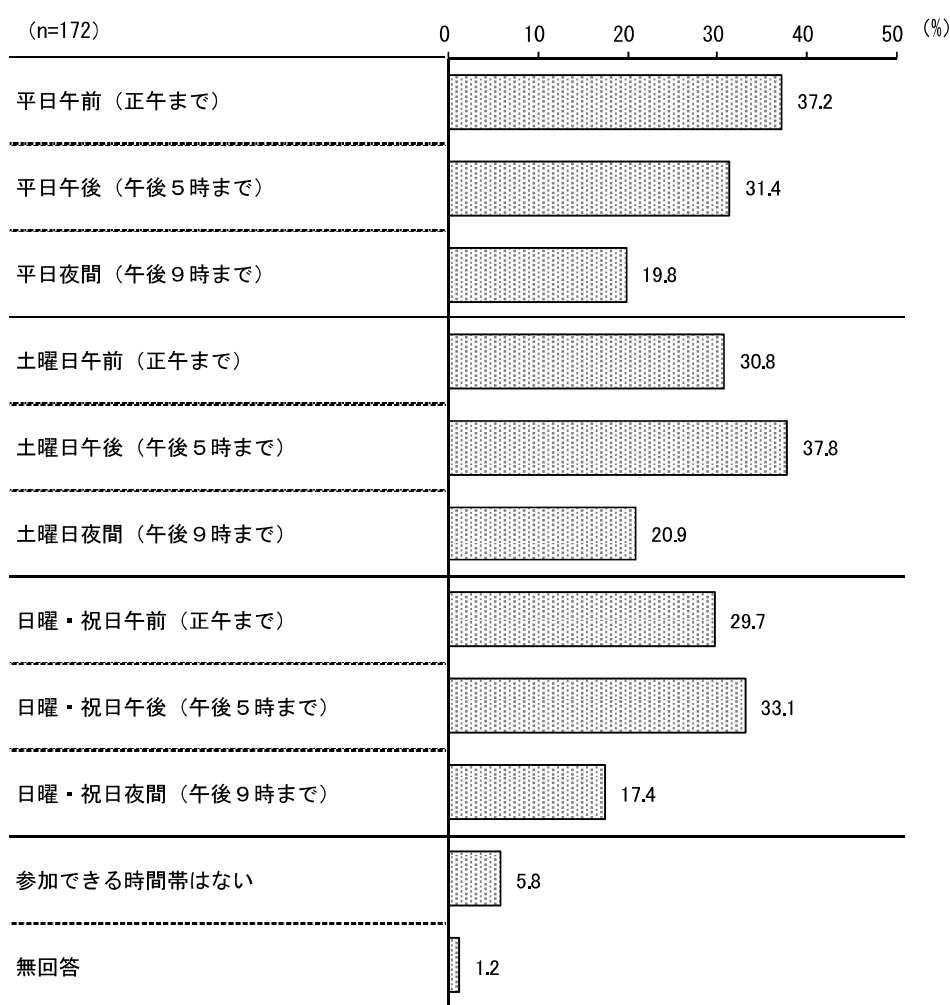


⑦生涯学習に参加する場合の希望日・時間帯

問 30 あなたが生涯学習に参加をする場合、ご都合のいい日程・時間帯はいつですか（〇は
いくつでも）。

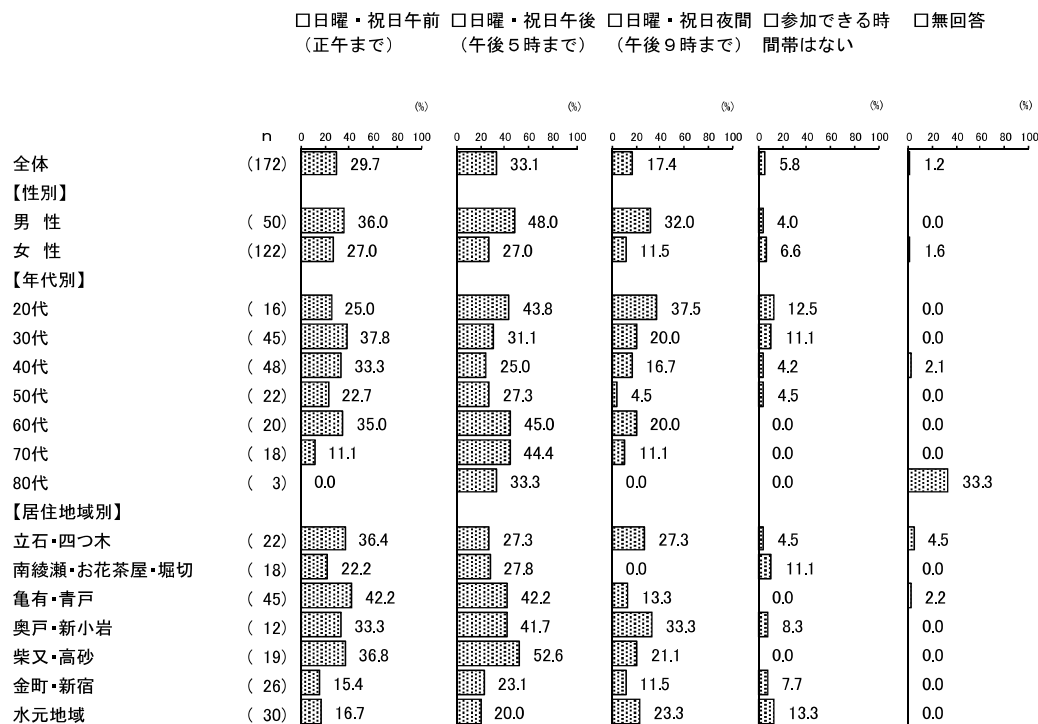
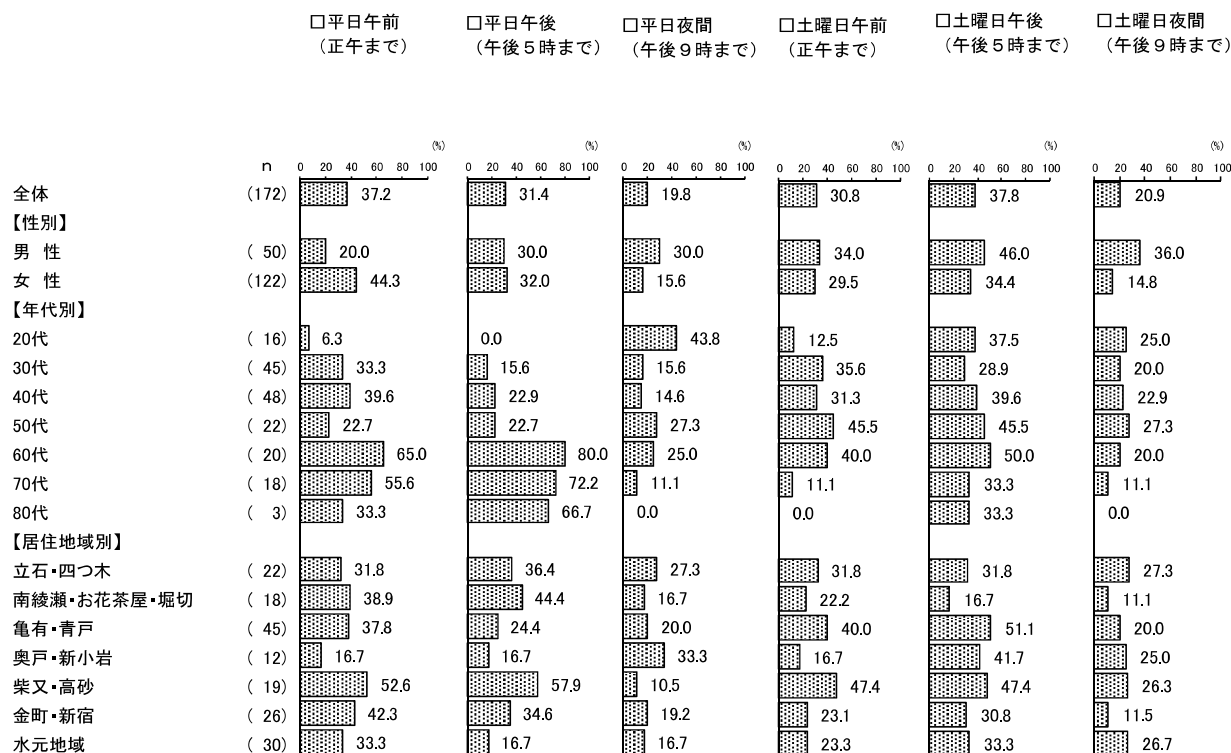
生涯学習に参加する場合の希望日・時間帯としては、「土曜日午後（午後5時まで）」が37.8%で最も高く、次いで「平日午前（正午まで）」が37.2%、「日曜・祝日午後（午後5時まで）」が33.1%となっている。

図表一79 生涯学習に参加する場合の希望日・時間帯（全体）



属性別で見ると、全体で上位にあげられた「土曜日午後（午後5時まで）」、「平日午前（正午まで）」、「日曜・祝日午後（午後5時まで）」のいずれも、年代別では60代が最も高くなっている。

図表-80 生涯学習に参加する場合の希望日・時間帯
(性別・年代別・居住地域別)



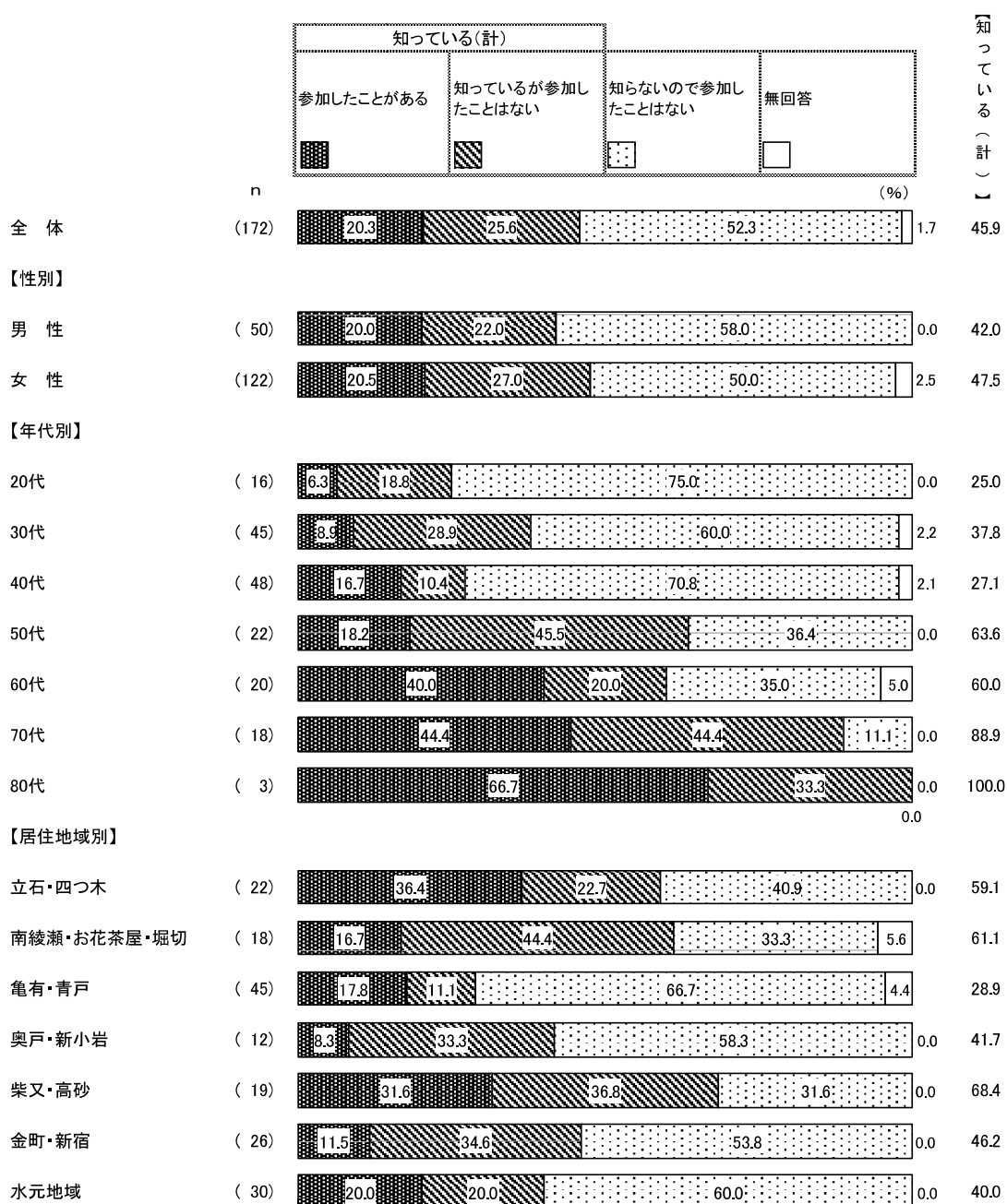
⑧ 「かつしか区民大学」への参加経験

問 31 葛飾区では、「一人ひとりが輝く、学びと交流による人づくり、まちづくり」の実現のため、「かつしか区民大学」として、様々な講座を開催しています。参加されたことはありますか（○は1つ）。

「かつしか区民大学」への参加経験は、「参加したことがある」が20.3%となっており、「知っているが参加したことはない」（25.6%）を合わせた【知っている（計）】は45.9%となっている。

属性別にみると、「参加したことがある」は、年代別では60代（40.0%）、70代（44.4%）で高くなっている。

図表-81 「かつしか区民大学」への参加経験（全体・性別・年代別・居住地域別）

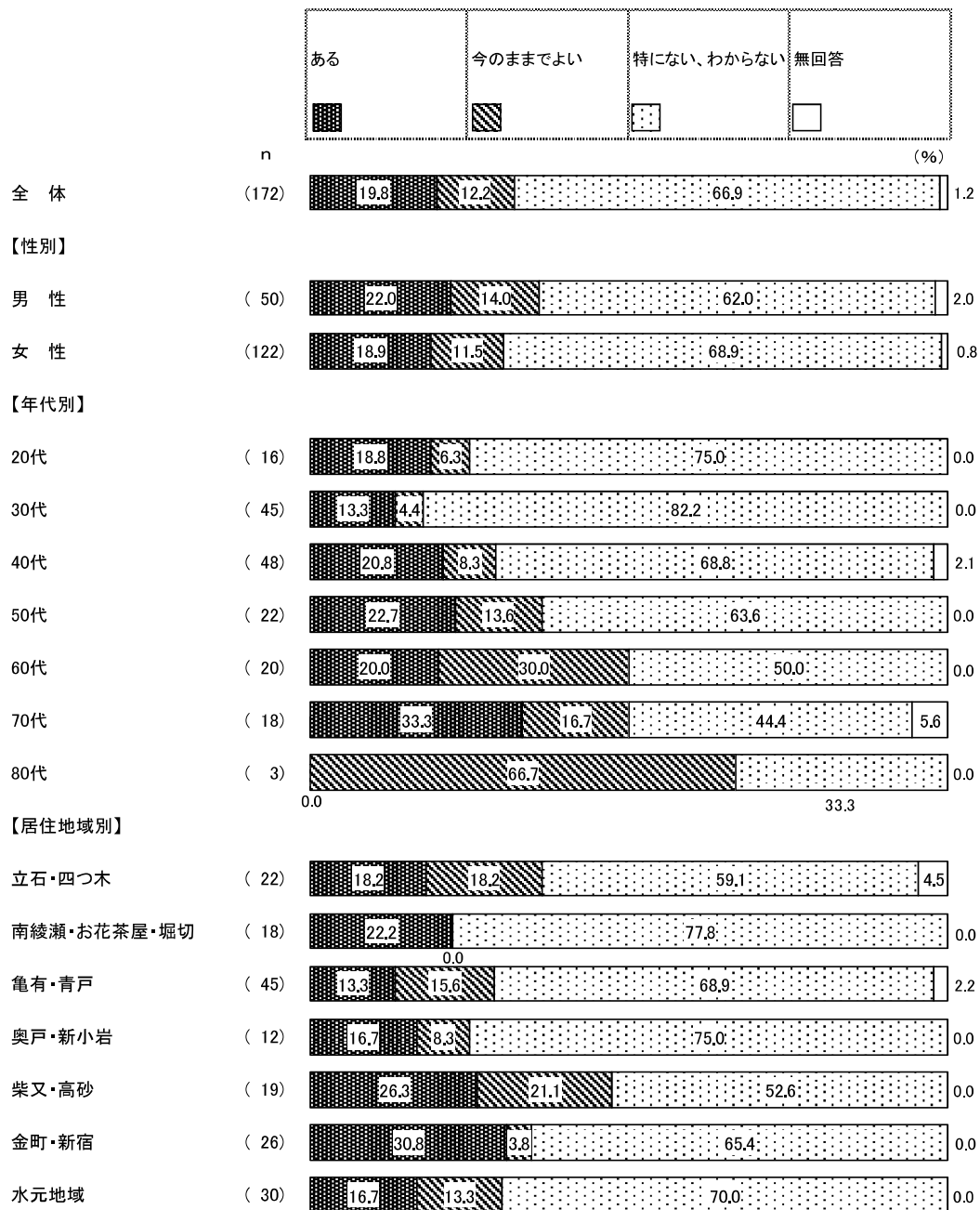


⑨ 「かつしか区民大学」で学んでみたい内容の有無

問 32 「かつしか区民大学」などで学んでみたい内容はありますか（○は1つ）。

「かつしか区民大学」で学んでみたい内容の有無では、「ある」が19.8%となっている。属性別にみると、「ある」は、年代別では70代で33.3%と最も高くなっている。

図表-82 「かつしか区民大学」で学んでみたい内容の有無（全体・性別・年代別・居住地域別）



(学んでみたい内容が「ある」と回答した方の具体的な内容 (自由記述))

- 親の教育への知識 (進路や子どもへの教育方法) (金町・新宿/40代/男性)
- 歴史、地理 (柴又・高砂/70代/男性)
- 区内の歴史 (奥戸・新小岩/70代/女性)
- 外国語や外国文化 (亀有・青戸/20代/女性)
- 歴史、文学 (金町・新宿/70代/女性)
- 語学 (中国語、英語など) (柴又・高砂/30代/女性) (金町・新宿/50代/男性)
- 文化 (金町・新宿/30代/女性)
- 民謡、おわら踊り (富山風の盆での盆踊り)、
健康、美容に関するもの、カメラ (一眼レフ) の写し方等 (亀有・青戸/50代/女性)
- 鉄道関連 (亀有・青戸/70代/女性)
- 健康、生活に役立つ情報 (立石・四つ木/40代/女性)
- 障害者や高齢者等、社会的弱者に寄り添う共生社会 (立石・四つ木/60代/女性)
- IT 関連 (柴又・高砂/70代/男性)
- エッセイ講座 (亀有・青戸/40代/女性)
- 英語、AED の使い方 (南綾瀬・お花茶屋・堀切/30代/女性)
- 最新技術動向、環境保全 (水元地域/40代/男性)
- 学校ボランティア (水元地域/40代/女性)
- 正しいドローンの飛ばし方 (立石・四つ木/40代/男性)
- 防災講座 (立石・四つ木/60代/女性)
- 英会話 (金町・新宿/40代/女性)
- 実務的なエクセル講座 (南綾瀬・お花茶屋・堀切/40代/男性)
- 日本史、特に戦国時代 (柴又・高砂/70代/男性)
- アドラー心理学 (奥戸・新小岩/30代/女性)
- 化学物質の人体への影響、香害を知る講座 (亀有・青戸/30代/男性)
- 講座のネット視聴 (金町・新宿/20代/男性)
- やさしい哲学、社会のしくみ (社会の中で生きること) (金町・新宿/60代/女性)
- 介護 (金町・新宿/50代/女性)
- 人口の割合、具体的な区の理想 (水元地域/20代/女性)
- 子どもの権利条約 (南綾瀬・お花茶屋・堀切/30代/女性)

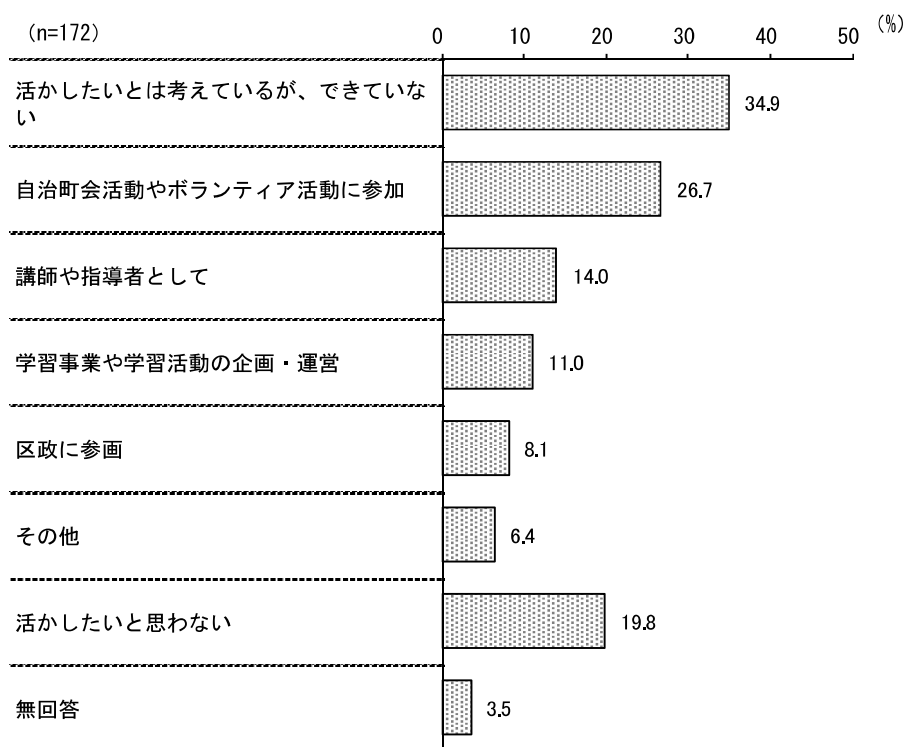
⑩生涯学習で学んだ知識や技能の活用状況・活用意向

問 33 あなたは、生涯学習で学んだ知識や技能を、どのような活動に活かしていますか。また、活かしてみたいと考えていますか（○はいくつでも）。

生涯学習で学んだ知識や技能の活用状況・活用意向では、「活かしたいとは考えているが、できていない」が34.9%で最も高く、次いで「自治町会活動やボランティア活動に参加」が26.7%、「講師や指導者として」が14.0%となっている。

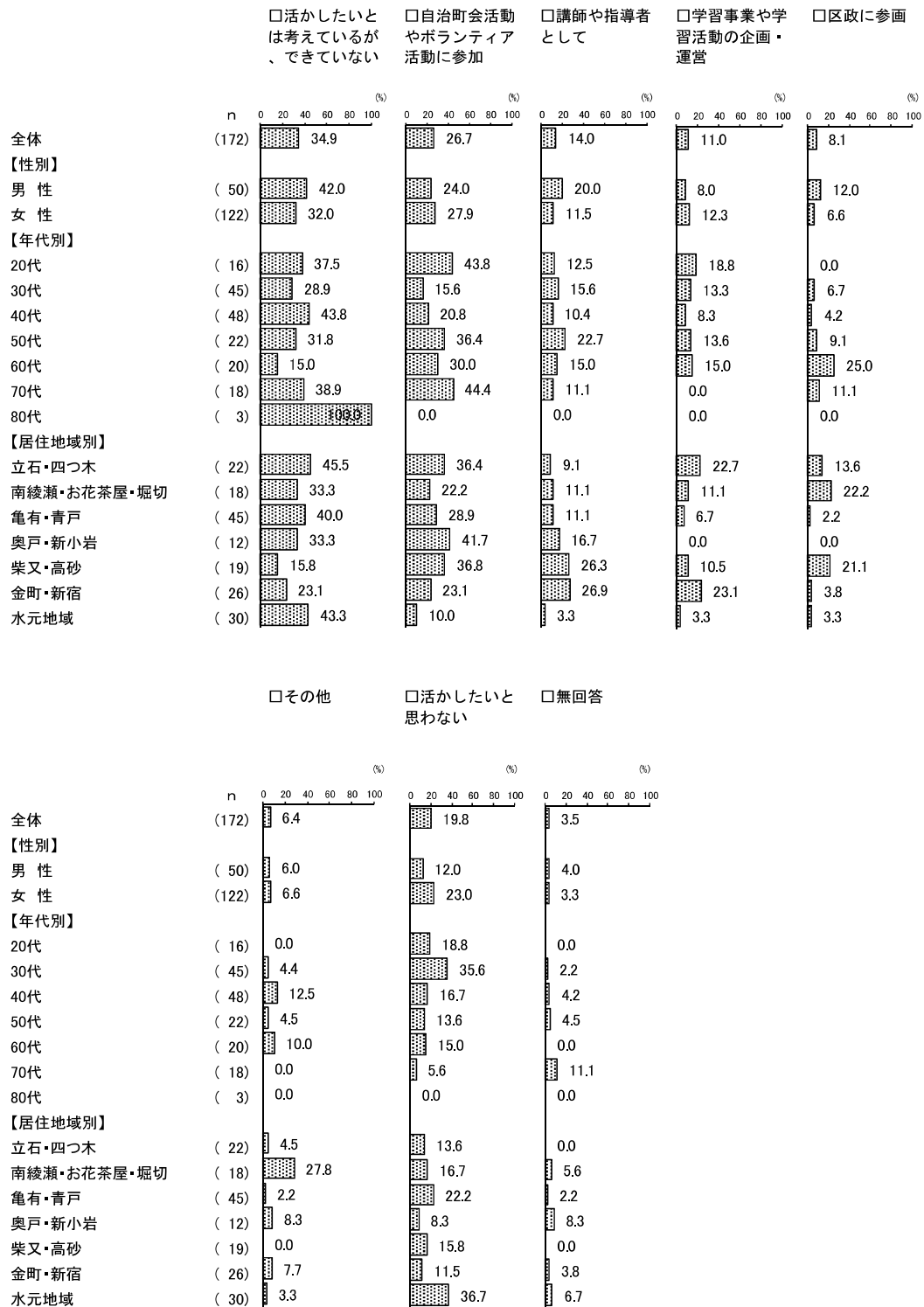
一方で、「活かしたいと思わない」は19.8%となっている。

図表－83 生涯学習で学んだ知識や技能の活用状況・活用意向（全体）



属性別でみると、「活かしたいとは考えているが、できていない」は、年代別では40代で43.8%と高くなっている。

図表-84 生涯学習で学んだ知識や技能の活用状況・活用意向
(性別・年代別・居住地域別)



(2) 郷土と天文の博物館について

① 「郷土と天文の博物館」の講座や催しの参加経験

Ⅱ 郷土と天文の博物館について

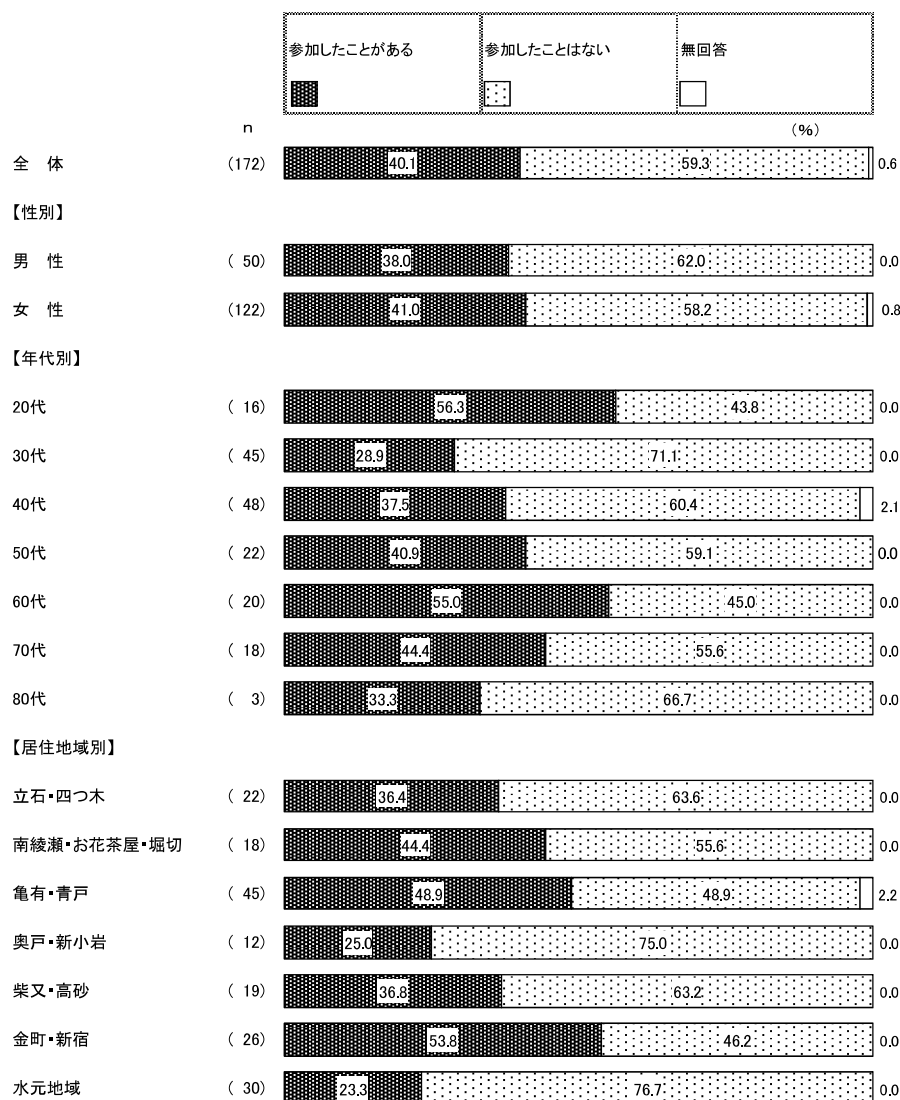
葛飾区郷土と天文の博物館では、郷土かつしかの歴史や民俗などの貴重な資料を展示しています。また、天文に関する展示やプラネタリウムなどがあり、様々な講座や催しなどを行っています。

問 34 あなたは、「郷土と天文の博物館」で行われる講座や催しに参加したことはありますか（○は1つ）。

「郷土と天文の博物館」の講座や催しの参加経験では、「参加したことがある」が40.1%となっている。

属性別にみると、「ある」は、年代別では20代で56.3%、60代で55.0%と高くなっており、居住地区別では金町・新宿で53.8%と最も高くなっている。

図表-85 「郷土と天文の博物館」の講座や催しの参加経験（全体・性別・年代別・居住地域別）

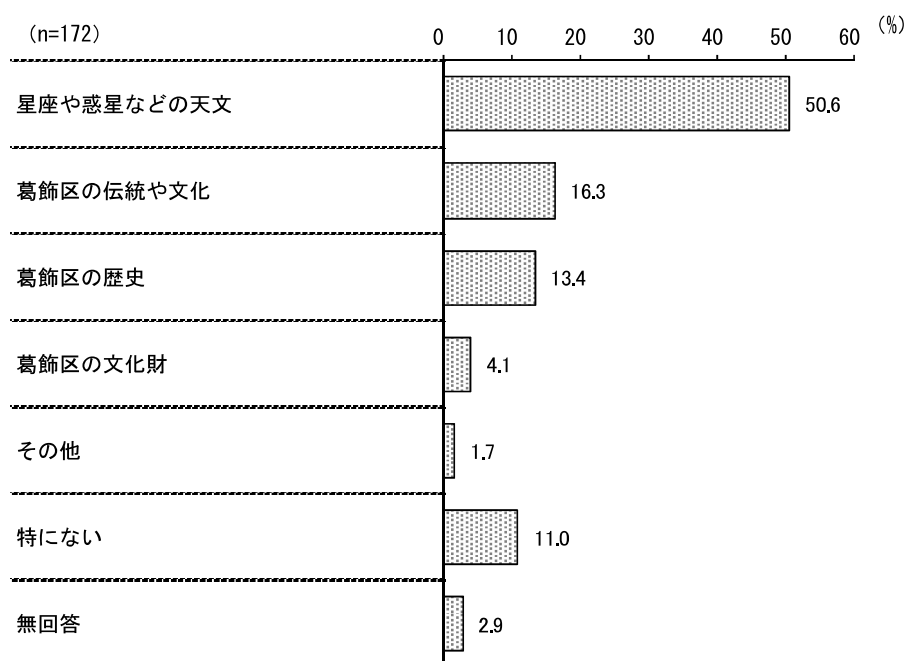


②「郷土と天文の博物館」の講座や体験事業で参加したいテーマ

問35 「郷土と天文の博物館」では、講座や体験事業を開催しています。あなたは、どのようなテーマに参加したいと思いますか（○は1つ）。

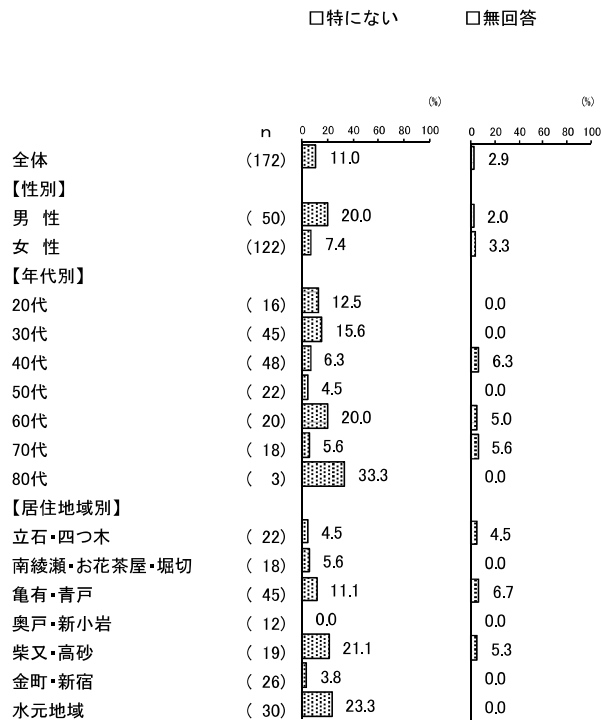
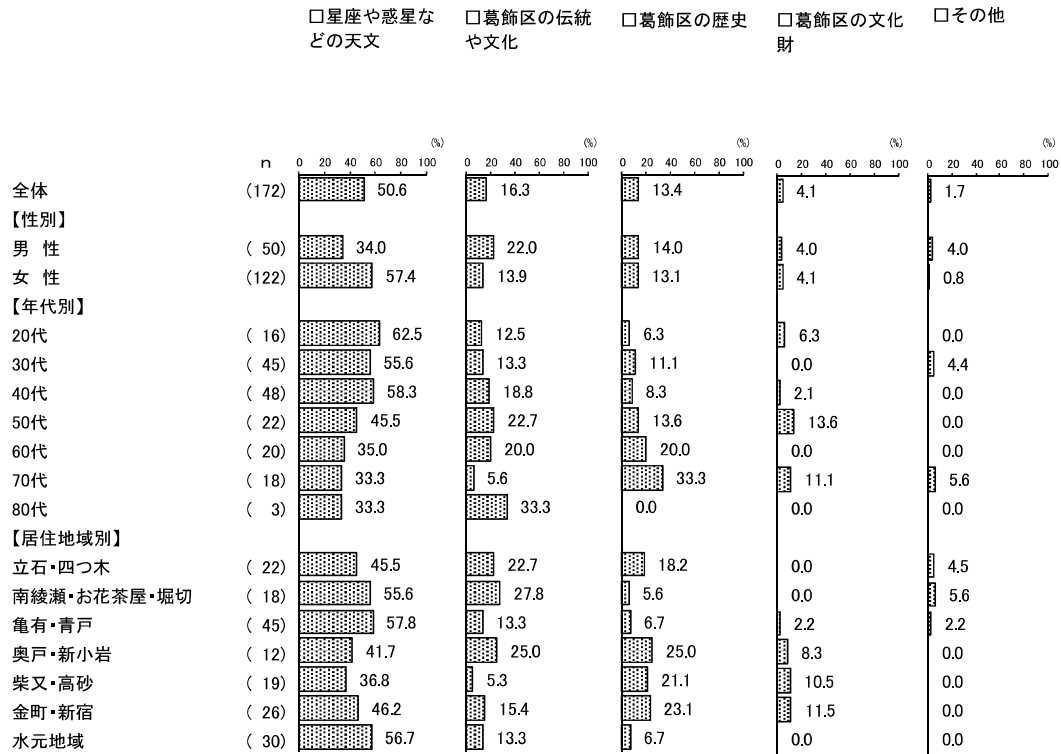
「郷土と天文の博物館」の講座や体験事業で参加したいテーマとしては、「星座や惑星などの天文」が50.6%で最も高く、次いで「葛飾区の伝統や文化」が16.3%、「葛飾区の歴史」が13.4%となっている。

図表一86 「郷土と天文の博物館」の講座や体験事業で参加したいテーマ（全体）



属性別でみると、「星座や惑星などの天文」は、年代別では 20 代で 62.5%と最も高く、次いで 40 代で 58.3%、30 代で 55.6%となっている。

図表-87 「郷土と天文の博物館」の講座や体験事業で参加したいテーマ
(性別・年代別・居住地域別)

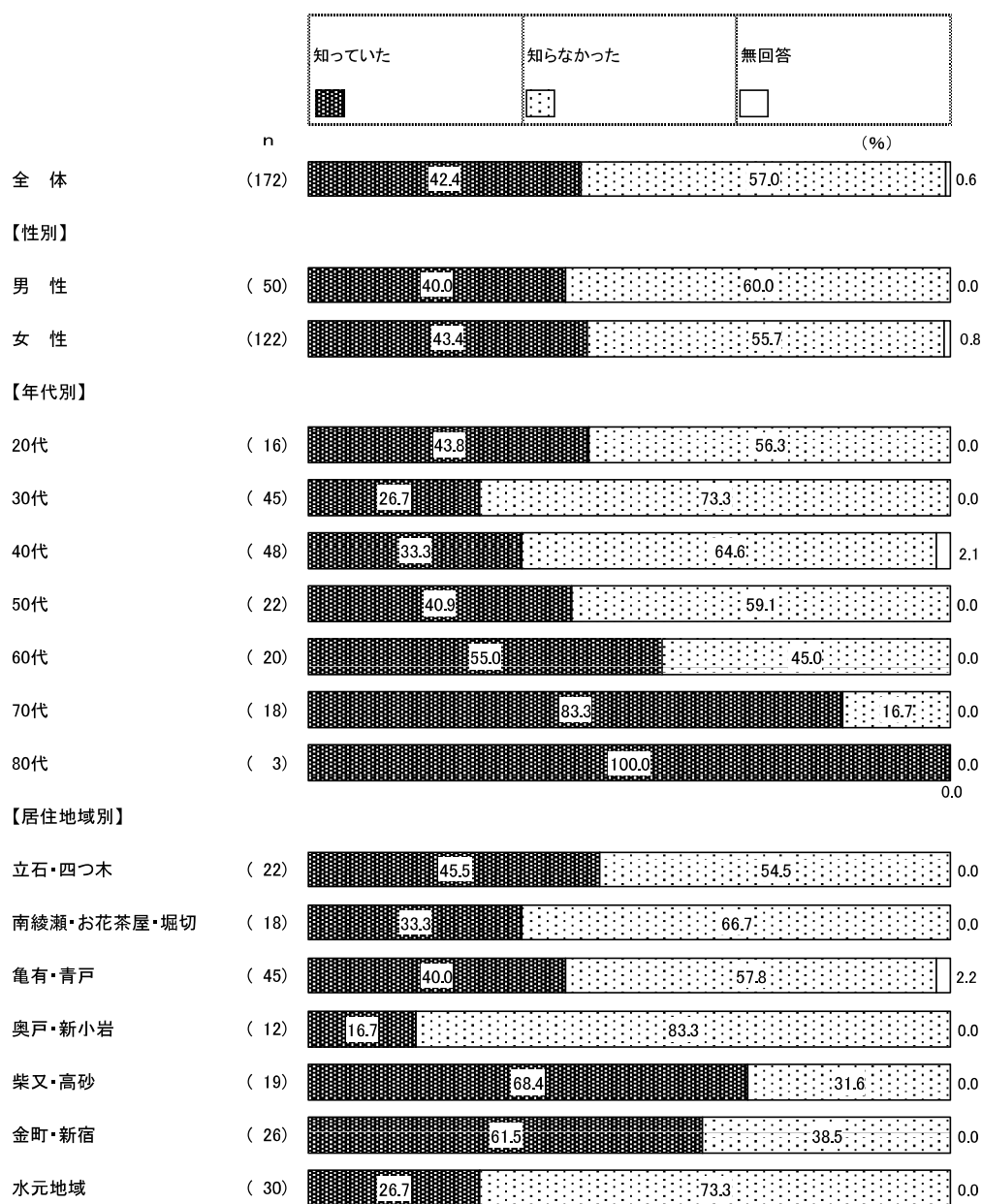


③柴又地域が重要文化的景観に選定されたことの認知

問36 葛飾区の柴又地域は、平成30年2月13日に都内で初めて、国の重要文化的景観に選定されました。ご存じでしたか（○は1つ）。

柴又地域が重要文化的景観に選定されたことの認知では、「知っていた」が42.4%となっている。属性別にみると、「知っていた」は、年代別では、70代で83.3%と高くなっており、居住地域別では柴又・高砂で68.4%と最も高くなっている。

図表-88 柴又地域が重要文化的景観に選定されたことの認知（全体・性別・年代別・居住地域別）



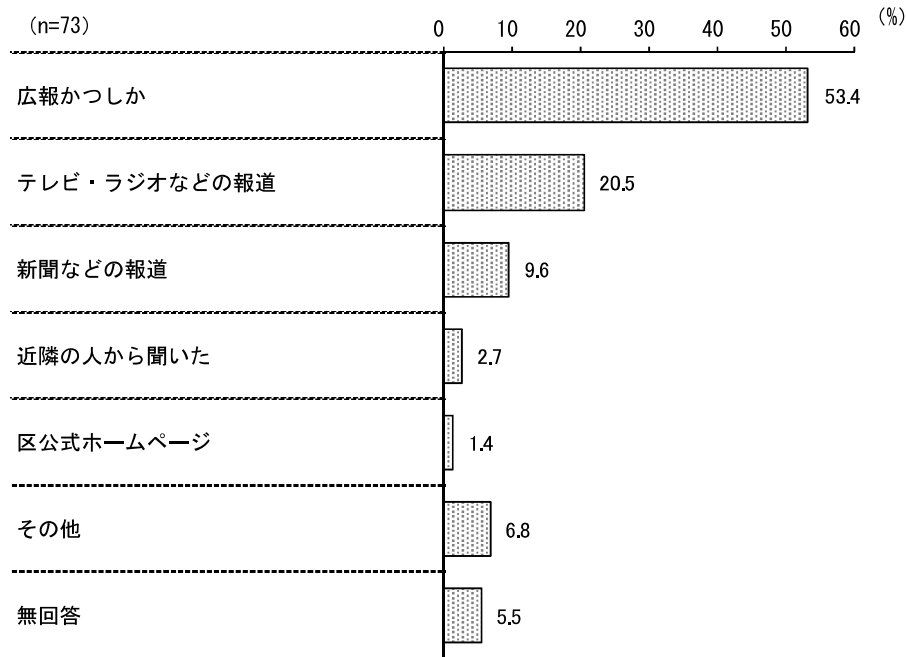
④柴又地域の重要文化的景観選定の認知経路

(問 36 で「1. 知っていた」を選択した方にお伺いします。)

問 37 葛飾区の柴又地域が文化的景観に選定されたことを何で知りましたか (○は1つ)。

柴又地域の重要文化的景観選定の認知経路では、「広報かつしか」が53.4%で最も高く、次いで「テレビ・ラジオなどの報道」が20.5%、「新聞などの報道」が9.6%となっている。

図表—89 柴又地域の重要文化的景観選定の認知経路 (全体)



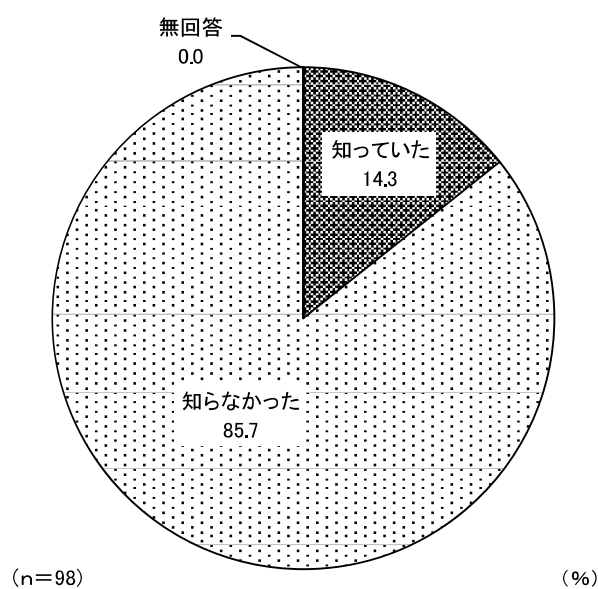
⑤ 「文化的景観」の認知

(問 36 で「2. 知らなかった」を選択した方にお伺いします。)

問 38 文化的景観は、有形文化財や無形文化財と同じ文化財の一つです。文化的景観について、あなたはご存じでしたか (○は1つ)。

「文化的景観」の認知では、「知っていた」が 14.3% となっている。

図表-90 「文化的景観」の認知 (全体)

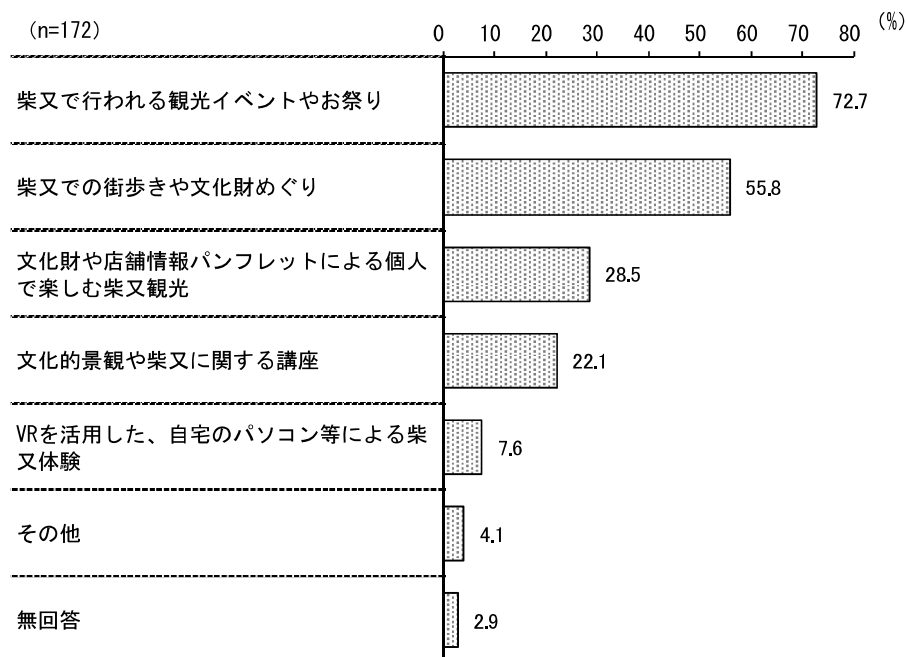


⑥柴又の魅力のPR事業で参加したいと思うもの

問39 文化的景観に選定された柴又の魅力をPRするため、様々な事業を実施しております。
あなたが参加したいと思うものはどれですか（〇はいくつでも）。

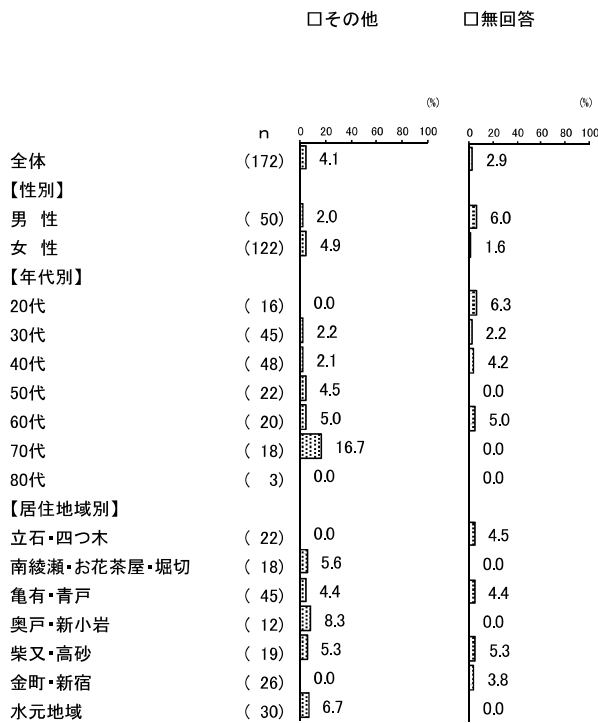
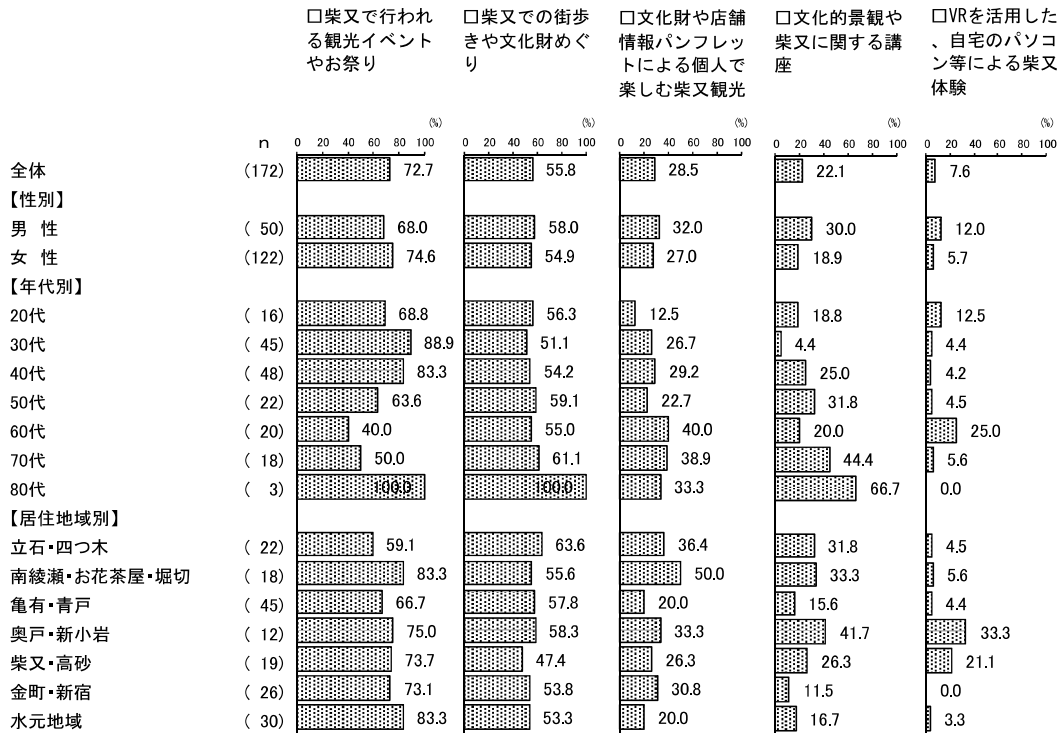
柴又の魅力のPR事業で参加したいと思うものとしては、「柴又で行われる観光イベントやお祭り」が72.7%で最も高く、次いで「柴又での街歩きや文化財めぐり」が55.8%、「文化財や店舗情報パンフレットによる個人で楽しむ柴又観光」が28.5%となっている。

図表-91 柴又の魅力のPR事業で参加したいと思うもの（全体）



属性別でみると、「柴又で行われる観光イベントやお祭り」は、年代別では30代で88.9%と高くなっている。

図表-92 柴又の魅力のPR事業で参加したいと思うもの
(性別・年代別・居住地域別)



令和元年度 第2回
葛飾区区民モニターアンケート調査報告書

令和2年（2020年）3月発行

葛飾区総務部すぐやる課すぐやる係
東京都葛飾区立石5-13-1
電話 03-3695-1111（代表）